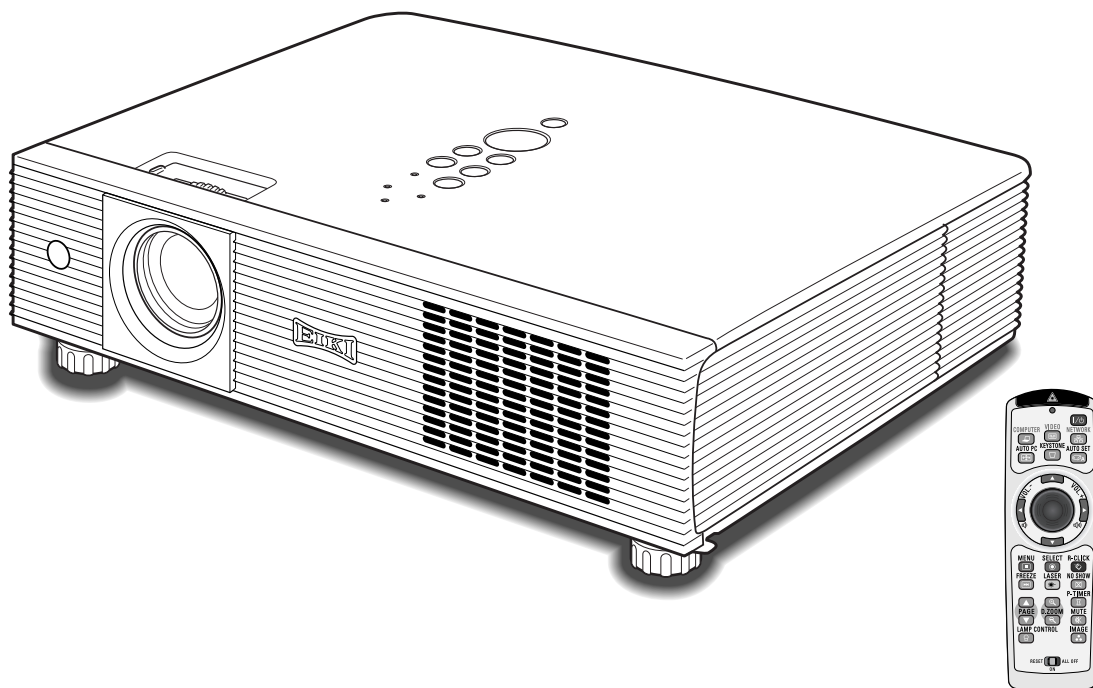
EIKI

液晶プロジェクター

LC-XB40DN 型
取扱説明書

取扱説明書について：
本機のネットワーク機能およびメモリビューワー機能の操作については、次の別冊の取扱説明書をご覧ください。
■取扱説明書（別冊）
　ネットワークの接続と操作のしかた
■取扱説明書（別売USBメモリー：WL-10に付属）
　Viewer（ビューワー）の使いかた
　Slide Converter（スライドコンバーター）の使いかた

このたびはEIKI液晶プロジェクターをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。とくに4～11ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。わからないことがあったときなどにお役に立ちます。

PJLink™

映機工業株式会社

LC-XB40DN の特長

1024 x 768 ドットの高解像度液晶パネル採用。XGA画像をリアル表示。SXGA、WXGA、UXGAを圧縮表示。

使用後すぐに持ち運びができる。

❏ファンの停止を待たずに、電源コードを抜くことができます。

防犯対策に役立つ「セキュリティ」メニュー

❏操作ボタンをロックして、プロジェクターの誤操作を防ぐ「キーロック」。
❏暗証番号で第三者の不正使用や誤作動を防ぐことができる、「暗証番号ロック」。
❏プロジェクター本体が振動を感知すると警告を発する「振動感知式オーディオアラーム」。常時設置時などのセキュリティ対策に役立ちます。(充電池使用)

ランプの明るさを調整することができるランプモード

電力の節約を助ける、パワーマネージメントモード

キャプチャー機能で好きな画像を取り込み、オリジナルの起動画面を作ることが可能。

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

❏コンピュータの信号の判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャン システム」と「自動PC調整」機能。
❏見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投影できる「デジタル ズーム」機能。(コンピュータ モード時)
❏投影画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタルキーストーン (台形補正)」機能。
❏画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能・画面を一時的に消す「NO SHOW」機能。
❏プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER (プレゼンテーション タイマー)」機能。
❏「アンプ・スピーカ」内蔵で音響施設のない出先等でもプレゼンテーションが可能。
❏音声を一時的に消す「MUTE」機能。
❏「黒(緑)板」モードでスクリーンがなくても黒(緑)板に投影して通常のスクリーンに投影したときの色合いを再現。

さまざまな設置方法に対応

❏天吊り
❏据置
❏リア投影
❏垂直方向360度フリー設置

DVI-I (デジタル ビジュアル インターフェイス) 搭載

❏デジタル ビジュアル インターフェイス (DVI-I) 入力端子により、コンピュータの画像をより鮮明に再現。
❏HDCP技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投影できます。

海外の映像システムにも対応する 6 カラーシステム

❏NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N カラーシステムに対応。

ランプの交換時期や、フィルターの掃除時期を画面表示でお知らせ

高機能ワイヤレスリモコン付き

❏プロジェクターおよび接続したコンピュータの両方の操作ができます。
❏プレゼンテーション時に便利なレーザポインタ機能。
❏レーザポインタをスポットライトやポインタ表示に切り替えることも可能。
❏市販のケーブルでワイヤードリモコンとしても使えます。

付属のUSB無線LANアダプタを装着することによりプロジェクターをネットワーク経由で操作･管理することが可能。

有線・無線LAN機能搭載

❏有線と無線LANのインターフェースを搭載。付属のアプリケーションを使うことにより、コンピュータ画像をネットワーク経由でプロジェクターからリアルに投影可能。また、ネットワークでプロジェクターの操作、管理が可能。

メモリビューワー

❏本体のUSB端子にUSBメモリーを差し込むだけで、USBメモリーに収録したプレゼンテーション画像、写真データの投影が可能。画像を投影するためのコンピュータ、映像機器を持ち運ぶことなく、プレゼンテーションができます。また、付属のアプリケーションを使うことにより、効果的なプレゼンテーション画像の編集が可能。
※ 本機能を使うには、別売の専用USBメモリー (WL-10) が必要です。

～本説明書中の記号について～	
(注意アイコン)	操作上の注意事項や制限事項を記載しています。
(電球アイコン)	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
☞	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
[ボタン]名	リモコン、またはプロジェクター本体の入出力端子や操作パネルのボタン名称を示しています。 例: [SELECT]ボタン、[COMPUTER IN 1 DVI-I] 端子
「メニュー」名	メニューの項目を示しています。 例: 「インプット」、「セッティング」

＊本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

もくじ

＊ネットワーク機能の使い方．．．『別冊』をご覧ください
メモリビューワーの使い方．．．別売USBメモリーに付属の『取扱説明書』をご覧ください

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

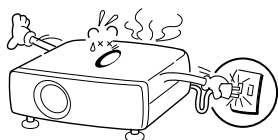
この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

	注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。 △の中に具体的な注意内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「感電注意」を意味します。
	してはいけない行為（禁止事項）を示しています。 ⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「分解禁止」を意味します。
	しなければならない行為を示しています。 ●の中に具体的な指示内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「電源プラグをコンセントから抜け」を意味します。

⚠ 警告

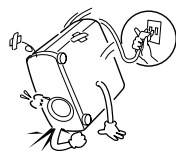
警　告

電源プラグを
コンセントから抜け

下記のような場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

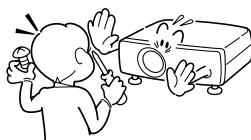
・煙が出ている
・変なにおいや音がする
・水など液体が本機の内部に入った
・金属類や異物が本機の内部に入った
・画面が映らない
・音が出ない
・大きな音が出てランプが消えた

禁　止

故障したまま使用しない。
火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

警　告

電源プラグを
コンセントから抜け

万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

分解禁止

感電注意

本機のキャビネットは外さないでください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

禁　止

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
※１つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐタコ足配線もしないでください。

禁　止

水ぬれ禁止

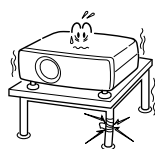
本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

警 告

風呂、シャワー室では使用しないでください。

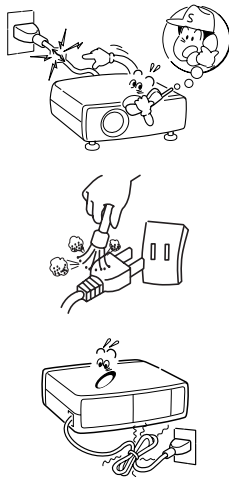
火災・感電の原因となります。

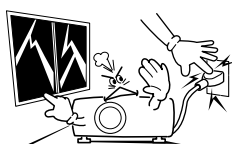
本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

不安定な場所や荷重に耐えられないところに置かないでください。

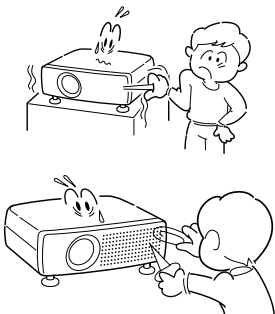
ぐらついた台の上や、傾いた所、高い棚の上など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、事故やけがの原因となります。

「天吊り」設置をするときは、専用の金具が必要です。

取付が不十分のときは落下する危険があり、事故やけがの原因となります。設置工事も専門の技術者にご依頼ください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談下さい。

電源コードの取扱に注意してください。

- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。
 コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
 コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。
- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ·ごみ·汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くには特にご注意を）
- 電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。

雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。

感電の原因となります。

⚠ 警 告

吸気口・排気口にご注意下さい。

- ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。
- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

本機・リモコンを改造しないでください。

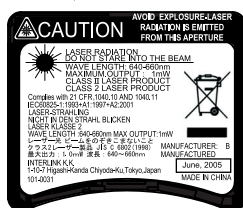
火災・感電の原因となります。

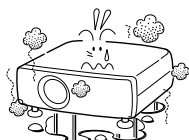
アース線を接地してください。

本機は接地端子の付いた 3ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を接地してください。（詳しくは、24ページをご覧ください。）

使用中はレンズをのぞかないでください。

強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。吸気口や排気口ものぞかないでください。

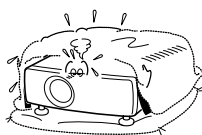
レーザ光にご注意下さい。
リモコンのレーザポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

⚠ 注 意

禁　止

以下のような場所には置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。

禁　止

ご使用のときは、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。

内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

● 設置のときは、ファンの排気口を壁から1メートル以上あけてください。

● 空調設備の排気ダクト付近、冷暖気が直接当たる場所などに設置しないでください。

● 次のような使い方はしないでください。

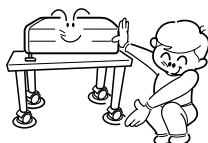
　* 横倒しなど、指定以外の方向への設置。

　* 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。

　* じゅうたんや布団の上に置く。

　* テーブルクロスなどを掛ける。

● また、壁など、周囲のものから1メートル以上はなし、風通しをよくしてください。

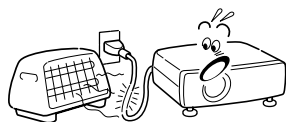
注　意

キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。

動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁　止

本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。

特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁　止

電源コードを熱器具に近づけないでください。

コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

また、差し込むときは、根本まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと感電や発熱による火災の原因となります。

⚠ 注 意

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。

電源プラグを
コンセントから抜け

移動させる場合は、電源コードにご注意下さい。

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、移動してください。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になることがあります。また、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを
コンセントから抜け

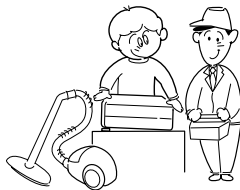
お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

感電の原因となることがあります。

電源プラグを
コンセントから抜け

長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。

注　意

長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。

掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。
持ち運ぶときは、レンズの保護のためにスライドシャッターを閉め、付属のキャリーバッグに納めて持ち運んでください。車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。
別売の専用ケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

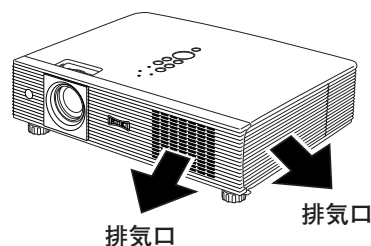
● 付属キャリーバッグ使用上の注意 ●

付属のキャリーバッグは液晶プロジェクターを持ち運ぶとき、ホコリ等による汚れの防止と、キャビネット表面保護のためです。キャリーバッグは液晶プロジェクターを外部からの衝撃から保護する様に設計されていません。キャリーバッグに入れて持ち運ぶとき、衝撃を与えたり、落としたり、またはキャリーバッグに入れた液晶プロジェクターの上にものを置かないでください。破損の原因になります。液晶プロジェクターをキャリーバッグで輸送しないでください。破損の原因となります。（液晶プロジェクターを付属のキャリーバッグへ入れるときは、レンズ部分が上にくるように入れてください。）

設置するときは次のことに注意してください

● 排気口の温風にご注意ください ●

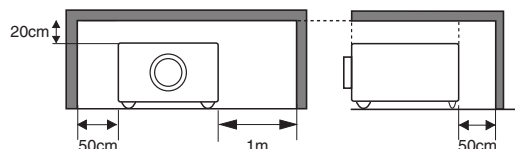
排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。
・スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
・金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
・観葉植物やペットを置かないでください。
・熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
・排気口付近には視聴席を設けないでください。

熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。特に小さいお子さまにはご注意ください。

● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

使用温度範囲	5℃～35℃	保管温度範囲	－10℃～60℃

● 壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください ●

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因や、プロジェクターの寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。
（上方20cm、側面・後面50cm、排気口1m以上）

● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

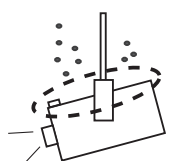
エアフィルターを定期的に掃除してください

吸気口のエアフィルターは、プロジェクター内部の光学部品（レンズやミラー）をホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまるとプロジェクターを冷却する空気の流れが悪くなり、内部の温度が上がり故障の原因となります。長期間プロジェクターの安全と性能を維持するためには、エアフィルターを定期的に掃除することが必要です。掃除の目安はプロジェクターをご使用になる環境によって異なります。通常の生活環境でプロジェクターをご使用になる場合は、約200時間のご使用のたびにエアフィルターの掃除をされることをおすすめします。ホコリや煙が多い場所でプロジェクターをご使用になる場合、その状況によってこまめに掃除を行なってください。エアフィルターの掃除の手順は72ページをご覧ください。

お掃除時期をお知らせする「フィルター警告」

本機にはフィルターの掃除時期をお知らせする「フィルター警告」機能があります。設定した時間を越えると、フィルターの掃除をお知らせする表示（右図）があらわれます。設定については62ページをご覧ください。

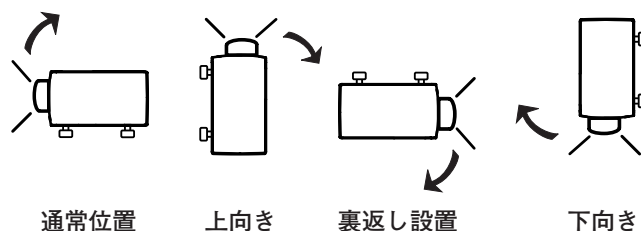
フィルター警告

天井から吊り下げてご使用になるときに

天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルターの掃除を定期的に行なってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで取りのぞいてください。

注　意

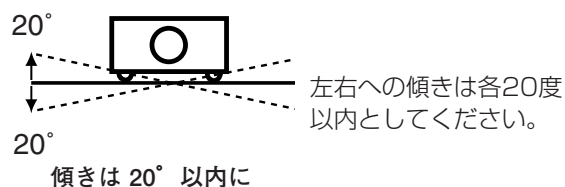
正しい方向に設置してください

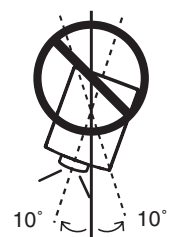
プロジェクターは正しい方向に設置してください。誤った方向に設置すると、故障や事故の原因となります。

プロジェクターを安全にご使用頂くため、プロジェクターは必ず指定の方向でご使用ください。
指定以外の方向でご使用になると、プロジェクターの寿命を縮めるのみならず、火災や事故の原因となります。
プロジェクターは上方向、下方向、斜めと、360度の範囲で投影可能です。右図と下図の指定の範囲内でご使用ください。

以下の方向では使用しないでください

傾きは 20˚ 以内に

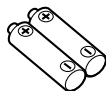
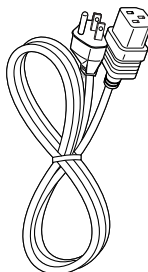
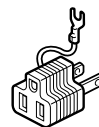
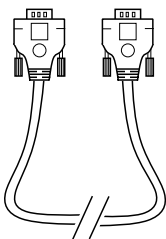
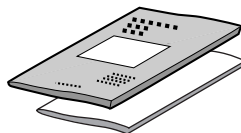
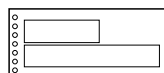
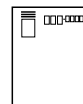
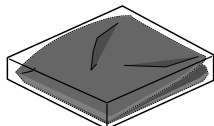
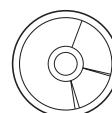
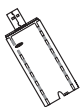
左右への傾きは各20度以内としてください。

プロジェクターの水平軸を10 度以上傾けて上方向に投影しないでください。

横置き禁止

横に立てて設置して投影しないでください。

プロジェクターの水平軸を10 度以上傾けて下方向に投影しないでください。

付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

1. リモコン
2. リモコン用アルカリ乾電池（単4形2本）
3. 電源コード
4. 電源プラグアダプタ
5. コンピュータケーブル（D-sub 用）
6. 取扱説明書 (本書 ＋ 別冊)
7. 保証書
8. 保証登録書（はがき）
9. キャリーバッグ
10. PIN code lock シール*
11. Alarm protectedシール**
12. CD-ROM（ネットワークアプリケーション）
13. USB無線LANアダプタ

* 暗証番号を登録し、プロジェクターをロックしたとき、プロジェクター本体の目立ちやすい箇所に貼り付け、プロジェクターがロックされていることを表示するのにご使用ください。☞86ページ

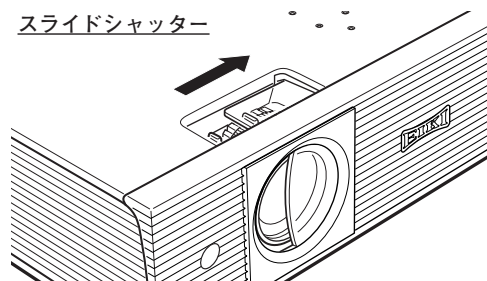
** プロジェクター本体の目立ちやすい箇所に貼り付け、振動感知式アラームを設定したことを表示するのにご使用ください。☞86ページ

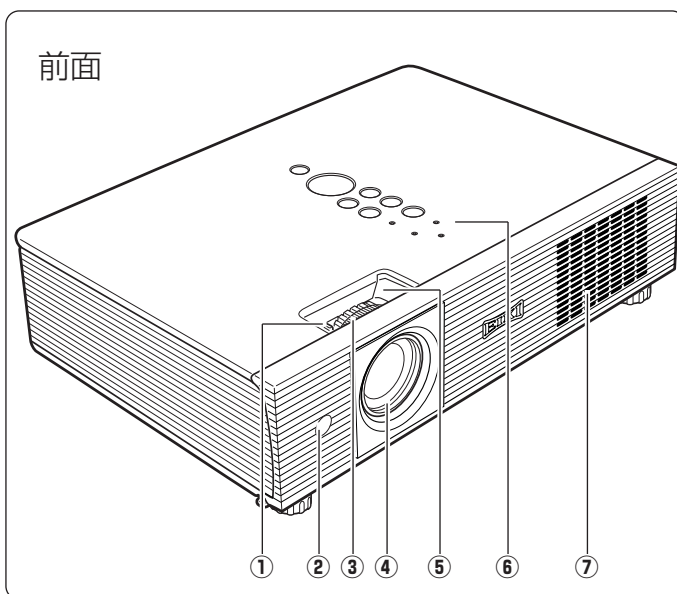
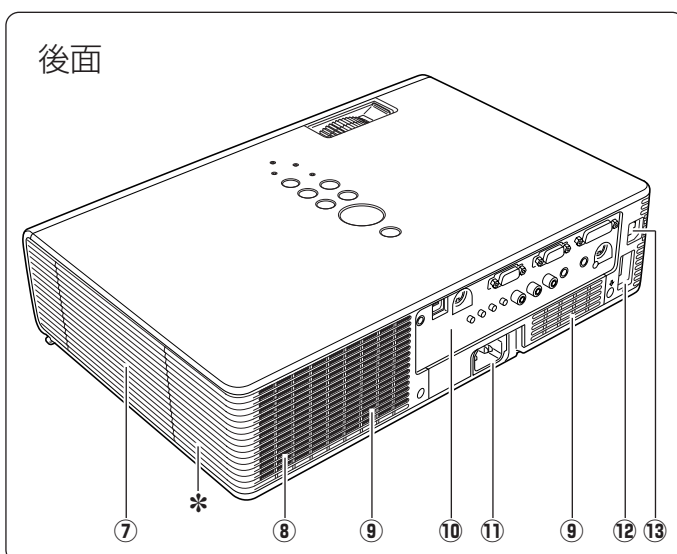
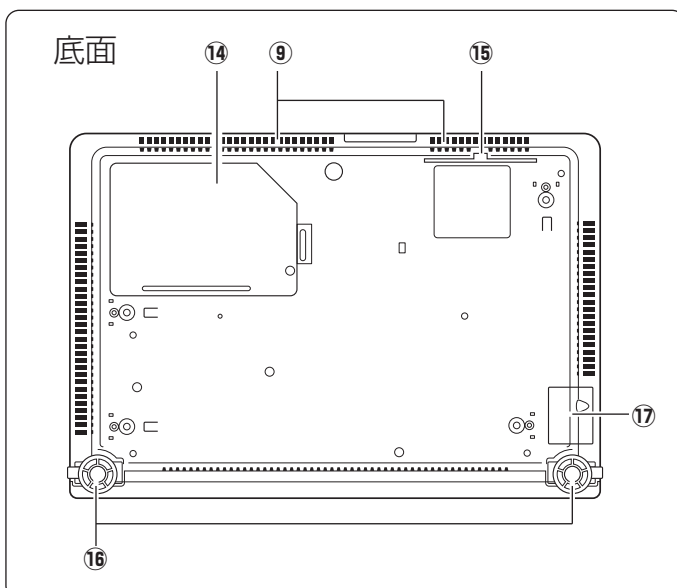
スライドシャッターについて

電源を入れる前にスライドシャッターを開けます。

プロジェクターの電源を入れる前に、スライドシャッターが開いているか確認してください。

投影中はスライドシャッターを閉じないでください。

ランプ点灯中はスライドシャッターを閉じないでください。
シャッターを閉じたまま長時間使用すると、シャッターが変形するおそれがあります。

各部の名称

前面

後面

底面

ご使用中、天面は熱くなります。上に物を置いたりしないでください。変形や火災の原因となります。

① ズームリング
② リモコン受信部
③ フォーカスリング
④ レンズ
⑤ スライドシャッター ＊1
⑥ 操作パネル・インジケータ
⑦ 排気口 ＊2
⑧ スピーカ
⑨ 吸気口 ＊3
⑩ 後面端子
⑪ 電源コード接続ソケット
⑫ USB端子
⑬ LAN接続端子
⑭ ランプカバー
⑮ エアフィルター
⑯ 調整脚/調整脚ロック
⑰ 充電池カバー

✻ 盗難防止用ロック穴
盗難防止用のチェーンなどを取り付けるときに使用します。

＊1

ランプ点灯中はスライドシャッターをかならず開いてください。スライドシャッターを閉めたまま点灯すると、スライドシャッターが変形するおそれがあります。

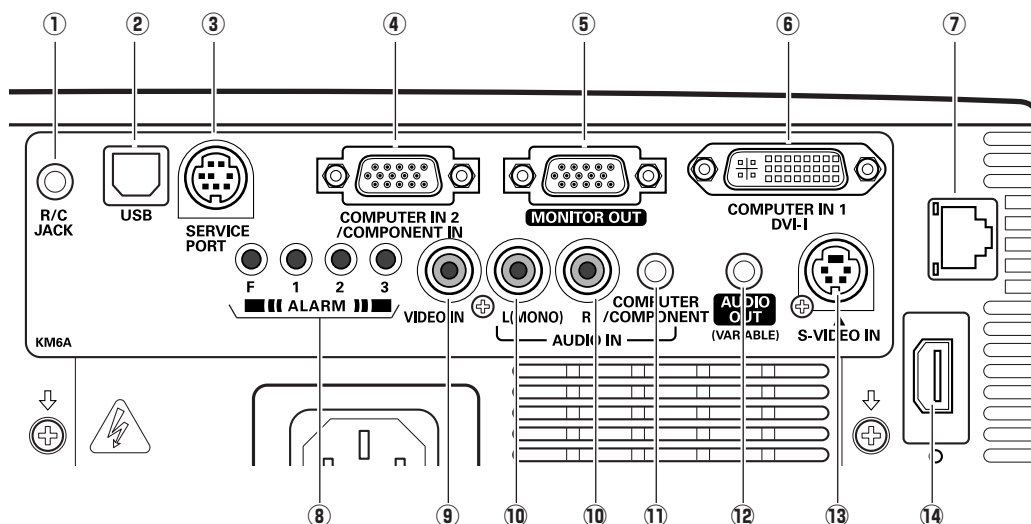
＊2

スプレーなど、引火性のもの、燃えやすいもの、熱で変形しやすい物を近くに置かないでください。火災や火事の原因となります。

＊3

内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

機器をつなぐ端子

後面端子

① R/C JACK（ワイヤードリモコン用端子）
☞16ページ
この端子とリモコンのワイヤードリモコン端子を市販の接続コードでつなぐと、ワイヤードリモコンとなり、リモコンの向きに関係なくプロジェクターの操作ができます。

② USB（USB端子：シリーズB） ☞21、68ページ
コンピュータのマウス操作をプロジェクターのリモコンで行なうときに、この端子とコンピュータのUSB端子をUSBケーブルでつなぎます。

③ SERVICE PORT（サービス用端子）
サービスマン用の端子です。

④ COMPUTER IN 2 / COMPONENT IN
（コンピュータ / コンポーネント入力端子）
☞21、23ページ
コンピュータからの信号または、ビデオ機器からのコンポーネント信号を入力します。
接続には付属のコンピュータケーブル（D-sub用）または別売のD-sub/コンポーネントケーブルを使用します。

⑤ MONITOR OUT（モニター出力端子） ☞21ページ
コンピュータのモニター出力として使用します。
接続には付属または市販のコンピュータケーブル（D-sub用）を使用します。

⑥ COMPUTER IN 1 DVI-I
（コンピュータ DVI-I入力端子） ☞21ページ
DVI規格対応の端子を持つコンピュータからの信号（デジタル/アナログ）を接続するDVI-I端子です。接続にはコンピュータケーブル（DVI-I用）を使います。D-sub出力端子（アナログ）のコンピュータへの接続にはコンピュータケーブル（DVI/D-sub 用）を使います。

⑦ LAN接続端子
有線LANケーブルを接続します。

⑧ ALARM（アラーム設定ボタン） ☞64ページ
「振動感知式オーディオアラーム」の設定をするときに使用します。

⑨ VIDEO IN（ビデオ入力端子） ☞22ページ
ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。

⑩ AUDIO IN（音声入力端子） ☞22ページ
⑨または⑬に接続された、ビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。モノラルの音声は［L (MONO)］端子へ接続してください。

⑪ COMPUTER / COMPONENT AUDIO IN
（コンピュータ / コンポーネント音声入力端子）
☞21、23ページ
④または⑥に接続された、コンピュータまたはビデオ機器からの音声出力（ステレオ）をこの端子に接続します。

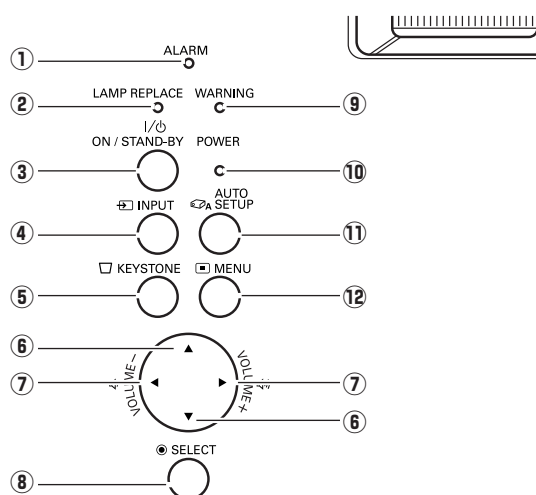
⑫ AUDIO OUT（音声出力端子）（可変）
☞21～23ページ
⑩または⑪に接続された、投映中のコンピュータまたはビデオ画面の音声を外部のオーディオ機器へ出力する端子です。

⑬ S-VIDEO IN（S映像入力端子） ☞22ページ
ビデオ機器からのS映像出力をこの端子に接続します。

⑭ USB（USB端子：シリーズA）
付属のUSB無線LANアダプタ*、または別売のUSBメモリー**を接続します。
※指定以外の機器は接続しないでください。
*は取扱説明書（別冊）、**は別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。

※ 別売のD-sub/コンポーネントケーブルの3ピン部分は、メスになっています。ビデオ機器とつなぐときは市販のオスの形状のケーブルが必要になります。

操作パネルとインジケータ

インジケータ
と
操作パネル
（本体上面）

① ALARM（アラーム）インジケータ
設定状況や、電池の状態を知らせるときに赤く点滅します。

② LAMP REPLACE（ランプリプレイス）インジケータ ☞74ページ
ランプの交換時期を知らせます。

③ ON/STAND-BY（オン/スタンバイ）ボタン ☞25、27ページ
電源を入り・切りします。

④ INPUT（インプット）ボタン ☞34、44ページ
インプット（入力）を切り換えます。

⑤ KEYSTONE（キーストーン）ボタン ☞28ページ
画面の台形ひずみ (あおり) を補正します。

⑥ ポイント ボタン
☞32、44ページ
オンスクリーンメニューのポインタの移動（上下）に使用します。

⑦ ポイント（VOLUME（ボリューム））ボタン
☞31、32、44ページ
オンスクリーンメニューのポインタの移動（左右）や音量の調節に使用します。

⑧ SELECT（セレクト）ボタン ☞32、44ページ
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズーム モードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

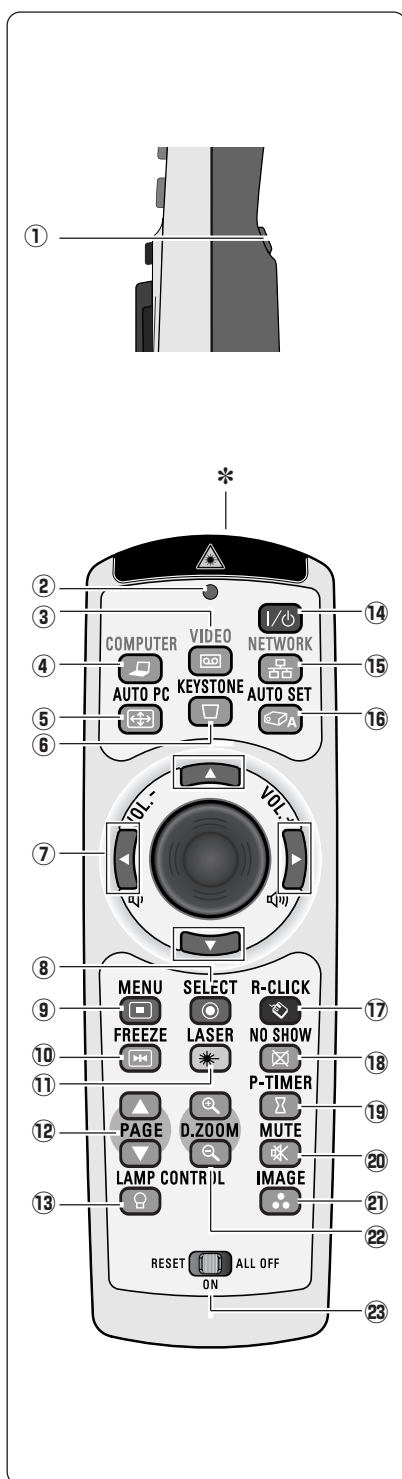
⑨ WARNING（ワーニング）インジケータ ☞73、74ページ
赤く点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。また、プロジェクターの内部の異常を検知したとき赤く点灯します。

⑩ POWER（パワー）インジケータ ☞73、74ページ
プロジェクターの状態を示します。

点灯（赤）：電源を入れる準備ができました。
点滅（赤）：ランプの冷却中です。
点灯（緑）：プロジェクターは動作中です。
点滅（緑）：パワーマネージメントモードがはたらいています。

⑪ AUTO SET UP（オートセットアップ）ボタン ☞29、50ページ
PC調整、キーストーン（上下）を自動調整、自動補正します。

⑫ MENU（メニュー）ボタン ☞33ページ
メニューバーを出します。

リモコンのボタン -1

① **左クリックボタン** ☞68ページ
コンピュータマウスの左クリックのはたらきをします。

② **レーザポインタインジケータ**
レーザポインタ（レーザ光）が出ているとき、またはプロジェクターへ信号を送信しているときに赤く点灯します。

ビデオ
③ **VIDEO ボタン** ☞44ページ
入力をビデオに切り替えます。

コンピュータ
④ **COMPUTER ボタン** ☞34ページ
入力を「コンピュータ 1」または「2」に切り替えます。

オートピーシー
⑤ **AUTO PC ボタン** ☞36ページ
トラッキング・総ドット数・水平位置・垂直位置を自動調整します。

キーストーン
⑥ **KEYSTONE** ☞28ページ
画面の台形ひずみ（あおり）を補正します。

ポイント
⑦ **POINT ボタン** ☞31、32、44ページ
オンスクリーンメニューのポインタの移動やメニューの調整、音量の調整に使用します。

セレクト
⑧ **SELECT ボタン** ☞32、44ページ
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

メニュー
⑨ **MENU ボタン** ☞33ページ
メニューバーを出します。

フリーズ
⑩ **FREEZE ボタン** ☞30ページ
画面を一時的に静止させます。

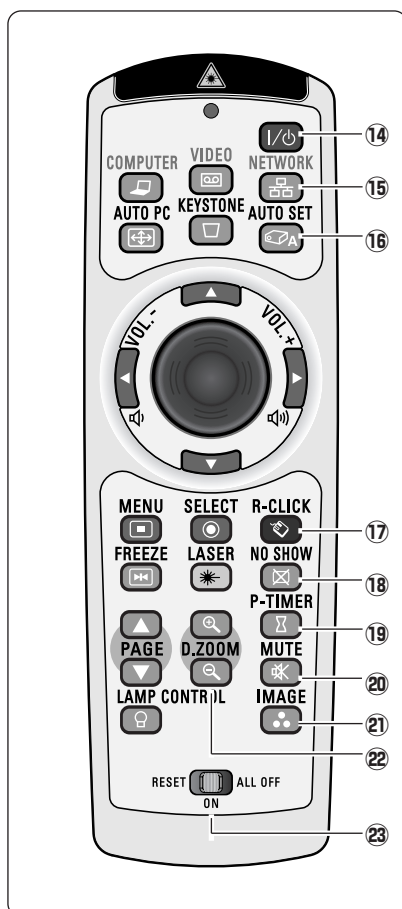
レーザ
⑪ **LASER ボタン** ☞69ページ
レーザポインタ（レーザ光）を出します。また、ポインタ機能のオン･オフの切り替えスイッチとしても使います。

ページ
⑫ **PAGE ボタン**
リモコンをコンピュータのマウスとして使用するとき、ページを送るはたらきをします。▲で前のページへ、▼で次のページへ送ります。

ランプコントロール
⑬ **LAMP CONTROL ボタン** ☞56ページ
ランプモードを選択します。

✻ **ワイヤードリモコン端子**
ワイヤードリモコンとして使用するときは、市販のリモコンコードのでこの端子とプロジェクターのリモコン端子［R/C JACK］を接続します。
※リモコンに電池は必要です。

⑭ 以降は次ページへ

リモコンのボタン -2

⑭ I/⏻（ON/STAND-BY）ボタン ☞25、27ページ
電源を入り・切りします。

⑮ NETWORK ボタン
ネットワーク入力*、メモリビューワー（別売）**を選択します。
*は取扱説明書（別冊）、**は別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。

⑯ AUTO SET ボタン ☞29、50ページ
PC調整、キーストーン（上下）を自動調整、自動補正します。

⑰ R-CLICK（右クリック）ボタン ☞68ページ
コンピュータマウスの右クリックのはたらきをします。

⑱ NO SHOW ボタン ☞30ページ
画面を一時的に消します。

⑲ P-TIMER ボタン ☞30ページ
プレゼンテーション (ボタンを押してからの) 経過時間を表示させます。

⑳ MUTE ボタン ☞31ページ
音声を一時的に消します。

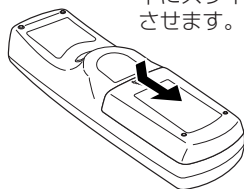
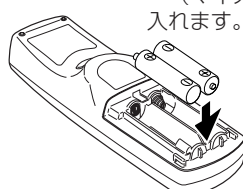
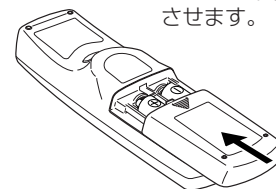
㉑ IMAGE ボタン ☞39、46ページ
イメージモードを選択します。

㉒ D.ZOOM ボタン ☞43ページ
デジタルズームの操作をします。

㉓ RESET/ON/ALL-OFF スイッチ
リモコンを長時間使用しないときは、「ALL OFF」側にしてください。
リモコンコードを初期設定に戻すときは、「RESET」側に切り替えます。

リモコンの準備

電池の入れかた

1 電池カバーを開けます。

2 電池を入れます。

3 電池カバーを閉めます。

電池を使用するときのご注意

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんご注意ください。
・種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
・乾電池は充電しない。分解しない。
・＋極と－極の向きを正しく入れる。＋極と－極をショートさせない。
・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
・電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。
また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。
・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
・液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。

注　意

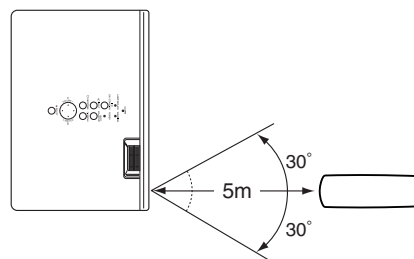
禁　止

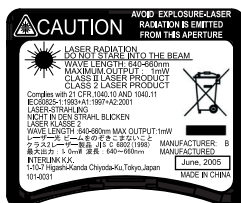
リモコンで操作できる範囲

リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面のリモコン受信部から約5m以内、上下左右30度以内です。
※間に障害物があると操作の妨げになります。

上下左右各30° 以内の操作範囲

リモコンを使用するときのご注意

- 本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当らないようにする。
- 液状のものをかけない。
- 落としたり衝撃を与えない。
- 熱や湿気をさける。

警　告

リモコンのレーザポインタの発光部をのぞき込んだり、人や鏡など反射するものに向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

リモコンコードの設定

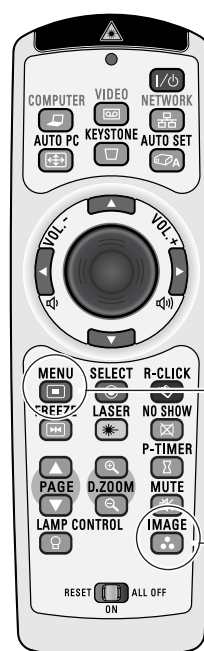
本機は8種類のリモコンコード（「コード1」～「コード8」）の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。リモコンコードを他のコード（「コード2」～「コード8」）に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り替える必要があります。
プロジェクターのリモコンコードを切り替えるにはセッティングメニュー内で行ないます。☞56ページ

1 ［MENU］ボタンを押します。

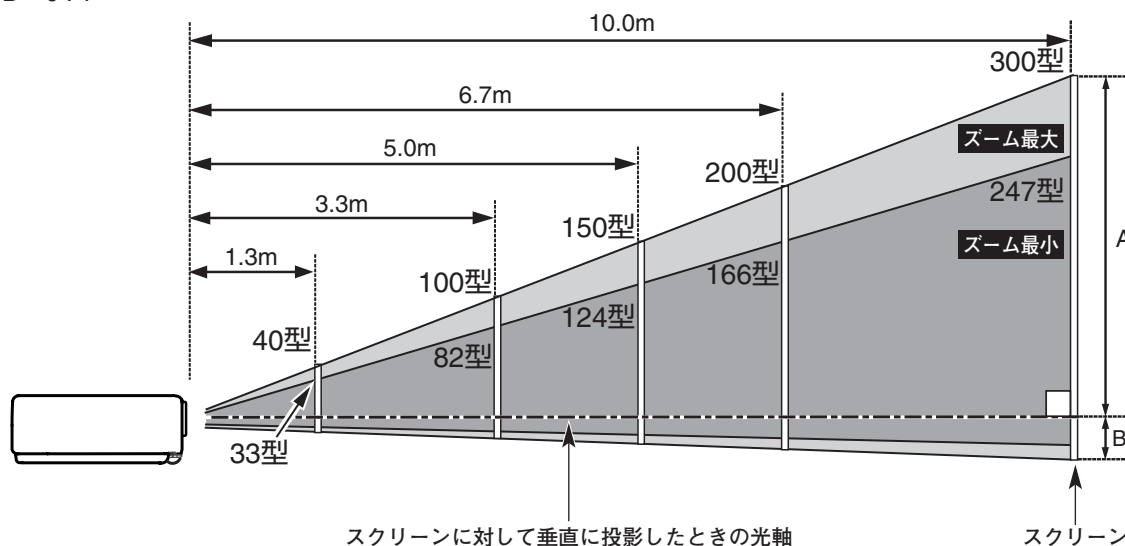
2 ［MENU］ボタンを押したまま、［IMAGE］ボタンを押します。［IMAGE］ボタンを押す回数でコードが決まります。

※［MENU］ボタンを押すのをやめたとき、コードが切り替わります。

リモコンコード	イメージボタンを押す回数
コード 1	**1**
コード 2	**2**
コード 3	**3**
コード 4	**4**
コード 5	**5**
コード 6	**6**
コード 7	**7**
コード 8	**8**

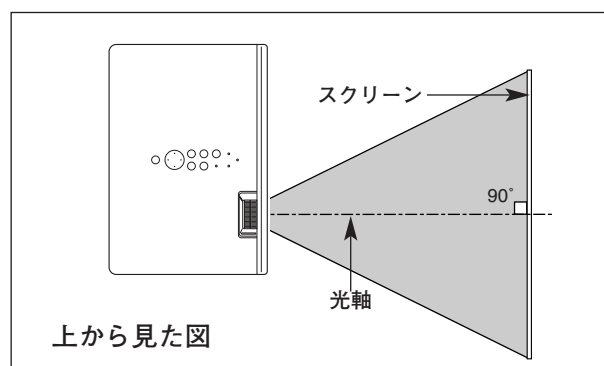
※ 設定したリモコンコードを初期化したいときはリモコン下方にあるスイッチで［RESET］を選択し、その後［ON］に戻します。
工場出荷時は「コード 1」に設定されています。

設置のしかた

スクリーンからのおよその距離と画面サイズの関係

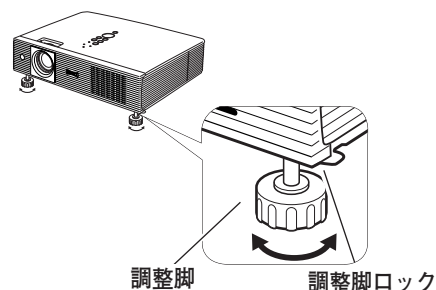
画面サイズは、プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離によって決まります。スクリーンからレンズまでの距離が約1.3m～10mの範囲に設置してください。

画面サイズ (幅 × 高さ : mm)	33 型	40 型	100 型	150 型	200 型	300 型
	671 x 503	813 x 610	2032 x 1524	3048 x 2286	4064 x 3048	6096 x 4572
投影距離 (ズーム最小)	1.3 m	1.6 m	4.0 m	6.1 m	8.1 m	——
投影距離 (ズーム最大)	——	1.3 m	3.3 m	5.0 m	6.7 m	10.0 m

※上表は 4：3 の画面サイズで、投影画像の内容により画面サイズが異なる場合があります。☞42、43、49ページ

スクリーンに対して直角に設置する

投影したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。

投影画面の高さと傾きを調整する

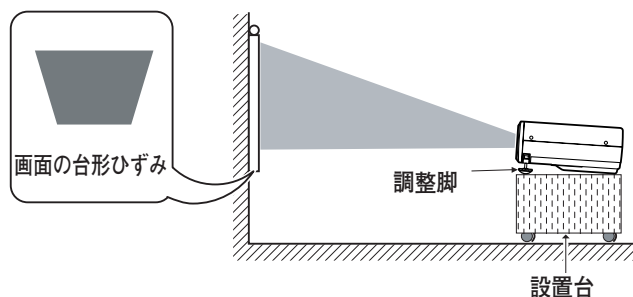
1 本体前方を持ち上げてから両側の調整脚ロックを指で引き上げて調整脚を伸ばし、指を離して調整脚をロックします。

2 本体前方の2つの調整脚をまわして投影画面の高さと傾きを微調整します。最大約9度まで上がります。

 左右方向の傾きは±20度以内に

左右の傾きが±20度以内になるように投影してください。傾きが大きいと、ランプの故障の原因となります。

画面の台形ひずみ（あおり）

調整脚を上げすぎると、投影角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さなどを調整してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。 ☞28、50ページ

※ 画面のひずみが大きいときは、設置台を高くして調整してください。

 お使いになる部屋の明るさについて

スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。

 ご注意・著作権について

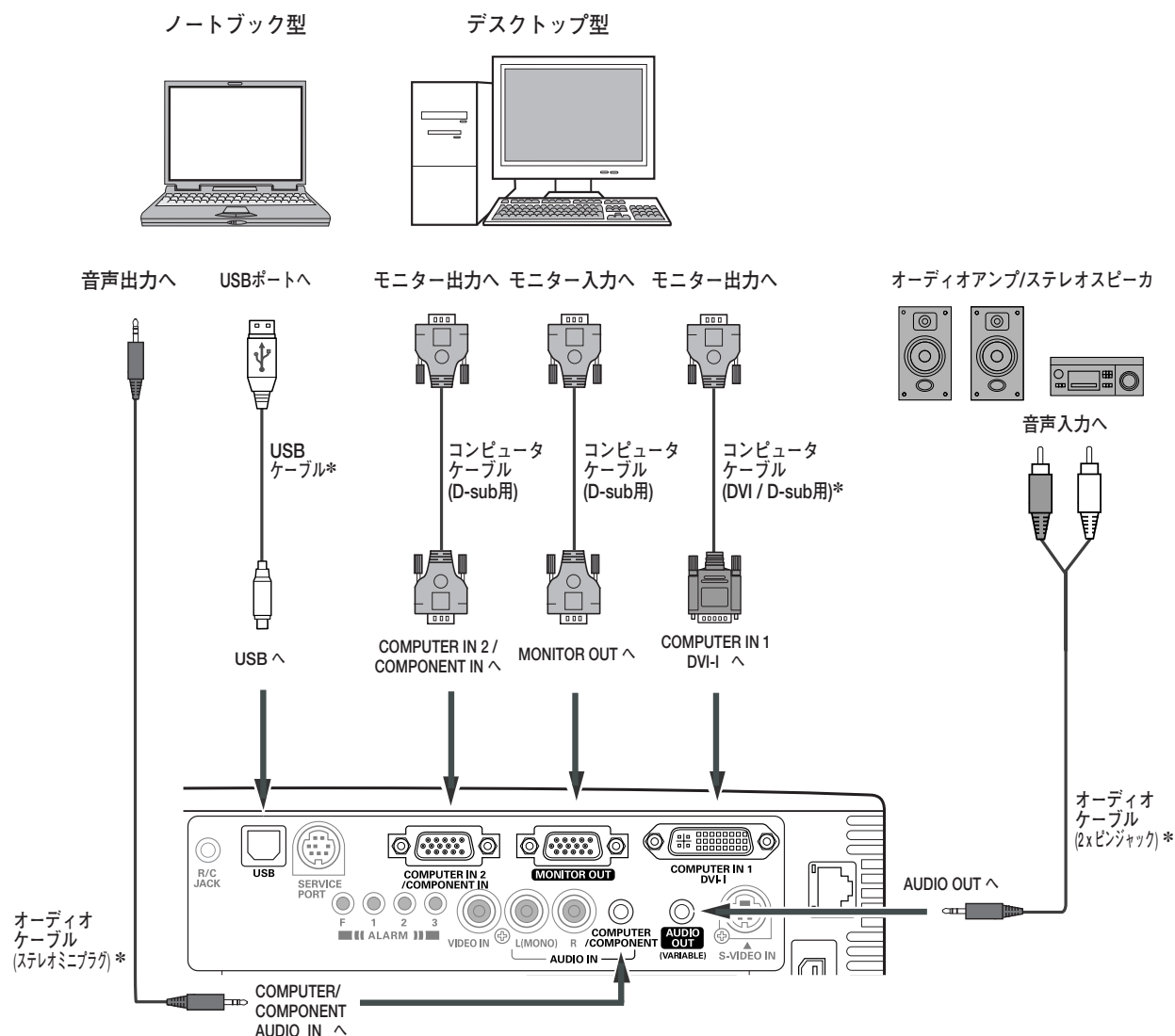
この液晶プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切り替え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

接続の例～コンピュータ

接続に使用するケーブル（* = 市販のケーブルをお使いください。）

- コンピュータケーブル
  （D-sub用、DVI/D-sub用 *）
- USBケーブル *
- オーディオ ケーブル
  （ステレオミニプラグ *、または 2xピンジャック *）

コンピュータの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なってください。設定方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

※ ノートブック型は、キーボードの［Fn］キーを押しながら、ファンクションキーを押す、などの操作が必要な場合があります。

ノートブック型　デスクトップ型

音声出力へ　USBポートへ　モニター出力へ　モニター入力へ　モニター出力へ　オーディオアンプ/ステレオスピーカ

USB
ケーブル*

コンピュータ
ケーブル
(D-sub用)

コンピュータ
ケーブル
(D-sub用)

コンピュータ
ケーブル
(DVI / D-sub用)*

音声入力へ

USB へ

COMPUTER IN 2 /
COMPONENT IN へ

MONITOR OUT へ

COMPUTER IN 1
DVI-I　へ

オーディオ
ケーブル
(2xピンジャック) *

AUDIO OUT へ

R/C JACK　USB　SERVICE PORT　COMPUTER IN 2 /COMPONENT IN　MONITOR OUT　COMPUTER IN 1 DVI-I
F 1 2 3 ALARM　VIDEO IN　L(MONO)　R　AUDIO IN　COMPUTER /COMPONENT　AUDIO OUT (VARIABLE)　S-VIDEO IN

オーディオ
ケーブル
(ステレオミニプラグ) *

COMPUTER/
COMPONENT
AUDIO IN へ

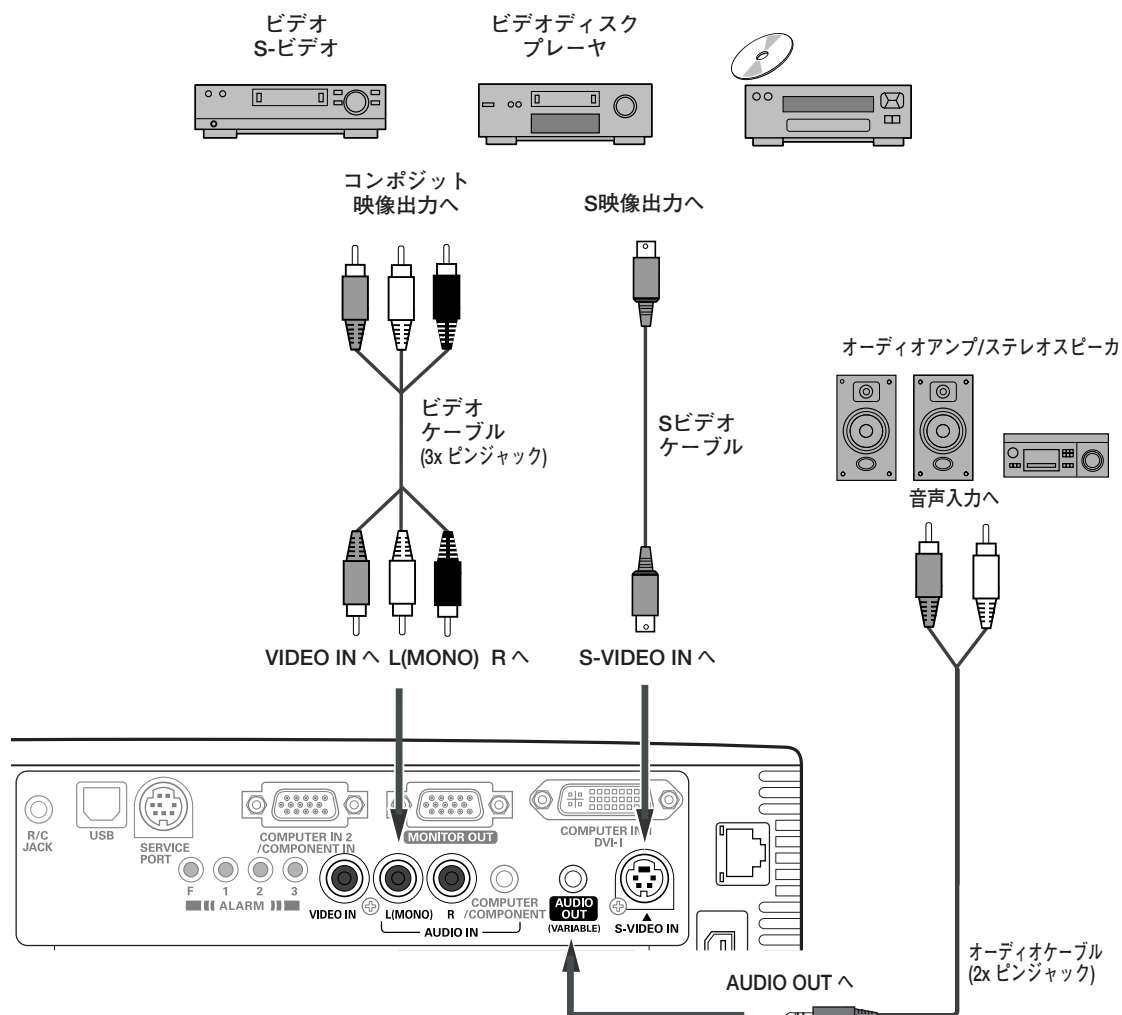
※注）
内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、［AUDIO OUT］にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、［AUDIO OUT］にプラグがささっていないか、確認してください。

接続するときのご注意:
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

接続の例～ビデオ機器 -1

接続に使用するケーブル　※本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。

- ビデオ ケーブル（3xピンジャック）
- Sビデオ ケーブル（ミニDIN 4ピン）
- オーディオ ケーブル（ステレオミニプラグ、または2xピンジャック）

ビデオ
S-ビデオ
ビデオディスク
プレーヤ
コンポジット
映像出力へ
S映像出力へ
オーディオアンプ/ステレオスピーカ
ビデオ
ケーブル
(3x ピンジャック)
Sビデオ
ケーブル
音声入力へ
VIDEO IN へ L(MONO) R へ
S-VIDEO IN へ
R/C JACK
USB
SERVICE PORT
COMPUTER IN 2 /COMPONENT IN
MONITOR OUT
COMPUTER IN 1 DVI-I
F 1 2 3
ALARM
VIDEO IN
L(MONO) R
AUDIO IN
COMPUTER /COMPONENT
AUDIO OUT (VARIABLE)
S-VIDEO IN
オーディオケーブル
(2x ピンジャック)
AUDIO OUT へ

※2台のビデオ機器を接続しているときは、インプットメニュー内の信号選択メニューで「Auto」に設定していても、プロジェクターは入力端子へのプラグの挿入（信号の有無ではない）を検知して、1）S-Video、2）Video の順位で入力端子を自動選択します。接続されている入力端子が選択されないときは、インプットメニュー内の信号選択メニューでポインタを合わせ、[SELECT] ボタンで選択してください。 ☞44ページ

※注）
内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、[AUDIO OUT] にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、[AUDIO OUT] にプラグがささっていないか、確認してください。

接続するときのご注意:
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

接続の例～ビデオ機器 -2

接続に使用するケーブル

※ 本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。
＊ =は別売品があります。☞ 83ページ

- ビデオ ケーブル
  （D-sub/コンポーネント ＊）
- オーディオ ケーブル
  （ステレオミニプラグ、または2xピンジャック）

ビデオ
ビデオディスク
プレーヤ
コンポーネント映像出力へ
音声出力へ
ビデオ
ケーブル
(3x ピンジャック)
オーディオ
ケーブル
(ステレオミニプラグ)
オーディオアンプ/ステレオスピーカ
ビデオケーブル
（D-sub /
コンポーネント ）＊
音声入力へ
COMPUTER IN 2
/COMPONENT IN へ
COMPUTER/
COMPONENT
AUDIO IN へ
R/C JACK
USB
SERVICE PORT
COMPUTER IN 2 /COMPONENT IN
MONITOR OUT
COMPUTER IN 1 DVI-I
F 1 2 3
ALARM
VIDEO IN
L(MONO) R
AUDIO IN
COMPUTER /COMPONENT
AUDIO OUT (VARIABLE)
S-VIDEO IN
オーディオケーブル
(2x ピンジャック)
AUDIO OUT へ

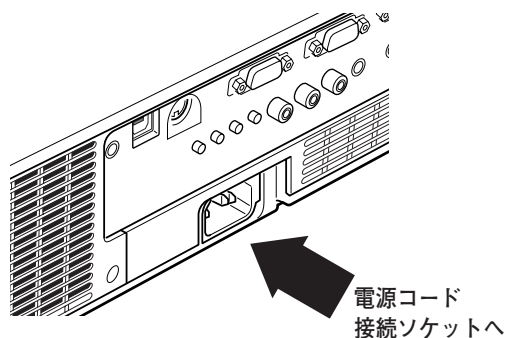
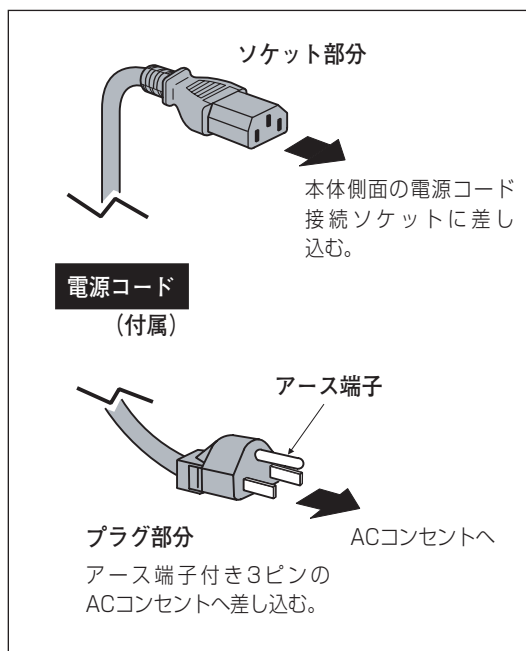
＊ 別売のD-sub/コンポーネントケーブルの3ピン部分の形状はメスになっています。ビデオ機器とつなぐときは市販のオスの形状のケーブルが必要になります。

※注）
内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、［AUDIO OUT］にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、［AUDIO OUT］にプラグがささっていないか、確認してください。

接続するときのご注意:
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、14、21～23ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

1 電源コードのソケット部分を本体側面の電源コード接続ソケットに差し込みます。

2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き3ピンのACコンセントに差し込みます。

電源コード取扱上の注意

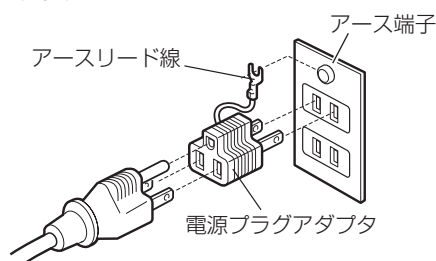
電源コードはかならず本機に付属のものをご使用ください。他の機器に使われているものを絶対にご使用にならないでください。事故や火災の原因となります。また、本機に付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

ご使用にならないときは電源コードを抜いてください

本機は、操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタンやリモコンの［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンで電源を切っても約10Wの電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源プラグをACコンセントから抜いてください。

電源プラグアダプタのアースリード線を接地してください

電源コードのプラグはアース端子付き3ピンプラグです。アースは確実に接地してご使用ください。コンセントが2ピン専用（アース端子がない）の場合は、アース工事を行ない、付属の電源プラグアダプタを使用して接続してください。アースはコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因になることがあります。

- 感電の原因となりますので、アース工事は必ず専門業者に依頼してください。
- アースリード線をコンセントに差し込まないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグアダプタを使うときは、安全のため、コンセントに電源プラグアダプタを差し込む前にアースリード線をアースへ接続してください。また、はずすときは電源プラグアダプタをコンセントから抜いたあとでアースリード線をはずしてください。

電源を入れる

電源コードをつなぐ前に、14、21～23ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

1 スライドシャッターを開けます。

2 電源コードを ACコンセントに接続します。☞24ページ
［POWER］インジケータが点灯します。

3 リモコンの［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタン、または操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタンを押して電源を入れます。*
［POWER］インジケータが赤から緑の点灯にかわります。
約30秒間のオープニング画面とそのカウントダウン**が終わると画像が映せます。
スタート時、画面左上に「ランプモード」(☞56ページ) と「インプットモード」が約4秒間表示 * されます。
このとき、「セッティング」メニューの「セキュリティ」内の、「暗証番号ロック」(☞57ページ) を「オン」にしているときは、暗証番号を入力します。
※ 暗証番号の入力方法は次ページを参照ください。

* 1）セッティングメニューで「オンスタート・オン」(☞55ページ) に設定しているときは、電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。
2）セッティングメニューで「自動入力切換・オン2」(☞54ページ) に設定しているときは、電源が入ると同時に入力信号の検出を始めます。

**セッティングメニューで、
・「オンスクリーン表示・オン」(☞51ページ)、「ロゴ選択・オフ」(☞51ページ) に設定しているときは、カウントダウンは表示されますがオープニング画面は出ません。
・「オンスクリーン表示・オフ」(☞51ページ) に設定しているときは、「ロゴ選択」(☞51ページ) の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投影されます。
・「オンスクリーン表示・カウントダウンオフ」(☞51ページ) に設定しているときは、「ロゴ選択」(☞51ページ) の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投影されます。

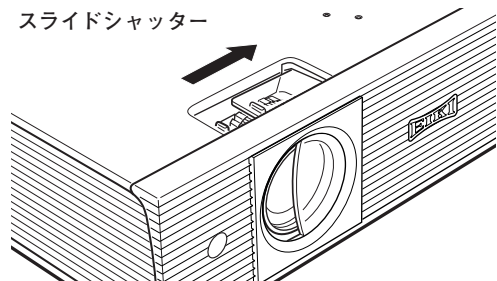
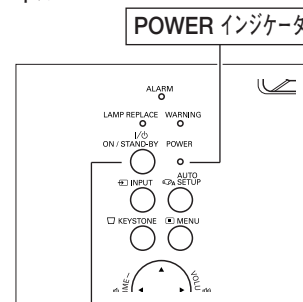
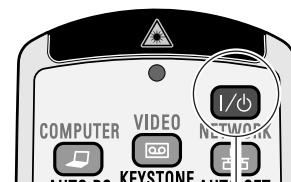
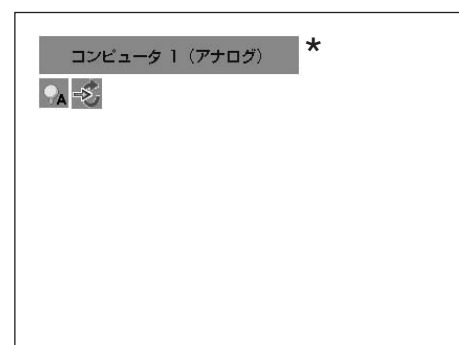
操作パネル

リモコン

* 「ランプモード」と「インプットモード」が表示されるのと同時に、ランプやエアフィルターの使用時間に関する表示が画面右上にでるときがあります。(下図)

ランプ交換 フィルター警告

表示についての詳しくは61、62ページを参照ください。

※「オンスクリーン表示・オフ」(☞51ページ) に設定しているときは、表示されません

ランプモード、インプットモード、自動入力切換の表示 *

投影中はスライドシャッターを閉じないでください。

ランプ点灯中はスライドシャッターを閉じないでください。
シャッターを閉じたまま長時間使用すると、シャッターが変形するおそれがあります。

電源を切った後、約90秒間*は電源が入りません

電源を切った後、しばらくの間は次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は［ I/⏻ (ON/STAND-BY)］ボタンや［ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源は入りません。
［POWER］インジケータが赤く点灯すれば電源を入れることができます。

電源を入れる、つづき

暗証番号の入力

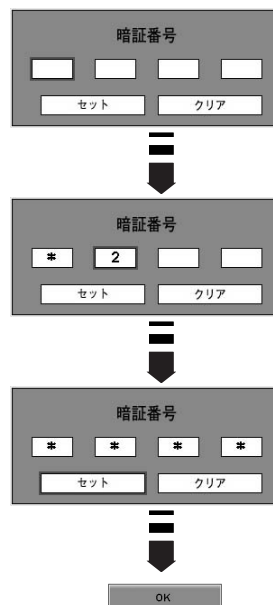
① 「暗証番号ロック」が「オン」のとき、前ページ「3」でカウントダウン＊が終わったあと、暗証番号を入れる画像があらわれます。

② ［ポイント］ボタンの上下で0〜9の数字を選択し、［ポイント］ボタン右でポインタを2けた目に移動します。（1けた目の表示が「＊」に変わります。）この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。

③ 4けた全ての数字を入力したらポインタを［ポイント］ボタン右で「セット」に移動します。［SELECT］ボタンを押して決定します。

※ 数字の入力をやりなおしたいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し［ポイント］ボタンの上下で数字を選びなおします。4けた全ての数字を消したいときは、「クリア」を選択し［SELECT］ボタンを押します。

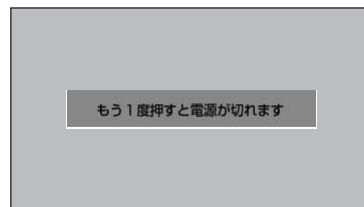
④ 正しく入力されていると、「OK」が画面に表示され、プロジェクターを操作することができます。

※ 正しい暗証番号が入力されないと、約3分後に電源が切れます。

「暗証番号ロック」とは？

管理者以外の暗証番号を知らない第三者によるプロジェクターの操作を防止します。
詳しくは「セッティング」メニューの「セキュリティ」内の「暗証番号ロック」を参照ください。☞57ページ

電源を切る

1 リモコンの［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンまたは操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタンを押すと、画面に「もう1度押すと電源が切れます」の表示が出ます。

2 表示が出ている間に再度［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンまたは［ON/STAND-BY］ボタンを押すと画面と音が消え、電源が切れます。
電源が切れると［POWER］インジケータが緑色から赤の点滅にかわり、ランプの冷却を始めます。

※ 表示は約4秒間出ます。

 電源を切った後、すぐには電源が入りません

電源を切った後、しばらくの間は次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンや［ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源は入りません。［POWER］インジケータが赤く点灯すれば電源を入れることができます。

 ランプを長持ちさせるために

ランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約5分以上点灯させてから電源を切ってください。電源を切るときは、［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンや［ON/STAND-BY］ボタンで操作してください。電源が入った状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

 冷却ファンについて

投影している最中、温度によりファンの回転速度が自動的に切り替わりますが、故障ではありません。また、電源を切った後の、ファンの回転速度は調節することができます。☞60ページ

ケースなどにしまう前に

本機は［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンや［ON/STAND-BY］ボタンを押して電源を切ったら、すぐに電源コードをプロジェクターから抜くことができますが、ランプの冷却は継続されています。プロジェクターがじゅうぶんに冷えてから、ケースなどに入れるようにしてください。

パワーマネージメント機能とそのはたらき

本機にはパワーマネージメント機能が搭載されています。30秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずカウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。
※ 工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。☞55ページ

入力信号なし
04 : 50

ランプ消灯までの時間

LAMP REPLACE　WARNING
ON / STAND-BY　POWER
INPUT　AUTO SETUP
KEYSTONE　MENU

パワーマネージメントモードになると、［POWER］インジケータが点滅を始めます。

パワーマネージメントの動作について

<u>設定が「待機」のとき</u>

1）タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプ冷却動作にはいります。ランプ冷却中は［POWER］インジケータが赤く点滅し、プロジェクターの操作はできません。
2）ランプの冷却が完了すると［POWER］インジケータが緑色の点滅を始め、パワーマネージメントモードになっていることを知らせます。この状態のときに、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投影されます。

<u>設定が「シャットダウン」のとき</u>

1）タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプの冷却が始まります。ランプ冷却中は［POWER］インジケータが赤く点滅し、プロジェクターの操作はできません。
2）ランプの冷却が完了すると、電源が切れます。

プロジェクターを24時間以上連続して使用する場合は、24時間に一度電源を切り1時間休ませてください。
休ませることによりランプをより長くご使用いただけます。

投影画面を調整する

キーストーン調整で画面の台形ひずみを補正する

リモコンまたは操作パネルで操作するとき

リモコンまたは操作パネルの［KEYSTONE］ボタンを押します。「キーストーン」表示が現われます。表示が出ている間に［ポイント］ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。

※「キーストーン」表示が現れているあいだに、もう一度［KEYSTONE］ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。

キーストーン

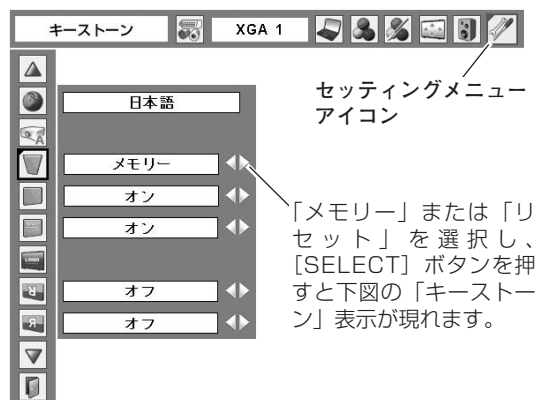
※ 表示は約4秒間出ます。
※「オンスクリーン表示・オフ」（☞51ページ）のときは表示されません。
※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。（無補正の場合の表示は白色です。）
※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

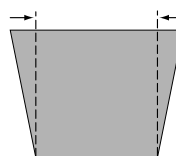
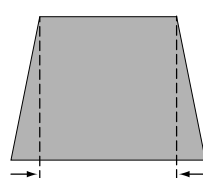
オンスクリーンメニューで操作するとき

☞32ページ：オンスクリーンメニューの操作方法
☞51ページ：「セッティング」メニューで各種機能の設定をする

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「セッティング」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「キーストーン」に合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。［ポイント］ボタンの左右で「メモリー」または「リセット」を選択します。もう一度［SELECT］ボタンを押すと、キーストーン調整モードに入ります。画面に「キーストーン」表示が現われます。

3 表示が出ている間に［ポイント］ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。

※「オートセットアップ」機能で自動的に補正する設定もできます。
☞次ページ

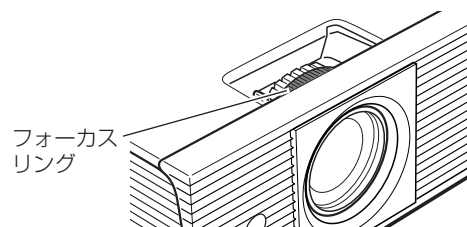
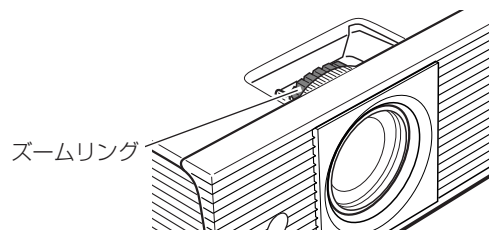
※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

ズームとフォーカス

［リング］を回して、調節します。

ズーム

［ズームリング］を回して、画面の大きさを調整をします。

フォーカス

［フォーカスリング］を回して、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

オートセットアップ

「PC調整*1」・「キーストーン（上下）*2」をボタン１つで自動的に調整します。

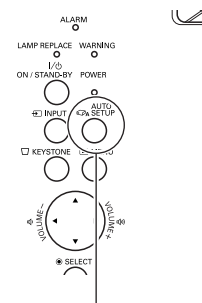
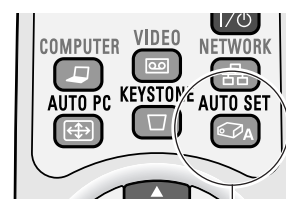
リモコンの［AUTO SET］ボタンまたは操作パネルの［AUTO SET UP］ボタンを押します。

※ 調整が完了すると、調整された適正な画面で、投影されます。

※「オートキーストーン（上下)」は、プロジェクターが設置されたときの傾斜を読みとり、台形ひずみを補正します。設置の状況によっては台形ひずみを完全に補正できないこともあります。そのようなときは、リモコンの［KEY STONE］ボタン、または、セッティングメニュー内の「キーストーン」から、手動で補正を行なってください。

※ オートセットアップで自動調整する内容は、セッティングメニュー内の「オートセットアップ」で設定できます。
☞50ページ

*1 PC調整は入力信号がPCの時だけはたらきます。
「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」の4項目を自動調整します。

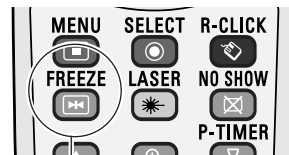
*2 セッティングメニューで「天吊り」機能が「オン」のときは「オートキーストーン」は選択できません。☞54ページ

操作パネルの［AUTO SET UP］ボタン

リモコンの［AUTO SET］ボタン

※ ボタンを押すたびに調整を行ないます。

基本の操作

画面を一時的に静止させる (FREEZE)

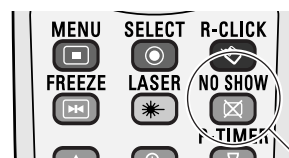
リモコンの［FREEZE］ボタンを押すと、再生機器に関係なく投影画面だけが静止します。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。
※ ［FREEZE］ボタンは操作パネルにはありません。

FREEZE ボタン

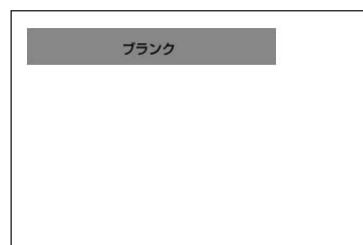
こんなときに便利です
プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には［FREEZE］ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。

画面を一時的に消す (NO SHOW)

リモコンの［NO SHOW］ボタンを押すと、「ブランク」表示が出て再生機器に関係なく投影画面を一時的に消すことができます。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。
※［NO SHOW］ボタンは操作パネルにはありません。

NO SHOW
ボタン

ロゴ画面を表示させることができます
［NO SHOW］ボタンを2回押します。
「セッティング」メニューの「ロゴ」内の「キャプチャー」(☞52ページ) を使い、「ロゴ選択　ユーザー」(☞51ページ)」を選択していると、設定したロゴ画面を表示させることができます。

※ 表示は約4秒間出ます。
※「オンスクリーン表示・オフ」(☞51ページ) のときは表示されません。

こんなときに便利です
プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せたくない画面があるときなどに便利です。

プレゼン時に経過時間を表示する (P-TIMER)

リモコンの［P-TIMER］ボタンを押すとボタンを押したときからの経過時間をカウントし、画面に表示します。
もう一度［P-TIMER］ボタンを押すと経過時間のカウントを止め、それまでの経過時間を画面に表示します。さらに［P-TIMER］ボタンを押すと解除されます。

※［P-TIMER］ボタンは操作パネルにはありません。

P-TIMER ボタン

02 : 02

※00分00秒から最長59分59秒まで経過時間を画面表示できます。

こんなときに便利です
プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。

音量を調節する・一時的に消音する（MUTE）

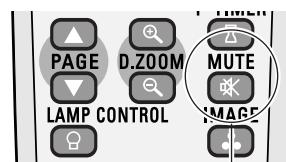
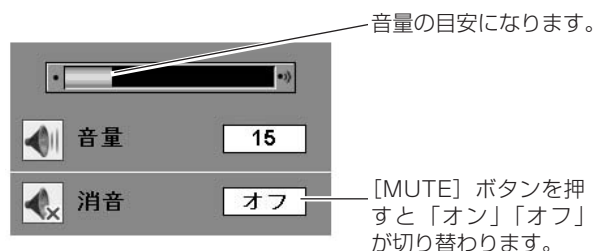
ダイレクトボタンで音を調節する

音 量

リモコンまたは操作パネルの［VOLUME］ボタン（+/–）で音量を調節します。音量バーを目安にして調節してください。

消 音

リモコンの［MUTE］ボタンを押すと、一時的に音が消えます。もう一度［MUTE］ボタンを押すか、［VOLUME］ ボタン（+/–）を押すと解除されます。

※［MUTE］ボタンは操作パネルにはありません。

※ 表示は約4秒間出ます。
※「オンスクリーン表示・オフ」（☞51ページ）のときは表示されません。

サウンドメニューで音を調節する

1 リモコンまたはコントロールパネルの［MENU］ボタンでメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「サウンド」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下で、お好みの項目にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。

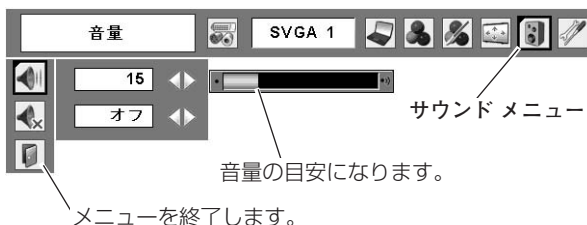
サウンドメニュー

音 量

［ポイント］ボタン左で音量が小さくなり、［ポイント］ボタン右で音量が大きくなります。
音量のバーを目安に調節してください。

消 音

［ポイント］ボタン右または左で「オン」に切り替えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると再び音が出ます。

※「オン」を選択していても、「音量」の数値を変更すると、自動的に「オフ」になります。

オンスクリーンメニューの操作方法

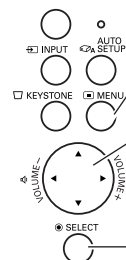
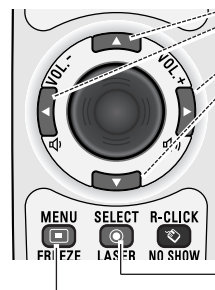
メニュー操作の基本を覚えてください

オンスクリーンメニュー(画面上のメニュー)の操作は、①ポインタを移動し、②ポインタの指す項目を選択するのが基本です。

① ポインタの動かしかた

ポインタは、［ポイント］ボタンで上下左右に動かします。
［ポイント］ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

② 項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコン（操作をイメージした図）を選択するには、［SELECT］ボタンを押します。
［SELECT］ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

1 ［MENU］ボタンを押すと、画面上にメニューバーが表示されます。（☞33ページ）メニューバーには選択できるメニューがアイコン（操作をイメージした図）の形で一覧表示されます。
アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

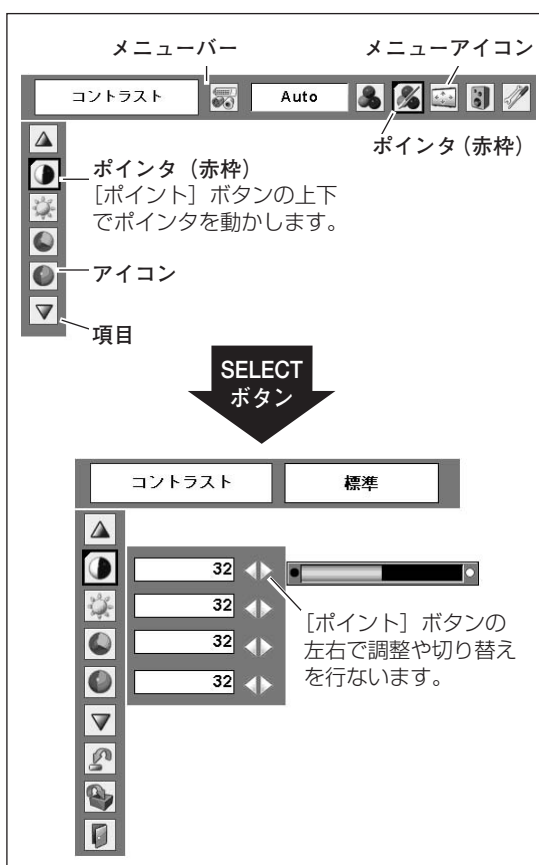
メニューを選択する

2 赤い枠のポインタを、［ポイント］ボタンの左右で選択したいメニューのアイコンに移動させます。

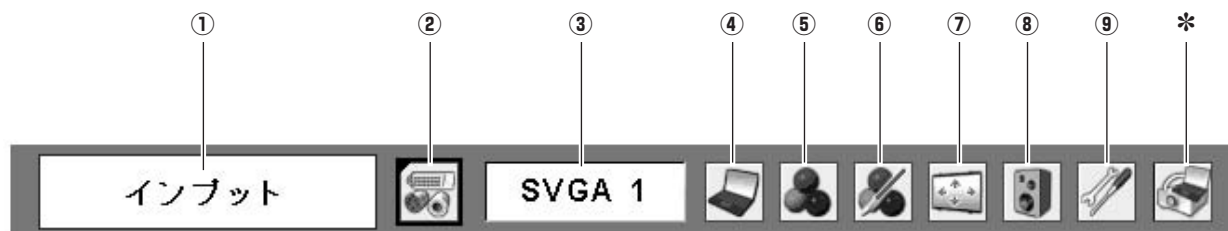
メニュー画面で調整や切り替えを行なう

3 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整する項目のアイコンに合わせます。

4 ［SELECT］ボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に出します。

5 ［ポイント］ボタンの左右で、調整や切り替えを行ないます。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項目を参照してください。

※ これ以降のページで、メニューバーや各項目のアイコンについての説明をするとき、"アイコン"を省略するときがあります。

メニューバー

コンピュータ画面のメニューバー

① **ガイドボックス**
オンスクリーンメニューの選択中の項目を表示します。

② **インプットメニュー** ☞34ページ
コンピュータ/ビデオ入力を切り替えます。

③ **システムボックス** ☞35ページ
コンピュータシステムを選択します。ボックス内の表示は選択中のコンピュータシステムです。

④ **PC調整メニュー** ☞36~38ページ
お使いのコンピュータに合わせてシステムを調整し、カスタムモードに登録します。

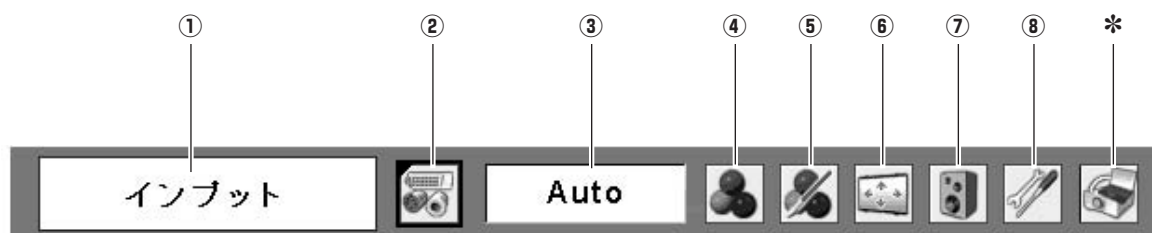
⑤ **イメージ選択メニュー** ☞39ページ
コンピュータ画面のイメージモードを選択します。

⑥ **イメージ調整メニュー** ☞40、41ページ
コンピュータ画面のイメージをマニュアルで調整します。

⑦ **スクリーンメニュー** ☞42、43ページ
画面の大きさのモード設定をします。

⑧ **サウンドメニュー** ☞31ページ
音量の調節や消音の切り替えをします。

⑨ **セッティングメニュー** ☞50~63ページ
プロジェクターの各種設定を行なうメニューです。

ビデオ画面のメニューバー

① **ガイドボックス**
オンスクリーンメニューの選択中の項目を表示します。

② **インプットメニュー** ☞44ページ
コンピュータ/ビデオ入力を切り替えます。

③ **システムボックス** ☞45ページ
カラーシステムまたは走査方式を選択します。

④ **イメージ選択メニュー** ☞46ページ
ビデオ画面のイメージモードを選択します。

⑤ **イメージ調整メニュー** ☞47、48ページ
ビデオ画面のイメージをマニュアルで調整します。

⑥ **スクリーンメニュー** ☞49ページ
画面の大きさのモード設定をします。

⑦ **サウンドメニュー** ☞31ページ
音量の調節や消音の切り替えをします。

⑧ **セッティングメニュー** ☞50~63ページ
プロジェクターの各種設定を行なうメニューです。

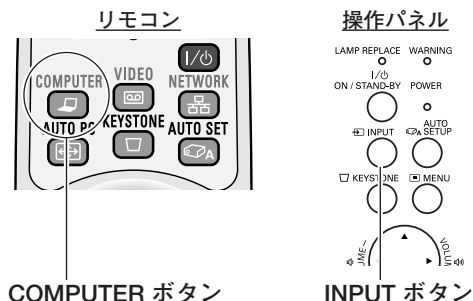
✻ 取扱説明書の『別冊』をご覧ください。

コンピュータ入力に切り替える

ダイレクトボタンで入力を切り替える

リモコンの［COMPUTER］ボタン、または操作パネルの［INPUT］ボタンを押して、「コンピュータ 1」または「コンピュータ 2」を選択します。

※ 正しい入力信号が選択されないときは、インプット メニューで正しい入力信号を選んでください。（下記参照）

※ ボタンを押すごとに切り換わります。

インプットメニューで入力を切り替える

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「インプット」メニューに合わせます。

コンピュータ 1（アナログ）

上記「*1*」に続いて、

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「コンピュータ 1（アナログ）」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

コンピュータ 1（デジタル）

上記「*1*」に続いて、

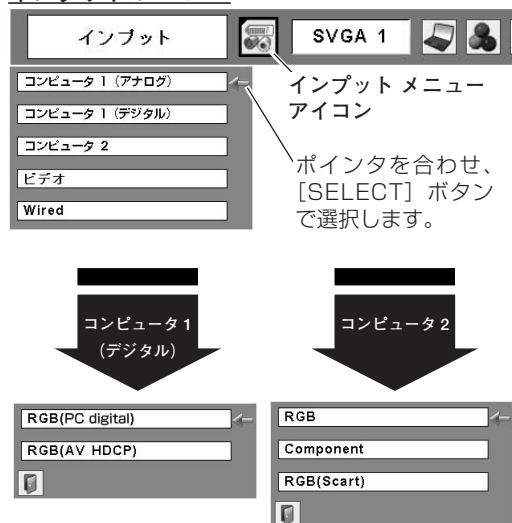
2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「コンピュータ 1（デジタル）」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「信号選択」メニューが現われます。

3 ポインタを「RGB (PC digital)」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

コンピュータ 2

上記「*1*」に続いて、

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「コンピュータ 2」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「信号選択」メニューが現われます。

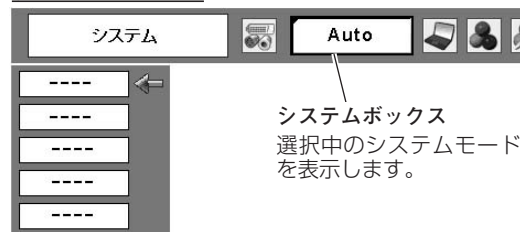
3 ポインタを「RGB」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

コンピュータシステムの選択

システムモードが自動選択されます

（マルチ スキャン システム）

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステム モード（VGA、SVGA、XGA、SXGA・・・）を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピュータ画面を投影することができます。☞78、79ページ
選択されたシステムモードは、メニューバーのシステムボックスに表示されます。

※ システムボックスには、下記のメッセージが表示されることがあります。

システムメニュー

システムボックスに表示されるメッセージ

Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動PC調整機能が働き、システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投影されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。
☞36～38ページ

D-VGA ・ **D-SVGA** ・ **D-XGA** ..など

入力信号がデジタルのとき。

コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。☞14、21ページ

Network

Wired/Wirelessを選択しているとき。 ☞『取扱説明書 別冊』を参照してください。

Viewer

メモリビューワーを選択しているとき。 ☞ 別売USBメモリーに付属の『取扱説明書』を参照してください。

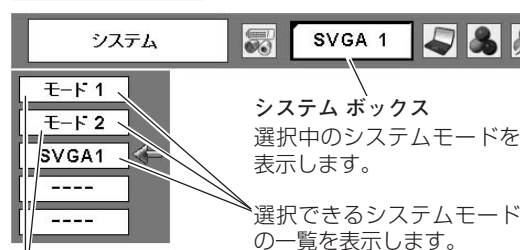
システムモードをマニュアルで選択するとき

「カスタムモード※」を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタをシステムボックスに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを、いずれかのモードに合わせて［SELECT］ボタンで選んでください。

※ カスタムモード：お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。☞37、38ページ

システムメニュー

PC調整メニューで登録した「カスタムモード1～5」を表示します。

コンピュータシステムの調整

自動PC調整機能

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」の4項目を自動調整することができます。

リモコンのダイレクトボタンで調整する

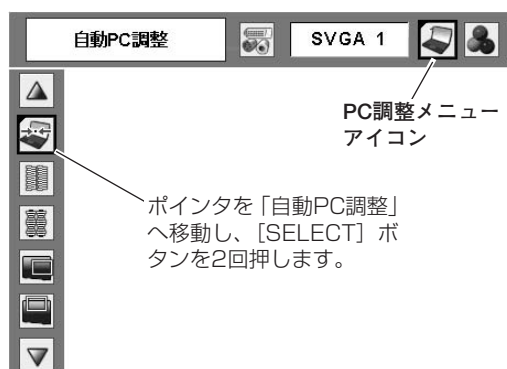
リモコンの［AUTO PC］ボタンを押します。

メニューから調整する

自動PC調整

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で、ポインタを「PC調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「自動PC調整」に合わせて［SELECT］ボタンを押すと、PC調整画面が出ます。［SELECT］ボタンをもう一度押して、自動調整を実行させます。

PC調整メニュー

※ 入力信号がデジタルのときは「PC調整」メニューは選択できません。
※ 「インプット」メニューで「Wired」「Wireless*」「ビューワー**」を選択しているときは「PC調整」メニューは選択できません。
※自動PC調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。
☞37、38ページ
※自動調整した内容を一度登録しておくと、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、次ページの「マニュアルPC調整の手順3」をご覧ください。
※システムメニューで、480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080iが選択されているときは、自動PC調整機能ははたらきません。

＊ 無線LANアダプタ装着時に表示されます。
＊＊ USBメモリー装着時に表示されます。

マニュアルPC調整（「カスタムモード」を登録する）

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューバーの「システムボックス」に「Auto」と表示され、画像が正しく投影されないときは、PC調整メニューでマニュアル調整し、「カスタムモード」に登録してください。登録した「カスタムモード」は、システムメニューで選択できます。「カスタムモード」は5つまで登録することができます。

※ 入力信号がデジタルのときは「PC調整」メニューは選択できません。
※ 「インプット」メニューで「Wired」「Wireless*」「ビューワー**」を選択しているときは「PC調整」メニューは選択できません。

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で、ポインタを「PC調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で行ないます。

3 リセット

① ポインタを「リセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

②「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。

③ ポインタが「PC調整」メニューの に移動します。

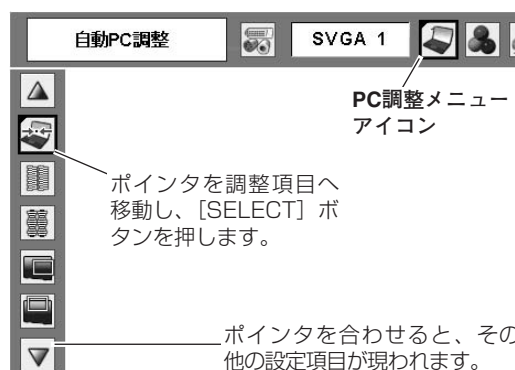
データ消去

① ポインタを「データ消去」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「PC調整データ消去」メニューが現われます。

② 消去したいモード（「モード 1 から 5」 のいずれか）にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと、「カスタムモード」の登録が解除され、「PC調整データ消去」メニューへ戻ります。さらに、［SELECT］ ボタンを押すと「PC調整」メニューに戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「PC調整データ消去」メニューへ戻ります。消去したいモードを選び直してください。

★ 無線LANアダプタ装着時に表示されます。
★★ USBメモリー装着時に表示されます。

PC調整メニュー

PC調整データ消去メニュー

＊「カスタムモード」の登録状況（データあり/データなし）を表示します。

※「調整メニュー」の表示内容

既に「カスタムモード」が登録されています。
総ドット数、水平位置、垂直位置、画面領域 H、画面領域 Vを表示します。

どのモードを消去しますか？

モード 1	データあり	800	142	34	1024	768
モード 2	データなし	800	142	34	1024	768
モード 3	データなし	800	142	34	1024	768
モード 4	データなし	800	142	34	1024	768
モード 5	データなし	800	142	34	1024	768

このメニューをとじます。

何も登録されていません。

メモリー

① ポインタを「メモリー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「PC調整データ登録」メニューが現われます。

② 登録したいモード（「モード 1 から 5」 のいずれか）にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと、「カスタムモード」へ登録され「PC調整データ登録メニュー」へ戻ります。さらに、［SELECT］ ボタンを押すと「PC調整」メニューに戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「PC調整データ登録メニュー」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

PC調整データ登録メニュー

 戻る

メニューを終了します。

項　目

 トラッキング

トラッキング（同期）がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。（0から31まで）

※ コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

 総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。

 水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。

 垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。

 コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。

コンピュータ情報

 クランプ

クランプ位置を調整します。
投影している映像に暗い線が出ているときに使います。

 画面領域 H

水平解像度を調整します。
［ポイント］ボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

 画面領域 V

垂直解像度を調整します。
［ポイント］ボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

※ システムメニューで480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080iのシステムモードが選択されているときは、「画面領域 H / V」の調整はできません。

イメージの調整

[IMAGE] ボタンでイメージモードを選択する

[IMAGE] ボタンを押すごとに、イメージモードが「ダイナミック」「標準」「リアル」「黒（緑）板」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」と切り替わります。

ダイナミック

「標準」よりもメリハリの効いた画質を再現することができます。

標　準

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤/緑/青)、画質、ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

リアル

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。

黒（緑）板

教室などの緑色をした黒板に投影するとき、白いスクリーンに投影したときに近い色合いを再現します。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。
☞次ページ

[IMAGE] ボタンを押すごとに切り替わります。

※表示は約4秒間出ます。
※「オンスクリーン表示・オフ」(☞51ページ) のときは表示されません。

「イメージ選択」メニューでイメージモードを選択する

1. [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「イメージ選択」メニューに合わせます。
2. [ポイント] ボタンの上下でポインタをお好みの「イメージモード」に合わせ、[SELECT] ボタンで決定します。

イメージ選択メニュー

ダイナミック

「標準」よりもメリハリの効いた画質を再現することができます。

標　準

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤/緑/青)、画質、ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

リアル

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。

黒（緑）板

教室などの緑色をした黒板に投影するとき、白いスクリーンに投影したときに近い色合いを再現します。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。
☞次ページ

マニュアルでイメージ調整を行なう

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「イメージ調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、その項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で行ないます。

3 リセット

① ポインタを「リセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

②「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。

③ ポインタが「イメージ調整」メニューの に移動します。

メモリー

※ 調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。

① ポインタを「メモリー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「イメージ調整登録」メニューが現われます。

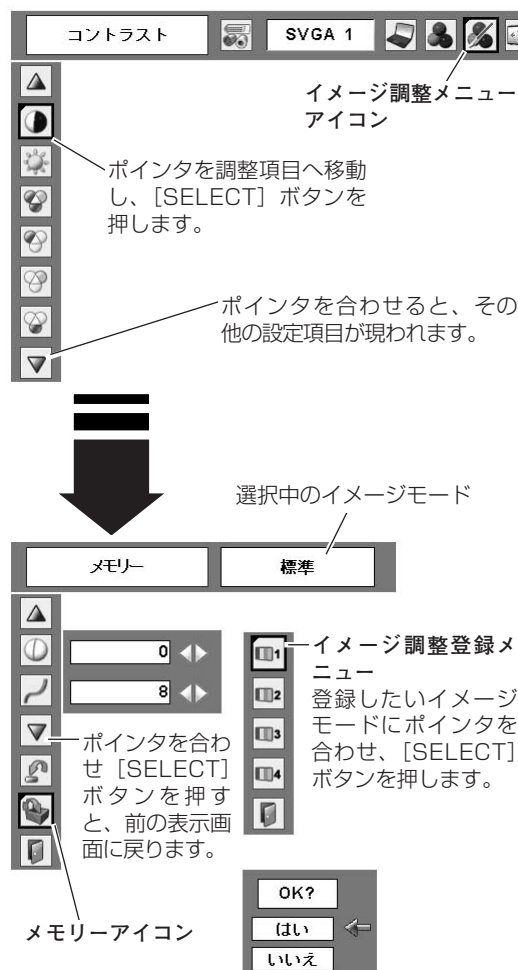
② 登録したいイメージモードにポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと登録され、「イメージ調整登録」メニューへ戻ります。さらに、［SELECT］ ボタンを押すと「イメージ調整」メニューに戻ります。（ポインタは自動的に をさしています。）

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「イメージ調整登録メニュー」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

戻る

メニューを終了します。

イメージ調整メニュー

項　目 ［ポイント］ボタンの左（◀ ）右（ ▶）で調整します。

コントラスト

◀ うすくなる　▶ こくなる（0〜63）

明るさ

◀ 暗くなる　▶ 明るくなる（0〜63）

色温度

◀ 超低へ　▶ 高へ（超低ー低ー中ー高）

※ 超低（赤みがかる）〜高（青みがかる）

※ この項目を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。

※「ホワイトバランス」（赤/緑/青のどれか1つでも）の調整をすると「調整中」と表示されます。

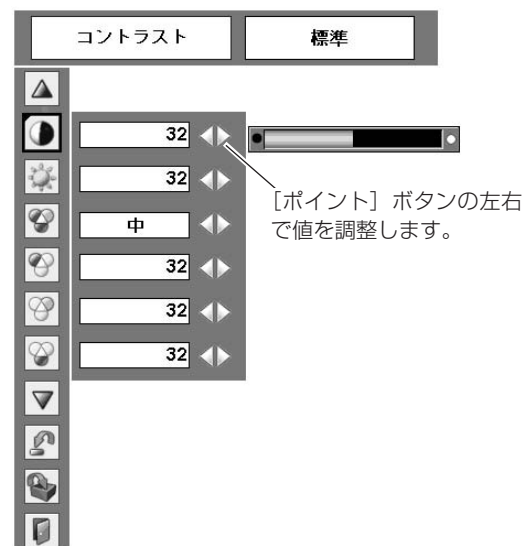
ホワイトバランス（赤/緑/青）

◀ うすくなる　▶ こくなる（各色0〜63）

画　質

◀ やわらかい　▶ くっきり（0〜15）

ガンマ補正

［ポイント］ボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。（0〜15）

画面サイズを調整する

お好みにより、画像サイズを変えることができます。

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「スクリーン」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタン上下で選択したい機能に合わせ、［SELECT］ボタンで決定します。

スクリーンメニュー

注) 1024x768 ドット

 ノーマル

画像を有効投影画面注) の高さに合わせて投影します。

リアル

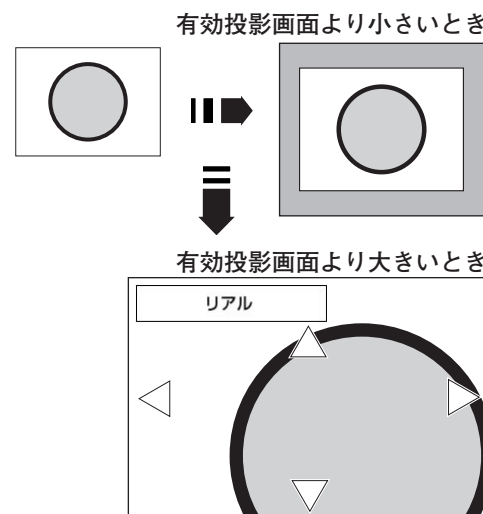
画像をオリジナルサイズで投影します。

① 画像サイズが有効投影画面注) よりも小さいときは、画面の中央に投影し、画面左上に「リアル」の表示が現れます。

② 画像サイズが有効投影画面注) と同じときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れますが、その後「ノーマル」と同じ画面サイズで投影されます。

③ 画像サイズが有効投影画面注) よりも大きいときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れ、画面の上下左右に△が表示されます。［ポイント］ボタンの上下左右で画像を移動させます。

※ 「リアル」を選択しているとき、「デジタルズーム ＋・－」は選択することができません。

リアル

※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。
※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

 ワイド

画像を有効投影画面注) の幅に合わせ、アスペクト比16 :9のワイド画面で投影します。

フルスクリーン

アスペクト比4：3のフルスクリーンサイズで投影します。

※ 「フルスクリーン」を選択しているとき、「デジタルズーム ＋・－」は選択することができません。

カスタム

水平と垂直の、スケールおよび位置を調整します。
「カスタム」を選択し［SELECT］ボタンを押すと、「カスタム」の表示*が現れ、約4秒後「アスペクト調整」画面が現れます。

* 「オンスクリーン表示・オフ（ ☞51ページ)」のときは「カスタム」を選択し［SELECT］ボタンを押すとすぐに「アスペクト調整」画面が表示されます。

スケール H/V

垂直および水平のスケールを調整します。［ポイント］ボタンの左右で調整します。

H&V

垂直および水平のスケールを調整するときに、垂直と水平のスケールを連動させ、映像のアスペクトを保持したままスケール調整をするときに「オン」を選択します。

※ 「スケール H」で調整し、数値の変化に合わせて「スケール V」の数値も変化します。

ポジション H/V

垂直および水平の位置を調整します。［ポイント］ボタンの左右で調整します。

カスタムのアスペクト調整画面

［ポイント］ボタンの上下で項目を移動し、
［ポイント］ボタンの左右で、調整します。

カスタム（つづき）

共通

調整した内容を全ての入力（「コンピュータ1/2、ビデオ」）に反映します。
［SELECT］ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すと登録されます。

※ 例えば、コンピュータ入力で「スケール H」を「0」から「2」に変えて登録したとき、ビデオ入力で「カスタム」を表示させたときに「スケール H」に「2」が表示されている、ということです。

リセット

調整した内容を全てリセットします。
［SELECT］ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すとリセットされます。

※ 無信号時は調整できません。無信号時は「アスペクト調整」の調整値は反映されません。
※ 無信号時に「カスタム」の選択はできますが、「アスペクト調整」の画面は表示されず、調整することはできません。
※ 調整中に無信号になると、調整値は保持されますが、「アスペクト調整」画面は消えます。

デジタルズーム ＋

「デジタルズーム＋」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom ＋」表示が現われます。
［SELECT］ボタンを押すごとに画像が拡大します。
［ポイント］ボタンの上下左右で画像を移動させます。
リモコンの［D.ZOOM ▲］ボタンを押しても画像の拡大ができます。

デジタルズーム －

「デジタルズーム －」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom －」表示が現われます。
［SELECT］ボタンを押すごとに画像が縮小します。
リモコンの［D.ZOOM ▼］ボタンを押しても画像の縮小ができます。

注）1024x768 ドット

※「デジタルズーム」モードから抜けるときは、［D.ZOOM、SELECT、ポイント］以外のボタンを押します。
※「ノーマル」モードへもどるときは、ポインタを「ノーマル」モードに合わせ［SELECT］ボタンを押します。
※ 本機はUXGA（1600×1200ドット）を超える解像度には対応しておりません。お使いのコンピュータの解像度がUXGA（1600×1200ドット）を超える場合は、プロジェクターに接続する前に低い解像度に再設定してください。
※ 有効投影画面注）以外の画像データは、初期画面で有効投影画面注）に合うように自動的に画像サイズが変換されます。
※ PC調整メニューでマニュアル調整した「カスタムモード」をコンピュータのシステムモードに使用しているときは、「デジタルズーム +」モードのときの画像の移動機能は正しくはたらかないことがあります。
※ システムモード（☞35ページ）で「VGA、SVGA、SXGA、WXGA、UXGA」が選択されていて、上部への「キーストーン」調整が最大値のとき、「デジタルズーム －」が正しくはたらかないときがあります。
※ 「スケール H/V」、「ポジション H/V」、「デジタルズーム」で、入力信号によっては補正量が変わることがあります。

信号の種類別の選択できるモードの一覧

	480i/575i/480p/575p	1035i/1080i/720p	Memory Viewer	左記以外
ノーマル	○	○	○	○
リアル	×	×	○	○
ワイド	○	×	○	○
フルスクリーン	×	×	○	○
カスタム	○	○	○	○
デジタルズーム ＋/－	×	×	○	○

コンピュータ入力

ビデオ入力

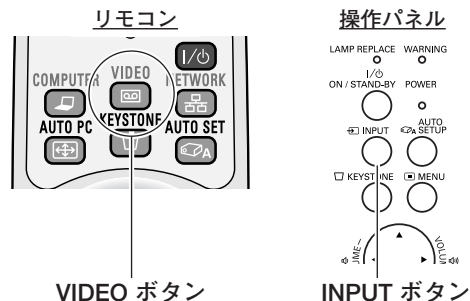
VIDEO / S-VIDEO 入力に切り替える

ダイレクトボタンで入力を切り替える

リモコンの［VIDEO］ボタン、または操作パネルの［INPUT］ボタンを押して、「ビデオ」に切り替えます。

※ 正しい入力信号が選択されないときは、インプット メニューで正しい入力信号を選んでください。（下記参照）

※ ボタンを押すごとに切り換わります。

入力切換 / INPUT ボタン

インプットメニューで入力を切り替える

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「インプット」メニューに合わせます。

インプット メニュー

信号選択メニュー （Video/RGB(AV HDCP)/Component）

Auto / Video / S-video

上記「*1*」に続いて、

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「ビデオ」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「信号選択」メニューが現われます。

3 ポインタを入力信号の種類に合わせ、［SELECT］ボタンで選んでください。

※ 2台のビデオ機器を接続しているときは、信号選択メニューで「Auto」に設定していても、プロジェクターは入力端子へのプラグの挿入 (信号の有無ではない) を検知して、
1）S-Video、2）Video の接続順位で入力端子を自動選択します。接続されている入力端子が選択されないときは、信号選択メニューでポインタを合わせ、［SELECT］ボタンで選択してください。

RGB (AV HDCP)

上記「*1*」に続いて、

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「コンピュータ 1（デジタル）」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「信号選択」メニューが現われます。

3 ポインタを「RGB (AV HDCP)」に合わせ、［SELECT］ボタンで選んでください。

Component

上記「*1*」に続いて、

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「コンピュータ 2」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「信号選択」メニューが現われます。

3 ポインタを「Component」に合わせ、［SELECT］ボタンで選んでください。

※ 「RGB (Scart)」は、ビデオ機器からの信号（SCART 21ピン*）が［COMPUTER IN 2/ COMPONENT IN］に入力されている場合に選択します。

* SCART 21ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子のRGB出力をプロジェクターで見るには、ビデオ機器のSCART 21ピン端子とプロジェクターの［COMPUTER IN 2 / COMPONENT IN］を専用のケーブルで接続します。［COMPUTER IN 2 / COMPONENT IN］で再生されるRGB SCART信号は、480i、575iのRGB信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

カラーシステムや走査方式を選択する

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で、ポインタを「システム」メニューに合わせます。

2 ポインタを入力信号に合ったカラーシステムまたは走査方式に合わせ、［SELECT］ボタンで選んでください。

VIDEO または S-VIDEO 端子入力選択時

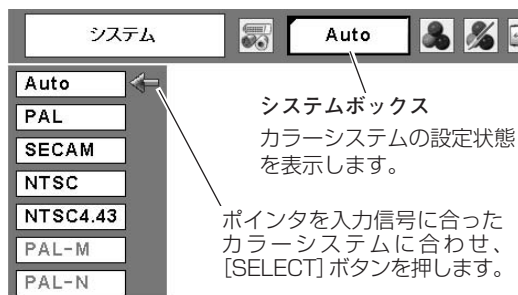
Auto（自動）

入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。

※ 「PAL-M」「PAL-N」は自動選択されません。上記「*1*」「*2*」の手順で選択してください。

PAL・SECAM・NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムはNTSCです。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

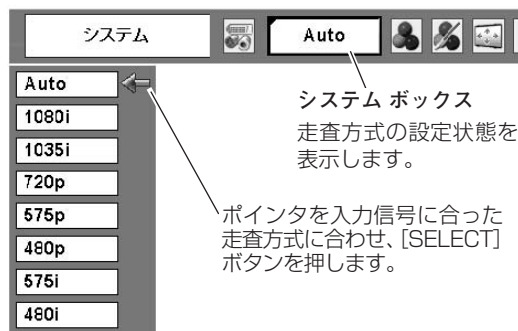
システム メニュー
（コンポジット映像またはS映像入力時）

コンポーネント入力選択時

Auto（自動）

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、メニュー の中から正しい走査方式を選んでください。

システムメニュー（コンポーネント映像入力時）

イメージの調整

[IMAGE] ボタンでイメージモードを選択する

[IMAGE] ボタンを押すごとに、イメージモードが「ダイナミック」「標準」「シネマ」「黒（緑）板」「イメージ 1」「イメージ 2」「イメージ 3」「イメージ 4」と切り替わります。

ダイナミック

「標準」よりもメリハリの効いた画質を再現することができます。

標　準

「コントラスト、明るさ、色の濃さ、色合い、色温度、ホワイトバランス（赤/緑/青）、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション、プログレッシブ」が、工場出荷時設定の標準値になります。

シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。

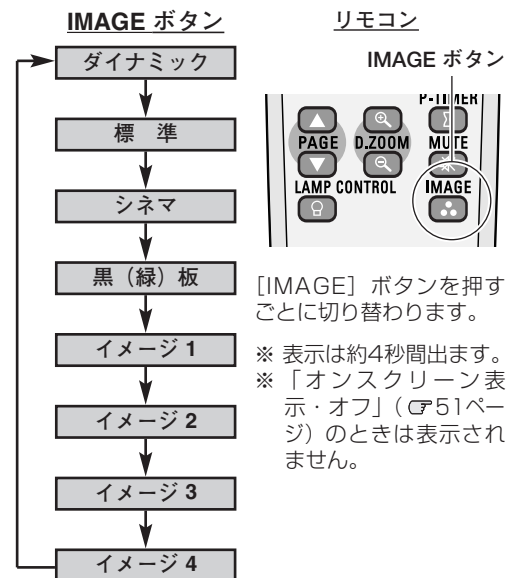
黒（緑）板

教室などの緑色をした黒板に投影するとき、白いスクリーンに投影したときに近い色合いを再現します。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。
☞次ページ

[IMAGE] ボタンを押すごとに切り替わります。

※ 表示は約4秒間出ます。
※ 「オンスクリーン表示・オフ」（☞51ページ）のときは表示されません。

「イメージ選択」メニューでイメージモードを選択する

1. [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「イメージ選択」メニューに合わせます。
2. [ポイント] ボタンの上下でポインタをお好みの「イメージモード」に合わせ、[SELECT] ボタンで決定します。

ダイナミック

「標準」よりもメリハリの効いた画質を再現することができます。

標　準

「コントラスト、明るさ、色の濃さ、色合い、色温度、ホワイトバランス（赤/緑/青）、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション、プログレッシブ」が、工場出荷時設定の標準値になります。

シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。

黒（緑）板

教室などの緑色をした黒板に投影するとき、白いスクリーンに投影したときに近い色合いを再現します。

イメージ 1~4

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。
☞次ページ

イメージ選択メニュー

マニュアルでイメージ調整を行なう

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「イメージ調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、その項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で行ないます。

3

① ポインタを「リセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

②「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。

③ ポインタが「イメージ調整」メニューの に移動します。

メモリー

※ 調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。

① ポインタを「メモリー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「イメージ調整登録」メニューが現われます。

② 登録したいイメージモードにポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと登録され、「イメージ調整登録」メニューへ戻ります。さらに、［SELECT］ ボタンを押すと「イメージ調整」メニューに戻ります。（ポインタは自動的に をさしています。）

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「イメージ調整登録メニュー」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

戻る

メニューを終了します。

項　目　［ポイント］ボタンの左（◀ ）右（ ▶）で調整します。

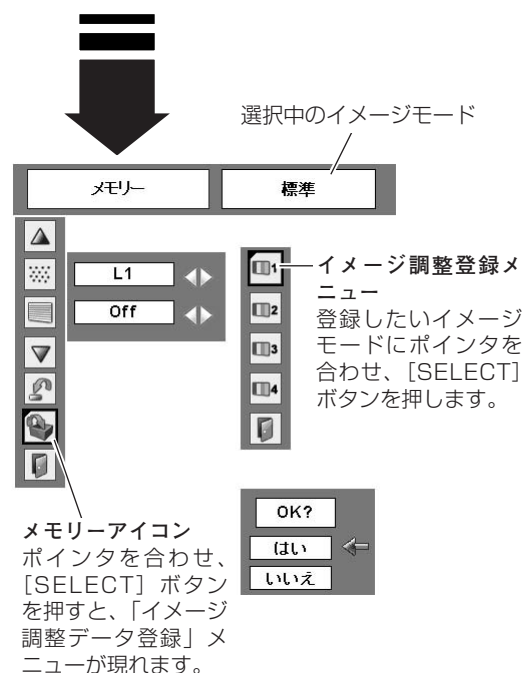
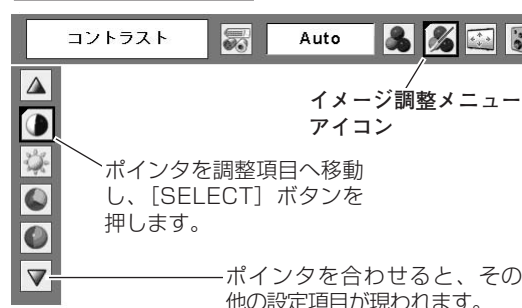
◀ うすくなる　▶ こくなる（0～63）

明るさ

◀ 暗くなる　▶ 明るくなる（0～63）

色の濃さ

◀ うすくなる　▶ こくなる（0～63）

色合い

◀ 紫がかる　▶ 緑がかる（0〜63）

※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」の調整はできません。

色温度

◀ 超低へ　▶ 高へ（超低ー低ー中ー高）

※ 超低（赤みがかる）〜高（青みがかる）

※ この項目を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。
※「ホワイトバランス」（赤/緑/青のどれか1つでも）の調整をすると「調整中」と表示されます。

ホワイトバランス（赤/緑/青）

◀ うすくなる　▶ こくなる（各色0〜63）

画　質

◀ やわらかい　▶ くっきり（0〜15）

ガンマ補正

［ポイント］ボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。（0〜15）

ノイズリダクション

古いビデオやノイズの多い映像を見るとき、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

オフ・・・ノイズのない映像を見るときは「オフ」に設定してください。

L1・・・ノイズリダクション：弱

L2・・・ノイズリダクション：強

※ システムメニューで 1080i、1035i、480p、575p、720p、の信号を選択しているときは、「ノイズリダクション」は選択できません。

ノイズリダクションの使い分け

ノイズリダクションを使用すると、動きの早い映像をみるとき、残像が発生することがあります。

- 動きの早い映像（アクション映画など）のときは「L1」（弱）に設定する。
- 動きの遅い映像のときは「L2」（強）に設定する。

プログレッシブ

オフ・・・・動きの多い映像でチラツキや横線が目立つときは、「オフ」に設定してください。

L1・・・・プログレッシブスキャンを「ON」にします。（動画のとき）

L2・・・・プログレッシブ スキャンを「ON」にします。（静止画のとき）

フィルム・・「3-2 プルダウン / 2-2 プルダウン」された映画を投影するときに、映画の質感を損なわずに再生できます。

※ システムメニューで 1080i、1035i、480p、575p、720p、の信号を選択しているときは、「プログレッシブ」は選択できません。

画面サイズを選択する

お好みにより、画面サイズを選択できます。

※「システム」メニューで1080i、1035iまたは720pの信号（アスペクト比16：9）が選択されているときは、「スクリーン」メニューは機能しません。

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で、ポインタを「スクリーン」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下で選択したい機能に合わせ、［SELECT］ボタンで決定します。

スクリーンメニュー

ノーマル

通常の映像のアスペクト比4：3で投影します。

ワイド

DVDプレーヤ等のワイドモードで出力された映像信号を、アスペクト比16：9のワイド画面で投影します。

※「インプット」でY,Pb/Cb,Pr/Crを選択して、1080i/1035i/720pのアスペクト比16：9の信号が入力されたときは、選択できません。

カスタム

水平と垂直の、スケールおよび位置を調整します。
「カスタム」を選択し［SELECT］ボタンを押すと、「カスタム」の表示*が現れ、約4秒後「アスペクト調整」画面が現れます。

* 「オンスクリーン表示・オフ（ ☞51ページ)」のときは「カスタム」を選択し［SELECT］ボタンを押すとすぐに「アスペクト調整」画面が表示されます。

スケール　H/V

垂直および水平のスケールを調整します。［ポイント］ボタンの左右で調整します。

H&V

垂直および水平のスケールを調整するときに、垂直と水平のスケールを連動させ、映像のアスペクトを保持したままスケール調整をするときに「オン」を選択します。

※ 「スケール　H」で調整し、数値の変化に合わせて「スケール　V」の数値も変化します。

ポジション　H/V

垂直および水平の位置を調整します。［ポイント］ボタンの左右で調整します。

共通

調整した内容を全ての入力（「コンピュータ1/2、ビデオ」）に反映します。
［SELECT］ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すと登録されます。

※ 例えば、コンピュータ入力で「スケール H」を「0」から「2」に変えて登録したとき、ビデオ入力で「カスタム」を表示させたときに「スケール H」に「2」が表示されている、ということです。

リセット

調整した内容を全てリセットします。
［SELECT］ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すとリセットされます。

※ 無信号時は調整できません。無信号時は「アスペクト調整」の調整値は反映されません。
※ 無信号時に「カスタム」の選択はできますが、「アスペクト調整」の画面は表示されず、調整することはできません。
※ 調整中に無信号になると、調整値は保持されますが、「アスペクト調整」画面は消えます。

カスタムのアスペクト調整画面

［ポイント］ボタンの上下で項目を移動し、［ポイント］ボタンの左右で、調整します。

※ 「スケール H/V」、「ポジション H/V」で入力信号によっては補正量が変わることがあります。

詳細な設定

「セッティング」メニューで各種機能の設定をする

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「セッティング」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを設定する項目に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。
選んだ項目の設定画面が現われます。

言　語

画面表示の言語を切り替える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、フィンランド語、ポーランド語、ハンガリー語、ルーマニア語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語の16か国語の中から選べます。

オートセットアップ

オートセットアップ機能の動作内容の設定を行ないます。

自動PC調整

［ポイント］ボタンの左右で「オン・オフ」を切り替えます。

オン・・・自動PC調整を行ないます。

オフ・・・動作設定を行ないません。

※ 工場出荷時は「オン」に設定されています。

オートキーストーン

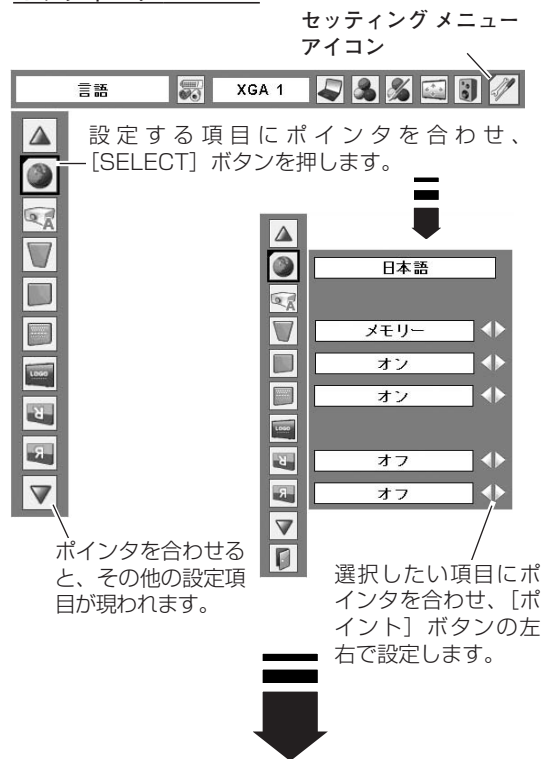
自動・・・プロジェクターを傾けると、いつも「オートキーストーン」が自動的に補正を行なうように設定します。

手動・・・リモコンの［AUTO SET］ボタン、または本体の「AUTO SET UP」ボタンを押したときに「オートキーストーン」が働くように設定します。

オフ・・・動作設定を行ないません。

※ 工場出荷時は「自動」に設定されています。
※ 「天吊り」機能が「オン」のときは「オートキーストーン」は選択できません。☞54ページ
※ 設置の状況によっては台形ひずみを完全に補正できないこともあります。そのような場合は手動で補正を行なってください。

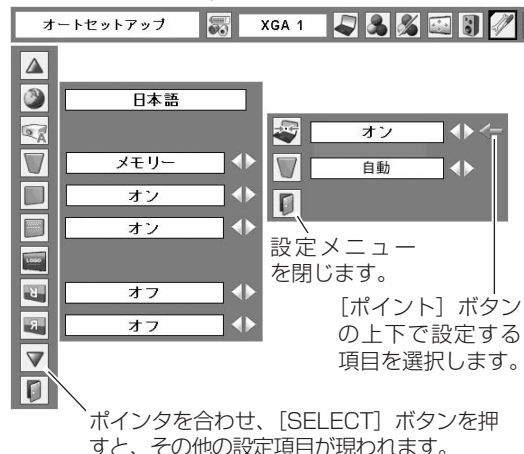
同時に両方の設定を「オフ」にはできません。
- たとえば、「自動PC調整」を「オフ」にしたときは、「オートキーストーン」は「自動」と「手動」だけの選択になります。
- また、「オートキーストーン」を「オフ」にしたときは、「自動PC調整」は「オン」に設定されます。

セッティング メニュー

言語のアイコンを選択すると言語メニューが現われます。

ポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、その他の言語が現われます。

オートセットアップ

ポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、その他の設定項目が現われます。

詳細な設定

キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。［ポイント］ボタンで「リセット」または「メモリー」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、画面からメニュー表示が消えて「キーストーン」表示が現われます。［ポイント］ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。「メモリー」、「リセット」は以下のはたらきをします。
☞28ページ

メモリー ・・・電源コードを抜いても調整した状態を記憶します。
リセット ・・・電源コードを抜くと調整した状態がリセットされます。

※ 「キーストーン」表示が現れているあいだに、［KEYSTONE］ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。
※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

ブルーバック

信号のないときにブルーの画面を出す機能です。この機能を「オン」にすると、画像の再生前や中断時のノイズの画面を映さずにブルーの画面を映します。

オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。

オン ・・・すべての画面表示を出します。
ある程度投影画面が明るくなってから、映像を映したいときに選択します。

カウントダウンオフ ・・・ランプ点灯後30秒のカウントダウンを表示せず、すぐに投影します。
投影画面が少し暗くても早く映像を映したいときに選択します。

オフ ・・・以下の画面表示以外は出しません。
- メニューバー表示 ☞33ページ
- 電源を切るときの、「もう1度押すと電源が切れます」の表示
- P-TIMER表示 ☞30ページ
- 自動PC調整の「しばらくお待ち下さい」の表示
- パワーマネージメント時のタイマー表示 ☞55ページ
- 画面サイズが大きいとき表示される「△」の矢印 ☞42ページ

ロゴ選択。画面のキャプチャー、ロゴ選択の暗証番号の設定をします。

※「ロゴ暗証番号ロック」が「オン」のとき、「ロゴ選択」と「キャプチャー」は設定できません。☞52ページ

ロゴ選択

電源を入れたときのロゴ表示を選択することができます。

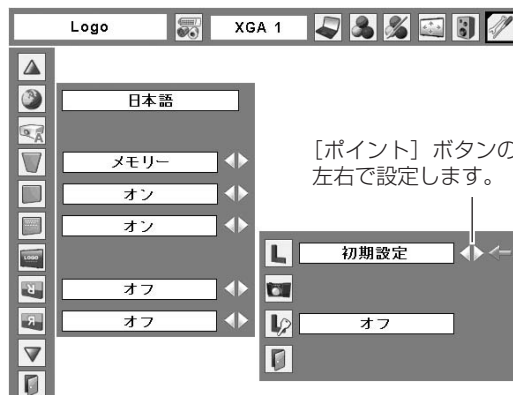
ユーザー ・・・キャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。

初期設定 ・・・工場出荷時の設定を表示します。

オフ ・・・・・ ロゴ表示を画面に出しません。

ロゴ選択

［ポイント］ボタンの左右で設定します。

詳細な設定

キャプチャー

投影している画面を取り込んで、スタートアップロゴにすることができます。
取り込んだ画像をスタートアップロゴにするときは、「ロゴ」機能で「ユーザー」を選択してください。(前ページ「ロゴ選択」参照)

1 [ポイント]ボタンの上下でポインタを「キャプチャー」に合わせ、[SELECT]ボタンを押すと、「はい」、「いいえ」の表示が現れます。

はい・・・・画面の取り込みを始めます。

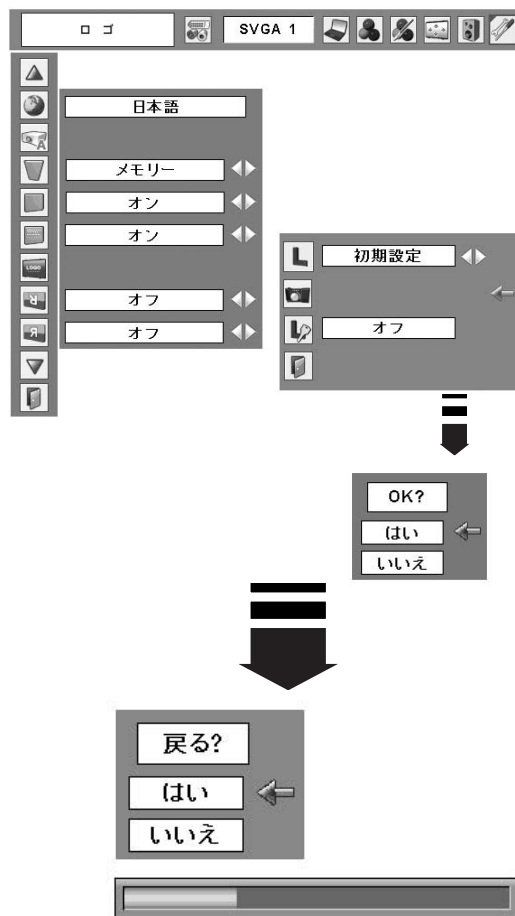
いいえ・・・キャプチャー機能を取り消します。

2 はいを選択すると、取り込みを始めます。
取り込みの進行を示すバーが現れます。
取り込みが完了するとメニュー表示は消えます。
このとき、取り込みを中止したいときは、バーの上にある「戻る?」のはい＊を選択し[SELECT]ボタン押します。

※「ユーザー」へ保存できるのは1画面のみです。
※ 適切な画面を取り込むために、イメージモードは標準を選択しておいてください。
※ 画像を取り込むときは「キーストーン」調整を一時的に解除します。
※ この機能が使えるのは以下の信号のときです。
コンピュータ・・・XGA以下(ただし、「画面領域 H」を1025以上、「画面領域 V」を769以上に設定すると不可)
ビデオ・・・コンポジット、Sビデオ、480p、575p、480i、575i

ご注意＊

「戻る?」で「はい」を選択すると、すでに「ユーザー」に保存していた画像の登録も削除されます。

キャプチャー

ロゴ暗証番号ロック

「ロゴ」の設定・変更を暗証番号を持つ管理者以外できなくします。設定により以下のモードが選択できます。

オン・・・暗証番号を入れないと「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更はできません。
オフ・・・暗証番号なしで「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更ができます。

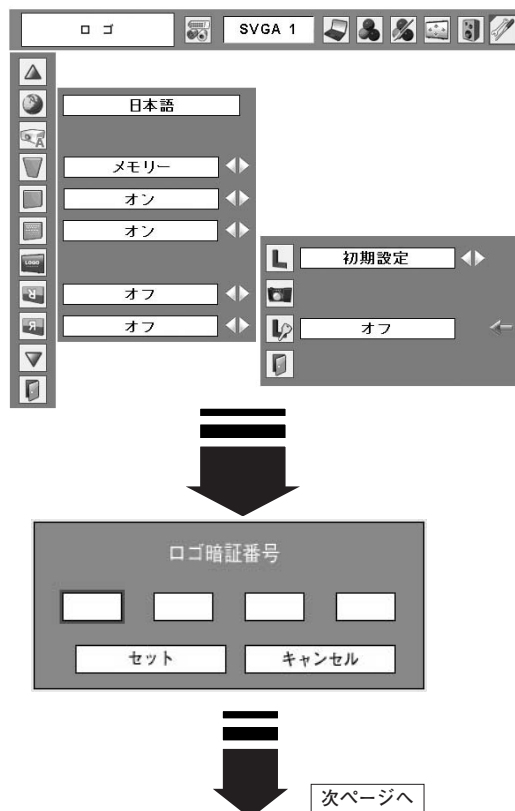
手　順

1 [ポイント]ボタンの上下でポインタを「ロゴ暗証番号ロック」に合わせ、[SELECT]ボタンを押すと、暗証番号を入力する画面が現れます。
※「オン」「オフ」のどちらを選択していても暗証番号の入力画面は表示されます。

2 暗証番号を入力します。

3 暗証番号が承認されると、「ロゴ暗証番号」の「オン・オフ」の設定と、暗証番号の変更ができる画面が現れます。
「オン・オフ」は[ポイント]ボタンの左右で切り替え、選択します。
暗証番号の変更は次ページを参照ください。

4 終了するときは、[ポイント]ボタン下でポインタを に移動し、[SELECT]ボタンを押します。

ロゴ暗証番号ロック

次ページへ

暗証番号の入力方法

1 ［ポイント］ボタンの上下で0～9の数字を選択し、［ポイント］ボタン右でポインタを2けた目に移動します。（1けた目の表示が「＊」に変わります。）この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。

2 4けた全ての数字を入力したらポインタを［ポイント］ボタン右で「セット」に移動します。［SELECT］ボタンを押して決定します。

3 正しく入力されていると、「ロゴ暗証番号ロック」の選択メニューが表示されます。☞上記「手順3」

※ 工場出荷時の「ロゴ暗証番号」の暗証番号は、「4321」です。
※ 数字の入力をやりなおしたいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し［ポイント］ボタンの上下で数字を選びなおします。
※ 「キャンセル」にポインタを合わせて［SELECT］ボタンを押すと、「ロゴ暗証番号ロック（＊）」の選択画面に戻ります。

暗証番号を変更する

1 ［ポイント］ボタンの上下で「ロゴ暗証番号変更」を選択し［SELECT］ボタンを押します。

2 ［ポイント］ボタンの上下で0～9の数字を選択し、［ポイント］ボタン右でポインタを2けた目に移動します。この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。

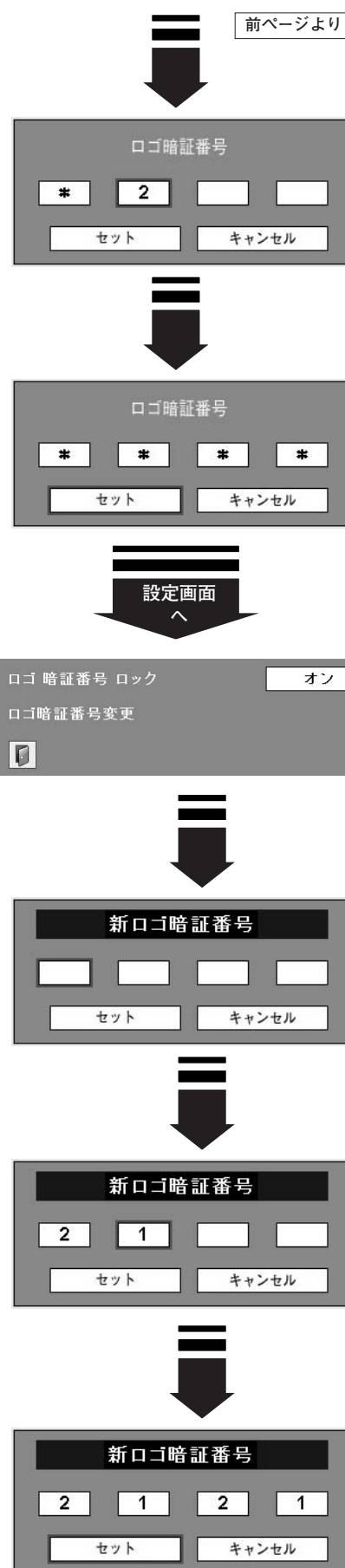
※ このときは決定した数字も見えています。変更後の数字をはっきり確認していただけるように、数字を見せています。

3 4けた全ての数字を入力したらポインタを［ポイント］ボタン右で「セット」に移動します。［SELECT］ボタンを押して決定します。

4 さらに、「OK？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。

5 「ロゴ暗証番号ロック」の選択メニューに戻ります。（ポインタは をさしています）

メモ

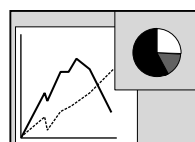
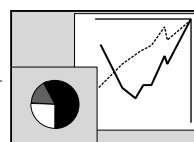
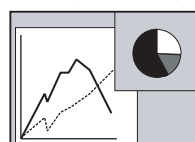
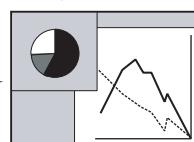
・入力を中断し、この機能を操作するのをやめるときは、［ポイント］ボタンの左右で「キャンセル」を選択し［SELECT］ボタンを押すと、「ロゴ暗証番号変更」メニュー（＊）の画面まで戻ります。
・数字の入力をやりなおしたいときは、［ポイント］ボタンの左右で変更したいけたを選択し、［ポイント］ボタンの上下で数字を選びなおします。
・以下のようなときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。
　・「ロゴ暗証番号」と入力した数字(見た目は「＊」)が赤く表示された。
　・「新ロゴ暗証番号」と入力した数字が赤く表示された。

天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

※ 吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

天吊り機能
オフ (通常の画像)　オン (天吊り設定時)

リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。透過型スクリーンの後ろから投影するときに設定します。

リア投映機能
オフ (通常の画像)　オン (リア投映設定時)

自動入力切換

信号の有無を検出し、入力のある信号で自動的に止まる機能です。

オフ ・・・「自動入力切換」を解除します。

オン1 ・・・操作パネルの［INPUT］ボタン、リモコンの［COMPUTER］ボタン、［VIDEO］ボタンを押したときに作動します。

オン2 ・・・以下のときに作動します。
①操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタンまたはリモコンの［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンで電源を入れたとき。
②操作パネルの［INPUT］ボタン、リモコンの［COMPUTER］ボタン、［VIDEO］ボタンを押したとき。
③プロジェクターが動作中に選択している信号が入力されなくなったとき。（オンスクリーンメニューが表示されているときは作動しません。）
※「FREEZE」、「NO SHOW」が動作中のときに無信号状態になったときは、「FREEZE」、「NO SHOW」が解除されたら、検出を始めます。

※「自動入力切換」が作動している途中に操作パネルの［INPUT］ボタン、リモコンの［COMPUTER］ボタン、［VIDEO］ボタンを押すと、検出動作を停止します。

コンピュータ 1（アナログ）

入力が切り替わるたびに表示されます。

スタンバイモード

プロジェクターをネットワークで操作するときに使います。

ノーマル ・・・・・

プロジェクターの電源を切っても、プロジェクターのネットワーク部に電源が供給されています。*
・ネットワークを使って、プロジェクターの電源を入・切
・電源が切れた状態でのプロジェクターのネットワーク環境の操作
・E-mail機能でプロジェクターの状態を受信することができます。

エコ ・・・・・・

プロジェクターをネットワークでお使いにならない場合、こちらを選択してください。プロジェクターの電源を切ると、プロジェクターのネットワーク機能が止まります。詳しくは、『別冊』の「ネットワークの接続と操作のしかた」を参照ください。

 *

ご使用環境の温度によっては、冷却ファンが回転します。

パワーマネージメント

パワーマネージメント機能の動作設定を行ないます。

［SELECT］ボタンを押して設定画面に入ります。

ポインタを合わせ［SELECT］ボタンを押すと、前の表示画面に戻ります。

［ポイント］ボタン右で「オフ」➔「待機」➔「シャットダウン」の順に表示が切り替わります。

オフ ・・・・・・ パワーマネージメント機能を解除します。

待機 ・・・・・・設定された時間が経つとランプが消灯しランプ冷却動作に入ります。ランプの冷却が完了すると［POWER］インジケータが緑の点滅を始めます。この時信号が入力されたり、プロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投影されます。

シャットダウン ・・設定された時間が経つとランプが消灯し電源が切れます。

 タイマーの設定

- ［ポイント］ボタンの左右でパワーマネージメント機能が動作を開始するまでの時間を設定します。1～30分の範囲で設定できます。
- パワーマネージメント動作詳細については27ページを参照ください。

入力信号なし

04 : 50

ランプ消灯までの時間

※ 工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。
※ 「FREEZE（☞30ページ）」または、「NO SHOW（☞30ページ）」機能がはたらいているときは、パワーマネージメントは動作しません。
※ パワーマネージメントがはたらくと、「P-TIMER（☞30ページ）」はリセットされます。

オンスタート

電源コードを接続すると、リモコンの［ I/⏻ (ON/STAND-BY)］ボタンや操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタンを押さなくても自動的にプロジェクターの電源を入れる機能です。

オン ・・・電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

オフ ・・・通常の電源の入り・切りを行ないます。電源コードを接続しても、リモコンの［ I/⏻ (ON/STAND-BY)］ボタンまたは操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタンを押さなければプロジェクターの電源は入りません。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

電源オン・オフは正しい操作で行なってください。

ランプの冷却が終わり、再点灯できる状態になるまで［ I/⏻ (ON/STAND-BY)］ボタンや［ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源は入りません。

ランプコントロール

ランプの明るさを「オートモード、ハイモード、ノーマルモード、エコモード」の4段階で切り替え・選択することができます。「エコモード」は、ランプの消費電力を抑えることができます。

- **オートモード・・・**調光回路が働いて明るさを自動的に調整します。
- **高（ハイ）モード・・・**最も明るい設定です。
- **ノーマルモード・・・**高モードとエコモードの中間の明るさです。
- **エコモード・・・**明るさ（ランプの消費電力）を抑えます。

明るい ↕ 暗い

※［ポイント］ボタン右で → → → の順に表示が切り替わります。（明るい←→暗い）

※「オートモード」は調光回路が働いて、明るさを自動的に調整します。

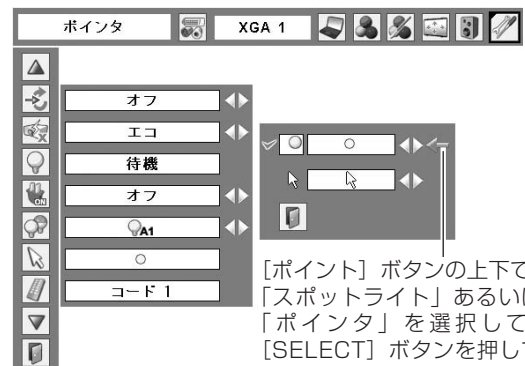
ポインタ

この機能を使うときに表示させるポインタの種類を選択します。

ポインタをポインタアイコンに合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、ポインタの種類を選択するメニューが現われます。［ポイント］ボタンの上下で表示させたいポインタを選択します。さらに［ポイント］ボタンの左右で大きさや種類を選択します。

スポットライト・・・大･中･小

ポインタ・・・指先･矢印･ドット（赤い点）

この機能の操作は69ページを参照ください。

［ポイント］ボタンの上下で、「スポットライト」あるいは「ポインタ」を選択して、［SELECT］ボタンを押してください。その後、［ポイント］ボタンの左右で、スポットライトの大きさや、ポインタの種類を選択します。

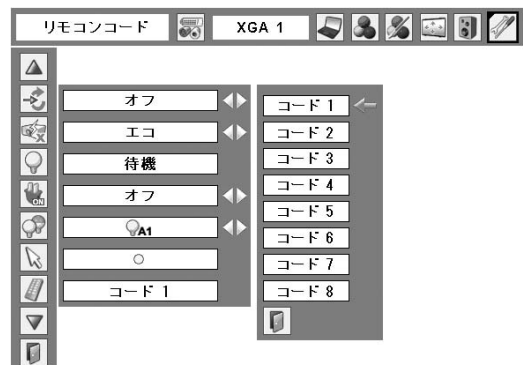
リモコンコード

本機は8種類のリモコンコード（「コード1」～「コード8」）の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。

工場出荷時は「コード1」に設定されています。

リモコンコードを他のコード（「コード2～コード8」）に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り替える必要があります。

プロジェクターのリモコンコードを切り替えるにはメニューのリモコンコードを選択し、設定するリモコンコードを選択します。リモコンのコードの切り替えは、リモコン本体で行ないます。

（18ページ「リモコンコードの設定」参照）

セキュリティ

操作ボタンのロックと、暗証番号でプロジェクターの操作をロックする設定をします。

1. ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「セキュリティ」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、項目を選択する画面が現れます。
2. ［ポイント］ボタンの上下で項目を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、設定画面が現れます。
   ※ 設定の詳細は、各項目を参照してください。

キーロック

操作ボタンをロックして、プロジェクターが誤って操作されることを防ぎます。たとえば、リモコンをプロジェクターの鍵として使うこともできます。

・・・ 操作パネルからの操作をロックします。
・・・リモコンの操作をロックします。
・・・キーロックは「オフ」の状態です。

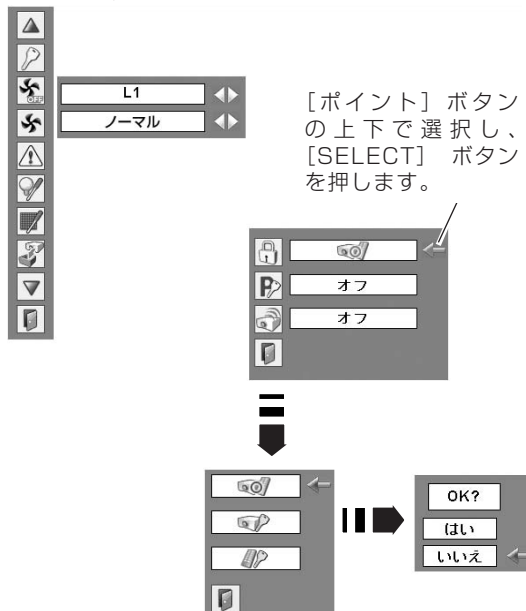
※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

※ 解除できなくなったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

手　順

前ページ「*1*〜*2*」に続いて、

3 ポインタをいずれかに合わせ、［SELECT］ボタンを押すと「OK？」の表示が現れます。

4 「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと、登録が完了し、設定画面へ戻ります。
※「いいえ」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、選択画面に戻ります。設定する項目を選び直してください。

暗証番号ロック

暗証番号により、プロジェクターの管理者以外のプロジェクターの操作を防止します。設定により以下のモードが選択できます。

オフ ・・・「暗証番号ロック」を解除します。通常の操作をすることができます。

オン1 ・・・電源を入れるときに暗証番号が要求されます。

オン2 ・・・一度入力した暗証番号は、電源コードを抜くまで有効です。一度電源コードを抜くと、その次に電源を入れるときに暗証番号が要求されます。［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンまたは［ON/STAND-BY］ボタンで、電源の「入り・切り」をするだけで、電源コードを抜かないときは、暗証番号が要求されることなく、通常の操作をすることができます。

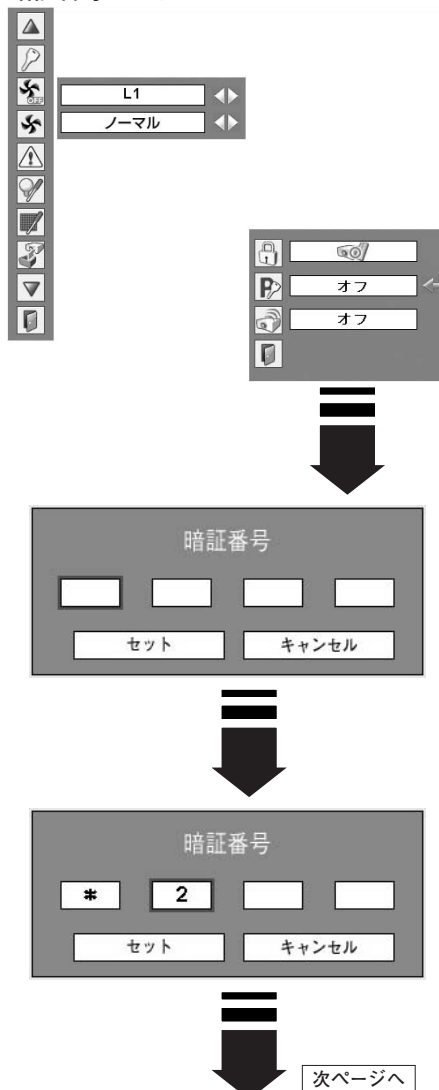
手　順

前ページ「*1*〜*2*」に続いて、

3 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「暗証番号ロック」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと暗証番号を入力する画面が現れます。

4 暗証番号を入力します。
※ 次ページの「暗証番号の入力方法」を参照ください。

5 暗証番号が承認されると、「暗証番号」の「オン1・オン2・オフ」の設定と、暗証番号の変更ができる画面が現れます。
「オン1・オン2・オフ」は［ポイント］ボタンの左右で切り替え、選択します。
暗証番号の変更は次ページを参照ください。

6 終了するときは、［ポイント］ボタン下でポインタを に移動し、［SELECT］ボタンを押します。

次ページへ

詳細な設定

暗証番号の入力方法

1 ［ポイント］ボタンの上下で0〜9の数字を選択し、［ポイント］ボタン右でポインタを2けた目に移動します。（1けた目の表示が「＊」に変わります。）この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。

2 4けた全ての数字を入力したらポインタを［ポイント］ボタン右で「セット」に移動します。［SELECT］ボタンを押して決定します。

3 正しく入力されていると、「暗証番号ロック」の選択メニューが表示されます。☞上記「手順*5*」

※ 工場出荷時の暗証番号は、「1234」です。
※ 数字の入力をやりなおしたいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し［ポイント］ボタンの上下で数字を選びなおします。
※ 「キャンセル」にポインタを合わせて［SELECT］ボタンを押すと、「暗証番号ロック（右上図 ＊ ）」の選択画面に戻ります。

暗証番号を変更する

1 ［ポイント］ボタンの上下で「暗証番号変更」を選択し［SELECT］ボタンを押します。

2 ［ポイント］ボタンの上下で0〜9の数字を選択し、［ポイント］ボタン右でポインタを2けた目に移動します。この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。

※ このときは決定した数字も見えています。変更後の数字をはっきり確認していただけるように、数字を見せています。

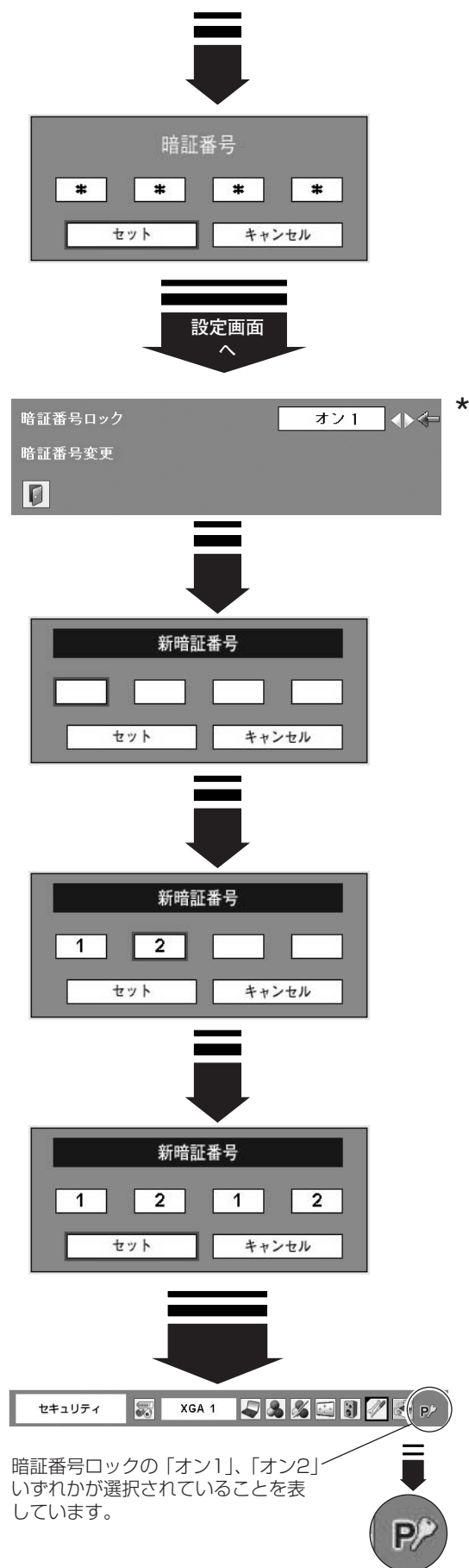
3 4けた全ての数字を入力したらポインタを［ポイント］ボタン右で「セット」に移動します。［SELECT］ボタンを押して決定します。

4 さらに、「OK？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。

5 「暗証番号ロック」の選択メニューに戻ります。（ポインタは をさしています）

暗証番号ロックの「オン1」、「オン2」いずれかが選択されていることを表しています。

メモ

・入力を中断し、この機能を操作するのをやめるときは、［ポイント］ボタンの左右で「キャンセル」を選択し［SELECT］ボタンを押すと、「暗証番号変更」メニュー（ ＊ ）の画面まで戻ります。
・数字の入力をやりなおしたいときは、［ポイント］ボタンの左右で変更したいけたを選択し、［ポイント］ボタンの上下で数字を選びなおします。
・以下のようなときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。
  ・「暗証番号」と入力した数字(見た目は「＊」)が赤く表示された。
  ・「新暗証番号」と入力した数字が赤く表示された。

アラーム

盗難防止アラームの現在の設定状況を表示します。
アラームの「オン・オフ」の設定はプロジェクター本体のボタンで行ないます。☞14、64ページ

※ この画面がでているときは、アラームボタン（本体後面）でのアラーム設定はできません。

オン ・・・アラームが設定されています。（警戒モード）

オフ ・・・アラームが設定されていません。（非警戒モード）
このとき下記の設定状況を変えることができます。
［SELECT］ボタンを押すと、設定画面が表示されます。

・充電：電池の充電方法の切り替えと、充電状況の表示をします。
　オフ ・・・充電しません
　オート ・・・充電が必要なときにプロジェクターが自動的に感知して充電を始め、満充電になると終了します。
　充電中 ・・・充電中であることを表示します。

※ 以下のときには「充電中」の薄い文字で表示されます。
・「充電」の設定で「オフ」が選択されているとき。
・満充電の時
・充電回路の故障で、正常な充電ができないとき。

・アラーム音量：アラームの音量を3段階で切り替えることができます。
　◀ 小へ　▶ 大へ（小ー中ー大）

・感度：振動に対する感度を3段階で切り替えることができます。
　◀ 低へ　▶ 高へ（低：鈍感ー中ー高：敏感）

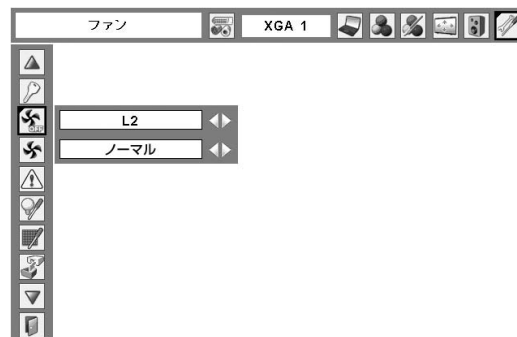
・アラーム時間：アラーム音の長さを3段階で切り替えることができます。
　10秒：約10秒間鳴り続けます。
　60秒：約60秒間鳴り続けます。
　電池寿命終了まで：電池の残量がなくなるまで鳴り続けます。

※ 以下のようなときは、この機能は選択できません。
・盗難防止アラームが「警戒モード」に設定されているとき。
・電池容量が少なくなり、約20秒ごとに「ピッ」と鳴り、インジケータが赤く点滅しているとき。

ファン

電源を切ったときの冷却ファンの回転動作を切り替えることができます。

L1 ・・・自動でファンの回転速度を調整します。
「L2」より大きい音がします。
電源を切ったとき、冷却のためにファンの回転速度があがり、投影時よりファンの音が気になるときがあります。

L2 ・・・ファンの回転速度を投影時と同じに調整し、ファンの音が大きくならないようにします。ただし、「L1」よりファンの停止に時間がかかります。

※ 工場出荷時は「L2」に設定されています。

ファン制御

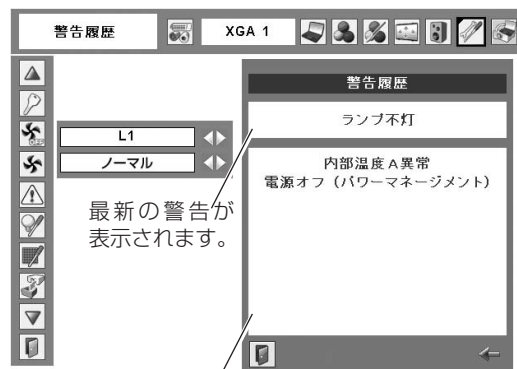
冷却ファンの回転速度を切り替えることができます。

ノーマル ・・・通常の回転速度。

最大 ・・・通常の回転速度より速く回転します。

警告履歴

プロジェクターが表示した警告の内容が表示されます。
最新のものから10件表示されます。

※ 履歴が10件を超えると履歴の古いものから削除されます。
※ 「初期設定」を実行すると、全て削除されます。

ランプカウンター

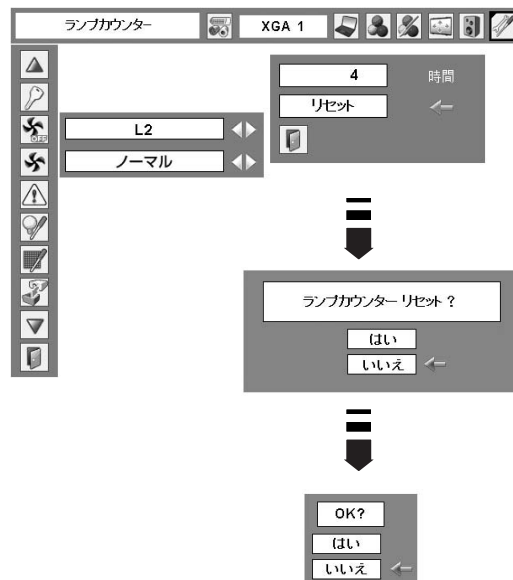
ランプカウンター（実使用時間）をリセットします。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると［LAMP REPLACE］インジケータ(黄)の点灯が消えます。

注意　ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「ランプカウンター」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

2 ランプの使用時間と、カウンターをリセットする項目が現れます。［ポイント］ボタンの上下でポインタを「リセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

3 「ランプカウンターリセット？」が現われますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

4 さらに、「OK？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。カウンターがリセットされます。

ランプの交換をお知らせする表示について

ランプ点灯中にランプ交換推奨残時間が100時間未満になったとき、画面右上に表示されます。また、その後、下記の操作をしたときにも表示されます。

・電源を入れたとき（☞25ページ）
・「インプットモード」を切り替えたとき

ランプ交換

ランプ点灯中にランプ交換推奨残時間が0時間になったとき、画面右上に表示されます。また、その後、下記の操作をしたときにも表示されます。

・電源を入れたとき（☞25ページ）
・「インプットモード」を切り替えたとき（アイコンのみ）

※「オンスクリーン表示・オフ」（☞51ページ）に設定しているときは、表示されません。
※ 「FREEZE」、「NO SHOW」が動作中のときは、表示されません。
※ ランプカウンターをリセットすると、これらの表示は消えます。

フィルターカウンター

フィルターカウンター（実使用時間）をリセットと、エアフィルターの掃除時期を知らせる時間を設定します。エアフィルターの掃除または交換後は必ずフィルターカウンターをリセットしてください。

※ 掃除の方法については72ページを参照してください。

 注意 フィルターを掃除したとき、または交換したとき以外はリセットしないでください。

タイマーの設定

エアフィルターの掃除をお知らせする表示を表示させるまでの時間を設定します。（オフ/100時間/200時間/300時間）
［ポイント］ボタンの左右で切り替えます。

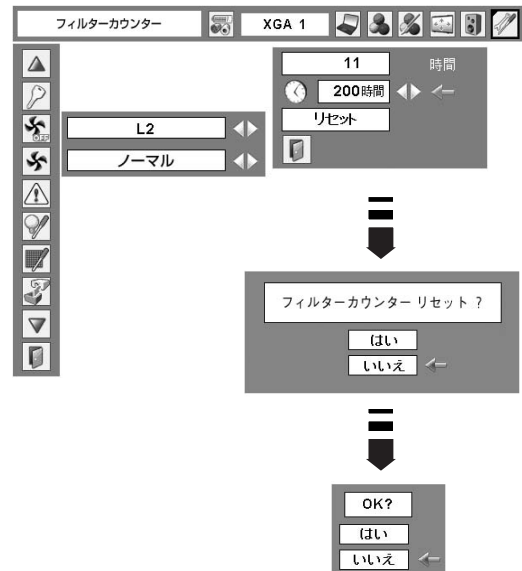
※ 工場出荷時は「200時間」に設定されています。

フィルターカウンターリセット

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「フィルターカウンター」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

2 エアフィルターの使用時間と、カウンターをリセットする項目が現れます。［ポイント］ボタンの上下でポインタを「リセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

3 「フィルターカウンターリセット？」が現われますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

4 さらに、「OK？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。カウンターがリセットされます。

 エアフィルターの掃除をお知らせする表示について

フィルター警告

・投影中にタイマーで設定した時間（工場出荷時は「200時間」）を越えたときに表示されます。
・設定時間を越えたあとで、電源を入れたときに表示されます。（☞25ページ）

・設定時間を越えたあとで、「インプットモード」を切り替えたときに表示されます。

※「オンスクリーン表示・オフ」（☞51ページ）に設定しているときは、表示されません。
※ 「FREEZE」、「NO SHOW」が動作中のときは、表示されません。

下記の設定以外を、工場出荷状態に戻します。*
・ランプカウンター（点灯時間）
・フィルターカウンター（使用時間）
・ロゴ暗証番号ロック
・暗証番号ロック
・ユーザーロゴ
※ この設定は電源コードを抜いても有効です。

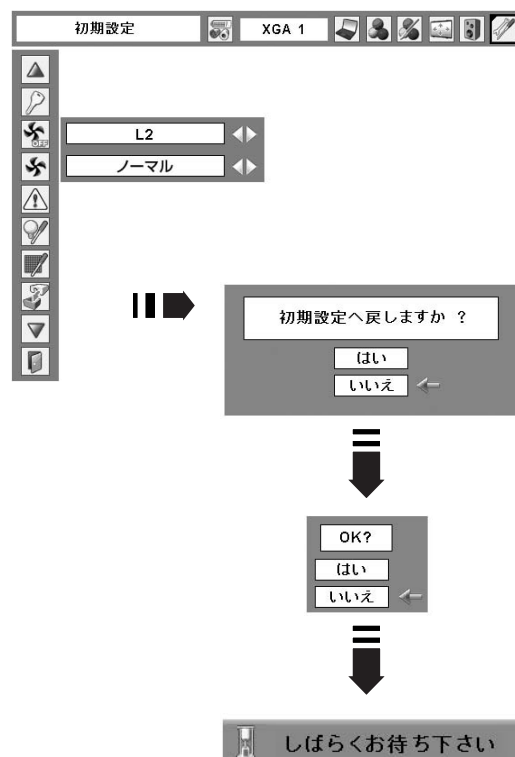
ご注意

この設定が実行されると、お客さまが設定された内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態となります。

1 ［ポイント］ボタンの上下で「初期設定」にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

2 「初期設定へ戻しますか？」が現われますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

3 さらに、「OK？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。設定が工場出荷時に戻ります。

* 下記設定も、工場出荷時に戻ります。詳しくは『別冊』にてご確認ください。
  ・Wireless/Wiredの設定内容
  ・Network Module ConfigurationでのWireless/Wiredに関する設定内容

振動感知式オーディオアラーム（盗難防止アラーム）

プロジェクターが振動を感知したとき警告音を出して、盗難を防止する機能です。

設定する前にプロジェクターの電源を入れてください。

プロジェクターを初めてお使いになるときは、設定をする前に一度プロジェクターの電源を入れてください。
工場出荷後お客様に届いてお使いになるまでの間に、アラーム機能が誤動作しないようにボタン（F/1/2/3）は無効化されています。

盗難防止アラームの設定と解除のしかた

このアラーム機能はプロジェクターに内蔵されている充電池によって動作します。電池への充電が正しく行なわれていないとアラームは正しく動作しません。ご購入時、電池が放電していてアラームが正しく動作しない場合があります。この場合プロジェクターの電源コードをコンセントに差し込み充電してください。このときプロジェクターの電源を入れる必要はありません。詳しくは次ページの「電池の充電（交換）が必要なとき」を参照してください。

※ アラームの設定（警戒モードの設定・解除）はプロジェクターの電源コードをコンセントに差し込んだ状態、差し込まない状態のどちらでも設定することができます。

「警戒モード」にする

1 ［F］ボタンを3回押します。

2 ボタンの上にある［アラーム］インジケータ（赤）が約5秒間点滅して、「警戒モード」に入ったことを知らせます。

「警戒モード」とは、振動を感知すると警告音を発する状態のことです。
「警戒モード」中に、わずかでも振動を感知すると、「ブッブッ」と警告音を発します。

警告音を発した後、
① 振動を感知しないとき・・・・「警戒モード」に戻る
② 振動を感知するとき・・・・・アラームを鳴らす

※ 点灯中でも充電池カバーをはずそうとするとアラームが鳴ります。

本体天面

アラーム インジケータ

「警戒モード」を解除する

1 ［F］ボタンを押します。

2 4けたの暗証番号を入力します。＊
正しく入力されたときは「ピッピッ」と音が鳴り、解除されたことを知らせます。

後面端子

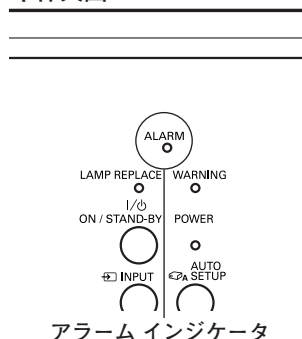
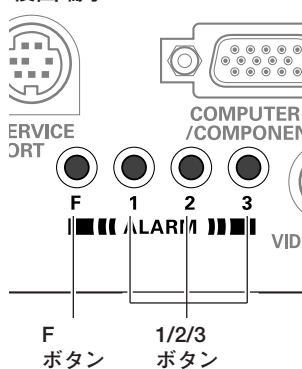
F ボタン　1/2/3 ボタン

暗証番号を変更する

1 ［F］ボタンを押します。

2 4けたの暗証番号を入力します。＊
正しく入力されると「ピッピッ」と音が鳴り、［アラーム］インジケータが約5秒間点滅します。

3 インジケータが点滅している間に、新しい暗証番号を入力します。
「ピッピッピッピッ」と音が鳴り、［アラーム］インジケータの点滅が消えます。（暗証番号の変更が完了しました。）

＊ ① 暗証番号は［F］ボタンを押してから約10秒以内に押してください。約10秒以内に入力できなかったときは、もう一度［F］ボタンを押してやり直してください。
② 誤った暗証番号を入力すると「ブッブッ」と警告音が鳴ります。誤った暗証番号を3回入力するとアラームが鳴ります。
③ 工場出荷時の暗証番号は「1111」です。

アラーム音を確かめてみる

1 ［F］ボタンを2秒以上押し続けます。
アラームが鳴り始めます。

2 ボタン（どれでも）を押すとアラームは止まります。

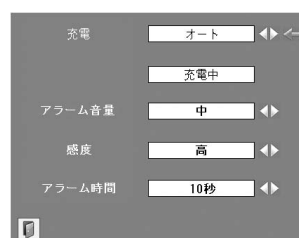
※ アラームが鳴り続ける時間は「セッティング」メニューの「セキュリティ」内の「アラーム」で設定された時間です。☞59ページ

電池の充電（交換）が必要なとき

「警戒モード」のときに、アラーム機能が正常にはたらくためにじゅうぶんな充電ができていないと、約20秒ごとに「ピッ」と音が鳴り、アラームインジケータが点滅します。
このときプロジェクターの電源コードをACコンセントに接続すると、電池の充電を始めます。（上記の動作も止まります。）
満充電になってもすぐにアラームが鳴り、インジケータが点滅するときは、新しい電池に交換してください。

※ 電池を交換しても暗証番号などの設定は変わりません。
※ 交換電池は当社専用のものをご使用ください。指定以外の電池を使用しますと事故や火災の原因となります。
ニッケル水素電池　品番：645 089 4800

内蔵充電電池の操作について

アラーム機能をお使いの時は、「セッティング」メニューの「アラーム」（「セキュリティ」の項目内）で、充電の状況を「オート」にしてください。（右図：工場出荷時は「オート」に設定されています。）
設定が「オート」になっていると、プロジェクターが投影中でなくてもプロジェクターの電源コードがACコンセントに接続されていれば、内蔵の充電電池は自動的に充電されます。
アラーム機能をお使いにならないときは、節電のためにも設定は「オフ」にすることをおすすめします。

ご注意

・この機能は盗難に対する保証ではありません。
・電源プラグがACコンセントに接続されているときは、プロジェクターが振動を検出しても警告音は鳴りません。（「警戒モード」のまま充電池カバーをはずそうとしたときは、アラームが鳴ります。）
・操作ボタンを押すときはいつでも操作音が鳴ります。ボタンを押したときに操作音が鳴らなかったときは、プロジェクターが操作を認識できていません。もう一度ボタンを押し直してください。
・暗証番号を忘れてしまうと、アラームが鳴ったときに止めることができませんのでご注意ください。
・暗証番号がわからなくなってしまったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。
・「非警戒モード」に設定しているときに、「セッティング」メニューの「初期設定」を実行するとアラームの設定内容も、暗証番号も工場出荷時に戻ります。

アラームを鳴らしてしまった

・［F］ボタンを押して、暗証番号を入力します。
・電源プラグをACコンセントに差し込みます。
ただし、充電池カバーを外そうとしてアラームが鳴ったときは、鳴りやみません。このときは［F］ボタンを押して、暗証番号を入力してください。

電池の交換のしかた

交換電池は当社専用のものをご使用ください。指定以外の電池を使用しますと事故や火災の原因となります。

ニッケル水素電池　品番：645 089 4800

電池交換の前に確認してください

・電池を交換するときは、電源プラグをACコンセントから抜いてから行なってください。
・充電池カバーをはずすときは「警戒モード」を解除してください。「警戒モード」のまま充電池カバーをはずそうとするとアラームが鳴り始めます。

1 （＋）ドライバーでネジを1本取り外し、充電池カバーのツメを押しながら取り外します。

2 コネクターをはずして、電池を取り出します。

3 新しい電池をプロジェクターの中に入れて、プラグの向きに注意してコネクターを接続します。
※ プラグは向きが違うときちんと奥まで入りません。

4 充電池カバーを取り付け、ネジを締めて固定します。

ネジは確実に締めてください

ネジがゆるんでいたり、取り付けなかったりすると、アラームは正しく動作しません。また、本体に付いているネジ以外は絶対に使用しないでください。プロジェクターの破損の原因となります。

※ 電池を交換しても暗証番号などの設定は変わりません。

アラームの設定にご注意ください。

電池を交換するときには、「警戒モード」を解除してください。「警戒モード」のまま充電池カバーを開けると、アラームが鳴り始めます。

※ プラグは奥まで確実に差し込んでください。向きが違うときちんと奥まで入りません。

プロジェクターをカバンなどに入れて持ち運ぶとき

移動時の振動で誤って設定ボタンが押され「警戒モード」になり、アラームが鳴ってしまうことがあります。この誤作動を防ぐために、カバンなどに入れて持ち運ぶ機会が多くアラーム機能をお使いにならない方は、電池のコネクターをはずしてください。

充電式のニッケル水素電池（NI-MH）のご使用・保管場所の注意

プロジェクター本体に組み込まれている電池(Ni-MH)を取り扱う時は以下の点にご注意ください。

注　意　　禁　止

- 使用時・充電時温度：0℃〜40℃
- 火のそばや、高温になる場所でのご使用や保管、放置はしないでください。
- 高温になると、電池内の安全機構や保護装置が壊れて、異常な化学反応が起こり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。安全機構や保護装置が壊れると、電池は使用不可能になります。極端な高温や低温環境では、電池の容量が低下し、使用できる時間が短くなります。また、電池の寿命も短くなります。
- 保管時温度：−20℃〜30℃
- 湿度：65±20%
- 電池を火の中に投げ込んだり、加熱したりしないでください電池が爆発したり、発火の原因となります。
- 電池を分解したり、改造、また電池に直接半田付けなど加工しないでください。
- 電池に衝撃を与えたり投げつけたりしないでください。電池の液漏れ、爆発の原因となります。
- 電池を直射日光や、高温の場所に放置しなしでください。電池の性能劣化、液漏れの原因となります。
- 電池を海水や、液体にふれさせないでください。腐食や破損の原因となります。
- 電池は幼児の手の届かない所に保管ください。誤って飲み込んだりするおそれがあります。
- 電池の電極を金属物でショートさせないでください、また、電池を金属物と混ぜて保管したり、金属ケースに入れて保管しないでください。
- 電池を充電する時は必ずプロジェクターに取り付けた状態で行なってください。指定以外の機器で充電すると、爆発発火の恐れがあります。
- 本機に使われている電池は本機専用です。他の機器には使用しないでください、事故の原因となります。
- 電池には寿命があります。所定の時間が過ぎても充電完了しない場合は直ちに充電を中止し、新しいものと交換してください。
- 電池の充電は0〜40℃の環境で行なってください。この温度の範囲外で充電を行うと、液漏れや発熱の原因、電池寿命を低下させる場合があります。
- 盗難防止アラームやプロジェクターを長期間使用しないときは、電池をプロジェクターから取りだし、湿気のない−20〜＋30℃の環境で保存してください。
- 電池の液が肌に付着すると皮膚に障害を起こす可能性があります。液が付着したときは直ちに水で洗い流してください。
- 液が目に入ったときは直ちに目を水洗いし、医師にご相談ください。
- ニッケル水素電池は環境保護と資源の有効利用をはかるためリサイクルにご協力ください。
- 使用済み電池を廃棄するときは地域の廃棄基準に従って廃棄ください。

その他

リモコンでコンピュータを操作する

付属のリモコンはコンピュータのワイヤレスマウスとしてお使いいただけます。

準備をしてください

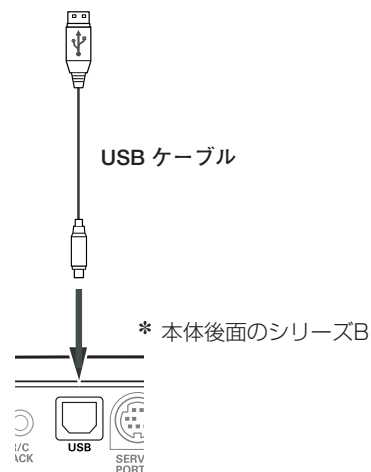
はじめにコンピュータにUSB端子があることを確認してください。
USB端子以外の端子ではご使用になれません。

1. 市販のUSBケーブルで、コンピュータのUSB端子と、本機の［USB］端子*を接続します。

2. USBケーブルを接続したら、はじめにプロジェクターの電源を入れてからコンピュータを立ち上げてください。先にコンピュータを立ち上げると正しく動作しない場合があります。

マウス機能を使うときは、以下のことを確認してください。

① 下記のコンピュータ入力が選択されいて、信号も送られている。
- 「コンピュータ 1（アナログ）」
- 「コンピュータ 1（デジタル）」の「RGB（PC digital）」
- 「コンピュータ 2」の「RGB」

② 電源が「オン」になっていて、ランプが点灯している。

マウスポインタの動かし方

マウスポインタの操作は、「マウスポインタボタン」「左クリックボタン」「右クリックボタン」で行ないます。

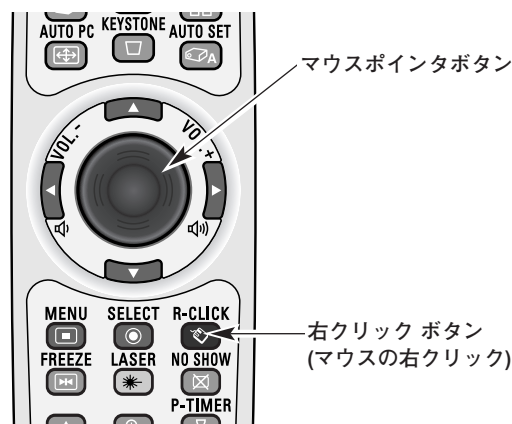
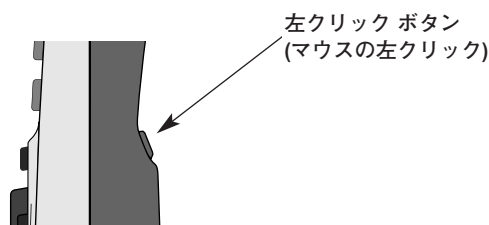
マウスポインタボタン

マウスポインタの移動を行ないます。
上下左右方向を押すと、マウスポインタが移動します。

左クリックボタン

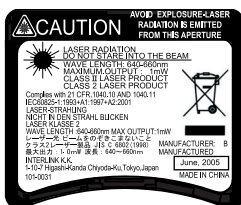
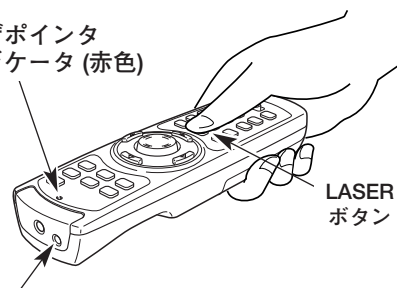
コンピュータマウスの左クリックのはたらきをします。

右クリックボタン

コンピュータマウスの右クリックのはたらきをします。

ポインタの操作

レーザポインタ

警　告

リモコンのレーザポインタの発光部をのぞき込んだり、人や鏡など反射するものに向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

リモコンの［LASER］ボタンを押している間［レーザポインタ］インジケータ (赤色) が点灯し、リモコンのレーザポインタ発光部からレーザビームが出ます。☞16ページ
ボタンを押すのを止めると、レーザビームの発光は止まります。
※ ［LASER］ ボタンは操作パネルにはありません。
※ ［LASER］ボタンを押し続けても、1分経つと安全のため自動的にレーザビームの発光が止まります。
［LASER］ボタンを押すのを止め、再び ［LASER］ボタンを押すと、レーザビームが出ます。

スポットライト・ポインタ機能に切り替える

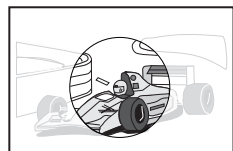
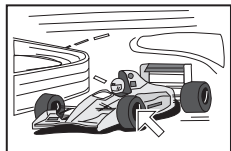
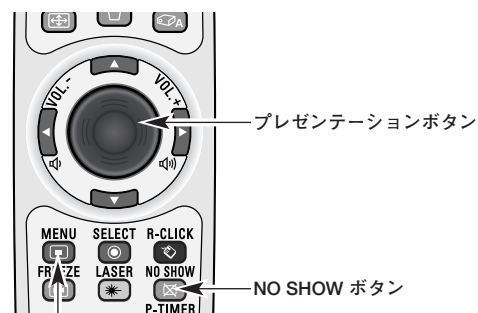
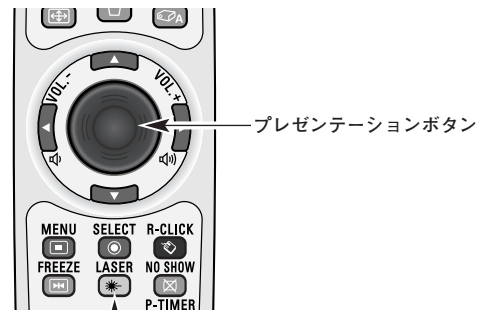
レーザビームをスポットライトやポインタ表示に切り替えることができます。

1 ［MENU］ボタンと［NO SHOW］ボタンを同時に約10秒押します。レーザポインタ機能からポインタ機能に切り替わります。

2 リモコンの［LASER］ボタンを押して、［LASER］ボタンが緑に点灯するか確かめてください。緑に点灯していれば、スポットライト、またはポインタが表示されます。［プレゼンテーション］ボタンで、スポットライトまたはポインタを画面上で移動させることができます。
※［LASER］ボタンが緑に点灯せず、レーザビームが発光する場合は、ポインタ機能に切り替わっていません。［LASER］ ボタンが緑に点灯するまで、「*1*」の作業を行なってください。

3 スポットライトまたはポインタの表示を消すときは、リモコンをプロジェクターに向けて、［LASER］ボタンを押します。リモコンの［LASER］ボタンの緑の点灯も消えます。

※ 以下の操作でレーザポインタ機能に戻すことができます。
① ［MENU］ボタンと［NO SHOW］ボタンを同時に約10秒押す。
② ［RESET/ON/ALL-OFF］スイッチの［RESET］を選択する。（このとき、リモコンコードも「1」に戻ります）

スポットライト

ポインタ

スポットライト・ポインタの大きさや形を選ぶことができます。 ☞56ページ
・スポットライト：大･中･小
・ポインタ：指先･矢印･ドット(赤い点)

［MENU］ボタンと［NO SHOW］ボタンを同時に約10秒押します。

レーザポインタ機能からポインタ機能に切り替わると、［LASER］ボタンはポインタ機能のON-OFF スイッチになります。リモコンをプロジェクターへ向け、［LASER］ ボタンを押し、ボタンが緑に点灯するか確認してください。

ランプの交換

LAMP REPLACEインジケータの点灯

［LAMP REPLACE］インジケータ（黄）の点灯は、ランプ交換時期の目安です。［LAMP REPLACE］インジケータ（黄）が点灯した場合は、ランプをすみやかに交換してください。［LAMP REPLACE］インジケータは、ランプカウンターをリセットするまで電源「ON(入)」のときに点灯します。なお、［LAMP REPLACE］インジケータが点灯する前に寿命が尽きる場合もあります。

「ランプ交換」の表示があらわれたとき

［LAMP REPLACE］インジケータ (黄) だけでなく、以下の表示でランプ交換時期をお知らせします。
※「オンスクリーン表示・オフ」（☞51ページ）に設定しているときは、表示されません

ランプ交換推奨残時間が100時間未満になったあとで、下記の操作をしたときに画面右上に表示されます。

・電源を入れたとき（☞25ページ）
・「インプットモード」を切り替えたとき

ランプ交換

ランプ交換推奨残時間が0時間になったあとで、下記の操作をしたときに画面右上に表示されます。

・電源を入れたとき（☞25ページ）
・「インプットモード」を切り替えたとき
（アイコンのみ）

ランプの交換のしかた

ランプの交換はランプハウスごと行ないます。必ず指定のランプハウスを取りつけてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

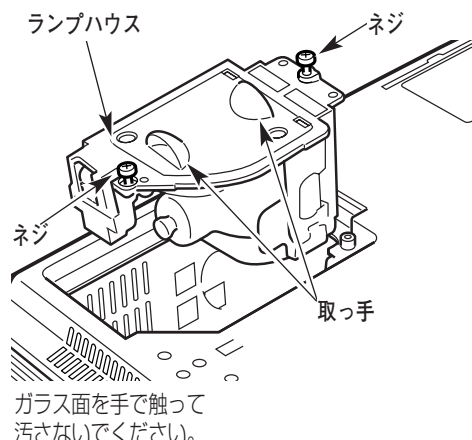
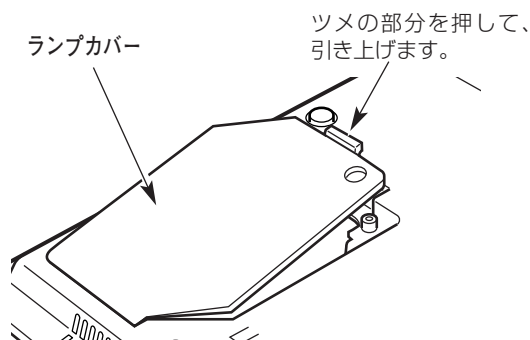
・交換ランプの品番： POA-LMP103
(サービス部品コード：610 331 6345)
・プロジェクターの品番： LC-XB40DN

 注意

動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、45分以上放置してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをするおそれがあります。

1. 電源を切り、電源コードを抜きます。必ず45分以上放置してください。
2. ランプカバーのツメの部分を押して引き上げ、カバーを外します。
3. ランプハウスの2本のネジをゆるめ、取っ手を持ってランプハウスごと引き出します。
4. 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、2本のネジを締めて固定します。
5. ランプカバーを取り付けます。

ランプカバー
ツメの部分を押して、引き上げます。

ガラス面を手で触って汚さないでください。

ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると［LAMP REPLACE］インジケータ(黄)の点灯が消えます。
ランプカウンターのリセットのしかたは、「セッティング」メニュー内の「ランプカウンター」を参照ください。
☞61ページ

⚠ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（[LAMP REPLACE］インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行ってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。お客様相談センターへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

⚠ 使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズや本体にホコリが付着しないよう、スライドシャッターを閉め、ケースなどに納めて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン･シンナーは使わないで ●

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ ●

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブロワーブラシやレンズクリーナー (カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー) で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

● エアフィルターのお手入れ ●

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。（掃除のしかたは 、次ページを参照）

エアフィルターはこまめに掃除してください

エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターや吸気口にホコリがたまると冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇をまねいて故障の原因になります。エアフィルターや吸気口は、こまめに掃除してください。☞10ページ

1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。掃除は必ず電源を切ってから行なってください。

2 プロジェクターを裏返します。エアフィルターを上に引き上げて外します。

3 エアフィルターのホコリをブラシなどで取ります。

4 エアフィルターを取り付けます。

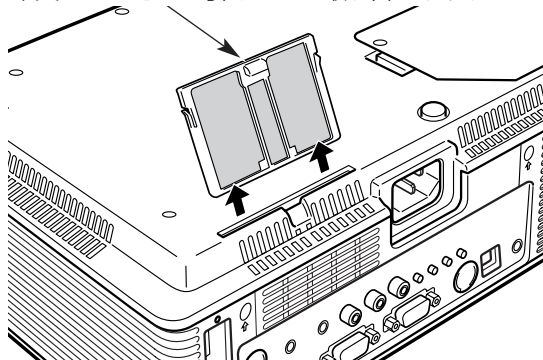
エアフィルター
中央のツメを上に引き上げて取り外します。

掃除の目安

一般的に約200時間ご使用になるたびにエアフィルターを掃除してください。

※ ご使用の環境や、ご使用時間によってエアフィルターの汚れは変わりますが、こまめに掃除することをおすすめします。

エアフィルターの汚れがひどいときは、掃除機などでホコリを取りのぞいてください。（水洗いはしないでください）それでも汚れが取れないときや、エアフィルターが古くなったときには新しいものと交換してください。取り替え用エアフィルター（別売）についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

取り替え用エアフィルターの品番：　AF-XB40

⚠ **お掃除の際にご注意ください**

・エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
・エアフィルターを取り外した状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
・エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

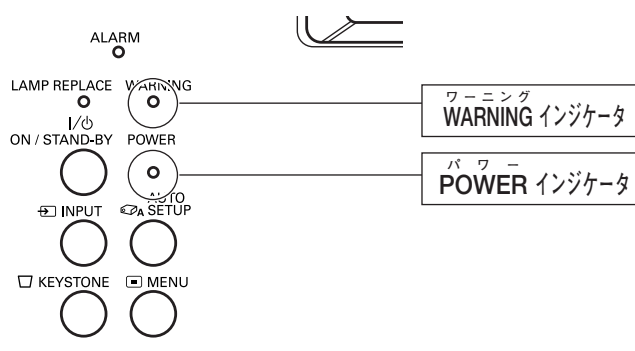
エアフィルターの掃除をお知らせする表示について

フィルター警告

・投影中にタイマーで設定した時間（工場出荷時は「200時間」）を越えたときに表示されます。
・設定時間を越えたあとで、電源を入れたときに表示されます。（☞25ページ）

・設定時間を越えたあとで、「インプットモード」を切り替えたときに表示されます。

※「オンスクリーン表示・オフ」（☞51ページ）に設定しているときは、表示されません。
※「FREEZE」、「NO SHOW」が動作中のときは、表示されません。

内部の温度上昇について

WARNING インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると［WARNING］インジケータ が赤く点滅し、保護のために自動的に電源が切れ、［POWER］インジケータが赤く点滅します。（［WARNING］インジケータも点滅を続けます。）温度が下がると［POWER］インジケータが赤く点灯し、リモコンの［ I/⏻ （ON/STAND-BY）］ボタンまたは本体の［ON/STAND-BY］ボタンで電源を入れることができます。電源を入れると［WARNING］インジケータの点滅が消えます。［WARNING］インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

ここを確認してください

- 底面のエアフィルターにホコリがたまっていませんか。エアフィルターを掃除してください。
- 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。（使用温度範囲：5℃～35℃）
- 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または修理相談窓口にご相談ください。

電源を入れるときは、［POWER］インジケータが点灯していることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再び［WARNING］インジケータが点滅して電源が切れます。

プロジェクターの電源が切れ、WARNING インジケータが点灯しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、［WARNING］インジケータが赤く点灯を始めます。このとき、リモコンの［ I/⏻ （ON/STAND-BY）］ボタンや本体の［ON/STAND-BY］ボタンでの電源の入り切りはできなくなります。
このような時は、電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れなおしプロジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れ、［WARNING］インジケータが点灯する場合、プロジェクターの点検をお買い上げの販売店、または修理相談窓口にご依頼ください。電源コンセントを接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは、下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。
また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行なってください。

インジケータの名称と点灯状態			プロジェクターの状態
POWER 緑/赤	WARNING 赤	LAMP REPLACE 黄	
●（消灯）	●（消灯）	●（消灯）	電源コードがコンセントから抜けています。
点滅：赤	●（消灯）	※	ランプの冷却中です。インジケータが赤の点灯に変わるまで、［ I/⏻ (ON/STAND-BY)］ボタンまたは［ON/STAND-BY］ボタンを押して始動することはできません。
点灯：赤	●（消灯）	※	プロジェクターはスタンバイ状態です。［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンまたは［ON/STAND-BY］ボタンを押すと動作します。
○（点灯：緑）	●（消灯）	※	プロジェクターは正常に動作しています。
点滅：緑	●（消灯）	※	パワーマネージメントモードになっています。プロジェクターを操作すると、ランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。
点滅：赤	点滅：赤	※	プロジェクターの内部温度が高くなっています。［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンまたは［ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源は入りません。プロジェクターが冷却され、正常な温度になると、［POWER］インジケータが点灯に変わります。［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンまたは［ON/STAND-BY］ボタンを押してプロジェクターを始動することができます。(［WARNING］インジケータは点滅したままです。）エアフィルターの点検などを行なってください。
点灯：赤	点滅：赤	※	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンまたは［ON/STAND-BY］ボタンを押すと、［WARNING］インジケータの点滅は消え、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行なってください。
●（消灯）	点灯：赤	※	プロジェクターの内部に異常が検出されました。［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンまたは［ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源は入りません。一度電源コードをコンセントから抜き、電源を入れなおしてください。再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理をお客様相談センターへご依頼ください。点灯したままで放置しないでください。火災や感電の原因となります。
○（点灯：緑）	点灯：赤	※	プロジェクターのネットワーク、メモリビューワー機能に異常が発生しました。

○・・・点灯：緑　○（点滅）・・・点滅：緑　◎（斜線）・・・点灯：赤　◎（斜線・点滅）・・・点滅：赤　●・・・消灯

※・・・［LAMP REPLACE］インジケータが点灯するとランプの寿命です。（正常時は消灯）すみやかにランプを新しいものと交換してください。ランプ交換後は、ランプカウンターをリセットしてください。☞61ページ

✻［ALARM］インジケータについては「盗難防止アラーム」を参照してください。☞64ページ

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、つぎのことをお確かめください。

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源・初期設定	電源が入らない	● 電源コードは接続されていますか。 ● 電源は入っていますか。リモコンの［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンまたは操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタンを押してみてください。 ●［POWER］インジケータが消えているとき、または赤く点滅しているときは、［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンや［ON/STAND-BY］ボタンを押しても電源が入りません。 ●［WARNING］インジケータが赤く点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンや［ON/STAND-BY］ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が 下がるまでお待ちください。 ●「キーロック」がはたらいていませんか。リモコンの［ I/⏻ (ON/STAND-BY)］ボタンまたは操作パネルの［ON/STAND-BY］ボタンを押してみてください。	24 25 25、26 73、74 57
	電源を入れたら、暗証番号を要求された	● 「暗証番号ロック」が設定されています。登録した（または工場出荷時の）暗証番号を入力してください。解除、または設定の変更は「セッティング」の「暗証番号ロック」を確認してください。	57
オープニング	オープニング画面が表示されない	● 「オンスクリーン表示」が「オフ」または「カウントダウンオフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	51
	オープニング画面が初期設定の画像とちがう	● 「ロゴ選択」が「ユーザー」または「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	51
	インプットモードが自動的に切り替わる（切り替わらない）	● 「自動入力切換」が「オン2」（または「オン1・オフ」）になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	54
	インプットモードとランプモードの表示以外の表示があらわれた	● ランプまたはエアフィルターの状態をお知らせしています。ランプまたはエアフィルターを確認してください。	70、72
画像・画質	画像が映らない	● ビデオ機器やコンピュータは正しく接続されていますか。接続を確認してください。 ● 電源を入れたあと約30秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。（「オンスクリーン表示：カウントダウンオフまたは、オフ」のときをのぞく） ● スライドシャッターは開いていますか。 ● 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、または、コンピュータのシステムモードは、合っていますか。 ● 使用温度範囲（5℃～35℃）からはずれていませんか。 ●「NO SHOW」モードになっていませんか。操作パネルまたはリモコンのボタン（どれでも）を押してみてください。 ● コンピュータが外部出力に切り替わっていますか。出力の切り替えはコンピュータの取扱説明書を確認してください。	21～23 35、45 30
	画像が不鮮明	● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。 ● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。 ● スクリーンに対して過度に斜めに投影しているときは、画面に台形ひずみ（あおり）ができ、 部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。 ● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。 ● レンズが汚れたり、くもってはいませんか。レンズのお手入れをしてください。	28 19
	画像が暗い	● 「コントラスト」や「明るさ」が、正しく調整されていますか。「コントラスト」や「明るさ」を、正しく調整してみてください。 ● 「イメージモード」が、正しく選択されていますか。「イメージモード」を確認してみてください。 ● ランプモードが「エコモード」になっていませんか。「ノーマルモード」または「高（ハイ）モード」、「オートモード」にしてください。 ● ランプの交換時期が来ていませんか。［LAMP REPLACE］インジケータの点灯はランプ交換をお知らせしています。新しいランプに交換してください。	41、47 39、46 56 70

故障かなと思ったら（つづき）

アフターサービスを依頼される前に、つぎのことをお確かめください。

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
画像・画質（つづき）	実際の色と違う 色がおかしい 色が出ない	● 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、または、コンピュータのシステムモードは、合っていますか。 ● イメージモードが「黒（緑）板」になっていませんか。リモコンの［IMAGE］ボタン、または「メニュー」から「イメージモード」を確認してください。	35、45 39
画像・画質（つづき）	映像が左右（上下）逆さまに映っている	● 「天吊り」または「リア投映」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	54
画像・画質（つづき）	画像がゆがんだり、切れたりしている	● 「PC調整」や「スクリーン」メニューを確認・調整してください。	38、42、49
音声	音が出ない	● コンピュータやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。接続を確認してください。 ● 音量が最小になっていませんか。［VOLUME ＋］ボタンを押してみてください。 ● 消音状態になっていませんか。［MUTE］ボタンを押すか、［VOLUME ＋］ボタンを押してみてください。 ● ［AUDIO OUT］端子にプラグがささっていませんか。［AUDIO OUT］端子にプラグがささっていると内蔵スピーカから音は出ません。 ● 抵抗内蔵のオーディオケーブルを使用していませんか。抵抗なしのオーディオケーブルを使用してください。	21～23 31 31
設定・操作・調整	「自動PC調整」が働かない	● 入力信号を確認してください。システムメニューで480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080iが選択されているときは「自動PC調整」は働きません。	78、79
設定・操作・調整	表示されない機能がある	● 「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	51
設定・操作・調整	電源を切る前の設定が残っていない	● 項目の調整後「メモリー」しましたか。 調整後の項目は「メモリー」で登録しないと、保存されません。	
設定・操作・調整	「パワーマネージメント」が働かない	● 「FREEZE」、「NO SHOW」が動作中のときは「パワーマネージメント」は作動しません。	
設定・操作・調整	「キャプチャー」がはたらかない	● 無信号状態ではないですか。接続を確認してください。	
設定・操作・調整	オートセットアップが正しく作動しない	● 設定が「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。 ● 「天吊り」が「オン」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	50 54
設定・操作・調整	プロジェクターを傾けたのにキーストーンがはたらかない	● リモコンの［AUTO SET］または操作パネルの［AUTO SET UP］ボタンを押してみてください。「オートキーストーン」の設定が「手動」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	50
リモコン	リモコンで操作できない	● 電池は正しく入っていますか。＋－を正しく入れてください。 ● 電池がなくなっていませんか。新しい電池と交換してください。 ● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。 ● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲で操作してください。 ● リモコンの［ALL OFF］スイッチが、「ON」側になっているか確認してください。 ● リモコンコードを切り替えていませんか。リモコンコードを確認してください。 ● 「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていませんか。操作パネルから「セッティング」を確認してください。	17 17 18 17 18 57
リモコン	コンピュータのワイヤレスマウスとして動作しない	● USBケーブルは正しく接続されていますか。 ● 接続するコンピュータにマウスドライバがインストールされていますか。ワイヤレスマウスとして使うにはコンピュータにマウスドライバがインストールされている必要があります。 ● コンピュータ入力が選択されていますか。ワイヤレスマウスとして使えるのは、「コンピュータ1（アナログ）」、または「コンピュータ1（デジタル）」の「RGB（PC digital）」、「コンピュータ2」の「RGB」のいずれかが選択されているときです。 ● 一旦電源を切り、プロジェクターの電源を先に入れてから、コンピュータを立ち上げてみてください。	21 34

故障かなと思ったら（つづき）

アフターサービスを依頼される前に、つぎのことをお確かめください。

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
その他	インジケータが点滅・点灯している	● 「インジケータ表示とプロジェクターの状態」で、プロジェクターの動作を確認してください。 ● ［ALARM］インジケータはアラームの設定を確認してください。	73、74 64
	アラームが鳴りやまない	● 電源コードをACコンセントに接続してください。（ただし、充電池カバーをはずそうとしてアラームが鳴ったときは鳴りやみません）	
	警戒モードにならない	● 設定をするとき、ボタンを押すたびに「ピッ」という音が鳴らないときは、ボタンが正しく押されていません。設定をやり直してみてください。	
	キーロックの解除ができない ロゴ暗証番号、暗証番号を忘れた	● お手数ですが、お買い上げの販売店または修理相談窓口へご相談ください。	

コンピュータシステムモード一覧

コンピュータの信号がアナログの場合

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。(「カスタムモード 1〜5 」 は含みません。)接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード	解像度	水平周波数(KHz)	垂直周波数(Hz)
VGA 1	640 x 480	31.47	59.88
VGA 2	720 x 400	31.47	70.09
VGA 3	640 x 480	31.47	70.09
VGA 4	640 x 480	37.86	74.38
VGA 5	640 x 480	37.86	72.81
VGA 6	640 x 480	37.50	75.00
VGA 7	640 x 480	43.269	85.00
MAC LC13	640 x 480	34.97	66.60
MAC 13	640 x 480	35.00	66.67
480p	―――	31.47	59.88
575p	―――	31.25	50.00
480i	―――	15.734	60.00 (インターレース)
575i	―――	15.625	50.00 (インターレース)
SVGA 1	800 x 600	35.156	56.25
SVGA 2	800 x 600	37.88	60.32
SVGA 3	800 x 600	46.875	75.00
SVGA 4	800 x 600	53.674	85.06
SVGA 5	800 x 600	48.08	72.19
SVGA 6	800 x 600	37.90	61.03
SVGA 7	800 x 600	34.50	55.38
SVGA 8	800 x 600	38.00	60.51
SVGA 9	800 x 600	38.60	60.31
SVGA 10	800 x 600	32.70	51.09
SVGA 11	800 x 600	38.00	60.51
MAC 16	832 x 624	49.72	74.55
XGA 1	1024 x 768	48.36	60.00
XGA 2	1024 x 768	68.677	84.997
XGA 3	1024 x 768	60.023	75.03
XGA 4	1024 x 768	56.476	70.07
XGA 5	1024 x 768	60.31	74.92
XGA 6	1024 x 768	48.50	60.02
XGA 7	1024 x 768	44.00	54.58
XGA 8	1024 x 768	63.48	79.35
XGA 9	1024 x 768	36.00	87.17 (インターレース)
XGA 10	1024 x 768	62.04	77.07
XGA 11	1024 x 768	61.00	75.70
XGA 12	1024 x 768	35.522	86.96 (インターレース)
XGA 13	1024 x 768	46.90	58.20
XGA 14	1024 x 768	47.00	58.30
XGA 15	1024 x 768	58.03	72.00
MAC 19	1024 x 768	60.24	75.08
SXGA 1	1152 x 864	64.20	70.40

システムモード	解像度	水平周波数(KHz)	垂直周波数(Hz)	
SXGA 2	1280 x 1024	62.50	58.60	
SXGA 3	1280 x 1024	63.90	60.00	
SXGA 4	1280 x 1024	63.34	59.98	
SXGA 5	1280 x 1024	63.74	60.01	
SXGA 6	1280 x 1024	71.69	67.19	
SXGA 7	1280 x 1024	81.13	76.107	
SXGA 8	1280 x 1024	63.98	60.02	
SXGA 9	1280 x 1024	79.976	75.025	
SXGA 10	1280 x 960	60.00	60.00	
SXGA 11	1152 x 900	61.20	65.20	
SXGA 12	1152 x 900	71.40	75.60	
SXGA 13	1280 x 1024	50.00	86.00 (インターレース)	
SXGA 14	1280 x 1024	50.00	94.00 (インターレース)	
SXGA 15	1280 x 1024	63.37	60.01	
SXGA 16	1280 x 1024	76.97	72.00	
SXGA 17	1152 x 900	61.85	66.00	
SXGA 18	1280 x 1024	46.43	86.70 (インターレース)	
SXGA 19	1280 x 1024	63.79	60.18	
SXGA 20	1280 x 1024	91.146	85.024	✻1
SXGA +1	1400 x 1050	63.979	60.190	
SXGA +2	1400 x 1050	65.346	60.116	
SXGA +3	1400 x 1050	65.121	59.902	
MAC 21	1152 x 870	68.68	75.06	
MAC	1280 x 960	75.00	75.08	
MAC	1280 x 1024	80.00	75.08	
WXGA 1	1376 x 768	48.36	60.00	
WXGA 2	1360 x 768	47.70	60.00	
WXGA 3	1366 x 768	48.36	60.00	
WXGA 4	1360 x 768	56.16	72.00	
WXGA 6	1280 x 768	47.776	59.870	
WXGA 7	1280 x 768	60.289	74.893	
WXGA 8	1280 x 768	68.633	84.837	
WXGA 9	1280 x 800	49.60	60.05	
UXGA 1	1600 x 1200	75.00	60.00	✻1
UXGA 2	1600 x 1200	81.25	65.00	✻1
UXGA 3	1600 x 1200	87.50	70.00	✻1
UXGA 4	1600 x 1200	93.75	75.00	✻1
720p	―――	45.00	60.00	
1035i	―――	33.75	60.00 (インターレース)	
1080i	―――	33.75	60.00 (インターレース)	
1080i	―――	28.125	50.00 (インターレース)	

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。
※ SXGA、WXGA、UXGA、MAC21、MAC、720p、1035i、1080iの信号を投影するときは、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。
※ ドットクロックが 140MHz 以上のコンピュータの信号には対応しておりません。

✻1 :「PC調整」メニュー内で調整できないメニューが生じる場合があります。

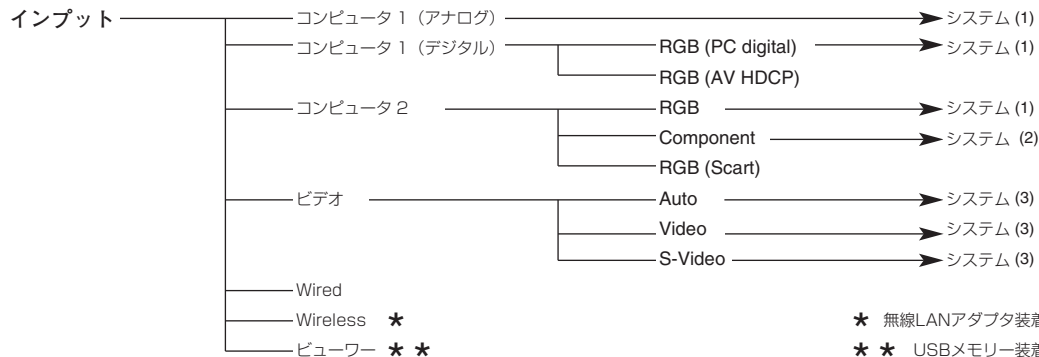
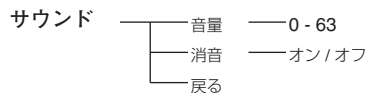
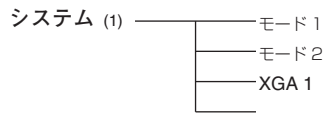
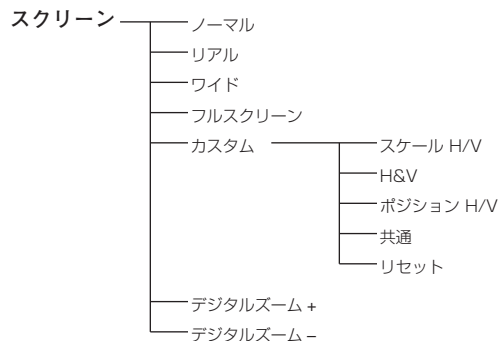
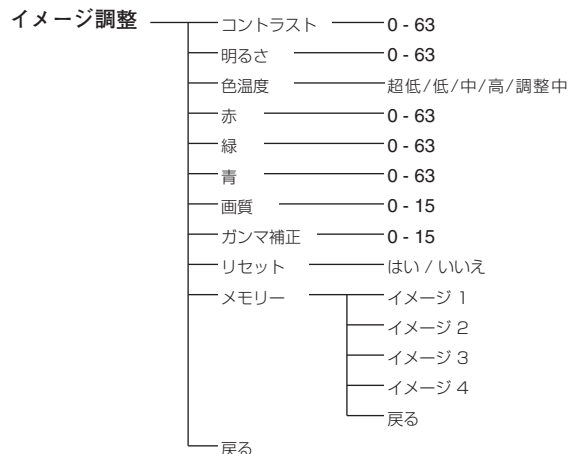
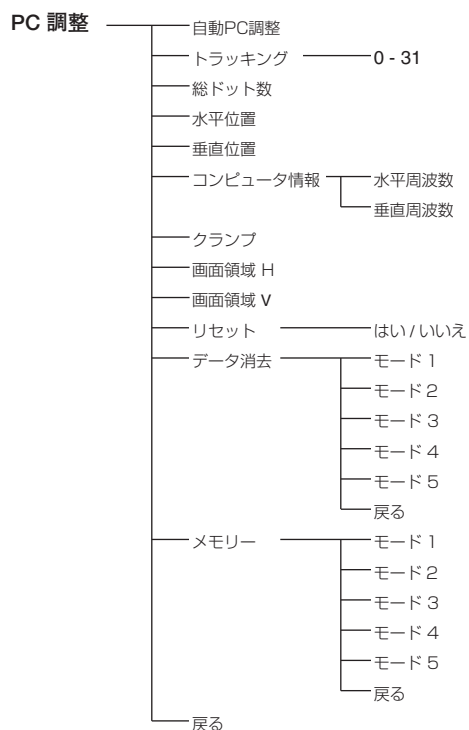
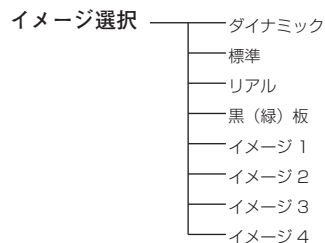
コンピュータの信号がデジタルの場合

DVI 入力端子からデジタル信号を入力する場合、以下のシステムモードに対応しています。

システムモード	解像度	水平周波数（KHz）	垂直周波数（Hz）	システムモード	解像度	水平周波数（KHz）	垂直周波数（Hz）
D-VGA	640 x 480	31.47	59.94	D-WXGA7	1280 x 768	60.289	74.893
D-480p	640 x 480	31.47	59.88	D-WXGA8	1280 x 768	68.633	84.837
D-575p	768 x 575	31.25	50.00	D-WXGA9	1280 x 800	49.60	60.50
D-SVGA	800 x 600	37.879	60.32	D-SXGA1	1280 x 1024	63.98	60.02
D-XGA	1024 x 768	43.363	60.00	D-SXGA2	1280 x 1024	60.276	58.069
D-WXGA1	1366 x 768	48.36	60.00	D-SXGA +1	1400 x 1050	63.97	60.19
D-WXGA2	1360 x 768	47.70	60.00	D-720p	1280 x 720	45.00	60.00
D-WXGA3	1376 x 768	48.36	60.00	D-1035i	―――	33.75	60.00（インターレース）
D-WXGA4	1360 x 768	56.16	72.00	D-1080i	―――	33.75	60.00（インターレース）
D-WXGA5	1366 x 768	46.50	50.00	D-1080i	―――	28.125	50.00（インターレース）
D-WXGA6	1280 x 768	47.776	59.87				

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。
※ ドットクロックが 110MHz 以上のコンピュータの信号には対応しておりません。
※ ご使用のコンピュータによっては、D-SXGA 1およびD-SXGA 2の画像は正しく映らない場合があります。

メニュー内容一覧

コンピュータ / ビデオ　インプット

サウンド

コンピュータ入力

ビデオ入力
Auto
システム (2)
Auto
1080i
1035i
720p
575p
480p
575i
480i
Auto
システム (3)
Auto
PAL
SECAM
NTSC
NTSC 4.43
PAL-M
PAL-N
イメージ選択
ダイナミック
標準
シネマ
黒（緑）板
イメージ 1
イメージ 2
イメージ 3
イメージ 4
イメージ調整
コントラスト
0 - 63
明るさ
0 - 63
色の濃さ
0 - 63
色合い
0 - 63
色温度
超低/低/中/高/調整中
赤
0 - 63
緑
0 - 63
青
0 - 63
画質
0 - 15
ガンマ補正
0 - 15
ノイズリダクション
オフ/ L1 / L2
プログレッシブ
オフ/ L1 / L2 / フィルム
リセット
はい / いいえ
メモリー
イメージ 1
イメージ 2
イメージ 3
イメージ 4
戻る
戻る
スクリーン
ノーマル
ワイド
カスタム
スケール H/V
H&V
ポジション H/V
共通
リセット
セッティング
セッティング
言語
英語
ドイツ語
フランス語
イタリア語
スペイン語
ポルトガル語
オランダ語
スウェーデン語
戻る
フィンランド語
ポーランド語
ハンガリー語
ルーマニア語
ロシア語
中国語
韓国語
日本語
戻る
オートセットアップ
自動PC調整
オートキーストーン
戻る
キーストーン
メモリー/リセット
ブルーバック
オン / オフ
オンスクリーン表示
オフ / カウントダウンオフ / オン
ロゴ
ロゴ選択
オフ / 初期設定 / ユーザー
キャプチャー
はい / いいえ
ロゴ暗証番号ロック
オン / オフ
ロゴ暗証番号変更
戻る
戻る
天吊り
オン / オフ
リア投映
オン / オフ
自動入力切換
オフ / オン1 / オン2
スタンバイ モード
エコ / ノーマル
パワーマネージメント
オフ / 待機 / シャットダウン
1～30（タイマー : 分）
戻る
オンスタート
オン / オフ
ランプコントロール
オート / 高 / ノーマル / エコ
ポインタ
スポットライト / ポインタ
戻る
リモコンコード
コード 1～8
戻る
セキュリティ
キーロック
オフ / プロジェクター / リモコン
暗証番号ロック
オフ / オン1 / オン2
暗証番号変更
アラーム
オフ
充電
充電中
アラーム音量
感度
アラーム時間
戻る
オン
戻る
ファン
L1 / L2
ファン制御
ノーマル / 最大
警告履歴
ランプカウンター
時間（使用時間）
リセット
戻る
フィルターカウンター
時間（使用時間）
タイマー
リセット
戻る
初期設定
はい / いいえ
戻る

仕　様

プロジェクター本体

型　　名	LC-XB40DN
種　　類	液晶プロジェクター
表示方式	液晶パネル 3枚　3原色光シャッター方式
液晶パネル	サイズ：0.8型 x 3 アスペクト比 4：3 駆動方式：ポリシリコンTFTアクティブマトリクス方式 画素配列：ストライプ、画素数：786,432画素(1,024 × 768) ×3枚 総画素数 2,359,296 画素
投影レンズ	1.2倍ズームレンズ　F= 1.7 ～ 2.1　f= 26.7 ～ 32 mm
光　　源	300W UHPランプ
画面サイズ（投影距離）	最小 33 ～ 最大 300 型（1.3m～10.0m）
ズーム/フォーカス調整	手動
入出力	
COMPUTER IN 1　DVI-I	DVI入力 (1系統)：DVI-I コネクター（29ピン） デジタル：TMDS (Transition Minimized Differential Signaling) アナログRGB入力 (1系統)：ミニD-sub 15ピン アナログRGB信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75Ω 水平・垂直同期：TTLレベル、負または正極性 (G信号中のコンポジット同期：0.3Vp-p、負極性、インピーダンス75Ω)
COMPUTER IN 2 /COMPONENT IN	アナログRGB入力 (1系統)：ミニD-sub 15ピン アナログRGB信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75Ω 水平・垂直同期：TTLレベル、負または正極性 (G信号中のコンポジット同期：0.3Vp-p、負極性、インピーダンス75Ω) コンポーネント：セパレートY Cb/Pb Cr/Pr信号、ミニD-sub 15ピン Y；1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω Cb/Pb；0.7Vp-p、インピーダンス75Ω Cr/Pr；0.7Vp-p、インピーダンス75Ω
MONITOR OUT	アナログRGB出力 (1系統)：ミニD-sub 15ピン アナログRGB信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75Ω 水平・垂直同期：TTLレベル、負または正極性 (G信号中のコンポジット同期：0.3Vp-p、負極性、インピーダンス75Ω)
VIDEO IN	ビデオ入力 (1系統) 映像：ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω
S-VIEDO IN	S映像：セパレートYC信号、ミニDIN 4ピン Y；1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω C；0.286Vp-p (バースト信号)、インピーダンス75Ω
AUDIO IN (COMPUTER/ COMPONENT,L,R) AUDIO OUT	音声入力 (2系統)：ミニジャック (ステレオ)、400mVrms、インピーダンス47KΩ以上 ピンジャック、400mVrms、インピーダンス47KΩ以上 (左モノ：右) 音声モニター出力（コンピュータ / ビデオ兼用）：ミニジャック（ステレオ）、可変出力、 インピーダンス1KΩ以下
制御入出力、他	サービスポート：ミニDIN 8ピン USB端子：USBコネクター(2系統：シリーズ A、シリーズ B) LAN端子：100 Base-TX(100Mbps) / 10 Base-T(10Mbps) / RJ-45 ワイヤード リモコン端子：ミニジャック
走査周波数	水平 15kHz～100kHz、垂直 50～100Hz
カラーシステム	6システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)
音声出力	モノラル　1W (JEITA)
スピーカ	2.8 cm　円形 1個
電　　源	AC100V　50/60Hz
消費電力	390W（オートモード）/20W (待機中消費電力：スタンバイモード　ノーマル) 330W（エコモード）/ 10W (待機中消費電力：スタンバイモード　エコ)
本体寸法	幅 334×高さ 78×奥行 233 mm
質　　量	3.5 Kg

※ 高調波電流規格　JIS C 61000-3-2:2005 適合品

※ HDCPとは、High-bandwidth Digital Contents Protectionの略称で、DVIを経由して送られるデジタル映像の不正コピーを防止することを目的とした著作権保護用システムのことです。HDCPの規格は、Digital Content Protection, LLCという団体によって、策定・管理されています。本機のDVI-D入力端子は、HDCP技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投影することができます。HDCPの規格変更等が行なわれた場合、これらHDCP技術でコピープロテクトされたデジタル映像のDVI-D端子での再生はできなくなる場合があります。

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99 % 以上です。投影中 0.01 % 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

リモコン

電源	DC3.0V　単四形アルカリ乾電池 2本使用
到達距離	約5m (受信部正面)
本体寸法	幅45×高さ25×奥行145mm
質量	99g (電池を含む)
レーザポインタレーザ出力 (IEC60825-1, Am.1 1997)	クラス2 レーザ製品 最大出力：1 mW 波　　長：640〜660 nm

付属品

■ リモコン･･･ 1個
■ リモコン用 アルカリ乾電池 ･････････････････････････････ 2本
■ 電源コード･･･ 1本
■ 電源プラグアダプタ･･･････････････････････････････････ 1個
■ コンピュータケーブル（D-sub/D-sub用）･････････････････ 1本
■ 取扱説明書･･･ 2冊（本紙、別冊）
■ 保証書･･･ 1枚
■ 保証登録書（はがき）･････････････････････････････････ 1枚
■ キャリーバッグ･･･････････････････････････････････････ 1枚
■ PIN code lock シール･････････････････････････････････ 1枚
■ Alarm Protected シール ･･･････････････････････････････ 1枚
■ CD-ROM（ネットワークアプリケーション）･･･････････････ 1枚
■ USB無線LANアダプタ･･･････････････････････････････････ 1個
※ 「Wireless」をご使用のときに必要です。

別売品

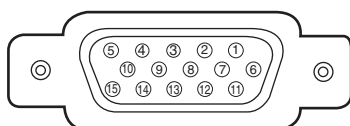
■ **D-sub / コンポーネント ケーブル　････　品番：AH-98771**
■ **USBメモリー ･････････････････　品番：WL-10**

※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

端子の仕様

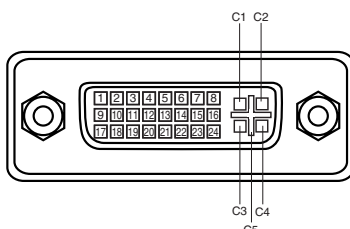
COMPUTER IN 2 / COMPONENT IN / MONITOR OUT（コンピュータ入力 / コンポーネント入力 / モニター出力端子）

コンピュータ入力、モニター出力端子として動作します。モニター出力は［COMPUTER IN 1 DVI-I］または［COMPUTER IN 2/COMPONENT IN］端子に入力されたコンピュータ信号（アナログ）を出力します。接続にはコンピュータケーブル（D-sub用）をご使用ください。また、ビデオ機器からのコンポーネント信号を入力します。接続には別売のD-sub/コンポーネントケーブル をご使用ください。

ミニ D-sub 15ピン

1	R (R/Cr) 入出力	9	+5v パワー
2	G (G/Y) 入出力	10	接地
3	B (B/Cb) 入出力	11	接地
4	未接続	12	DDC　データ
5	接地（水平同期）	13	水平同期 入出力（ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ：水平垂直同期）
6	接地 (R)	14	垂直同期 入出力
7	接地 (G)	15	DDC クロック
8	接地 (B)		

COMPUTER IN 1　DVI-I（コンピュータDVI-I入力端子：デジタル/アナログ）

DVI規格対応の端子を持つコンピュータからの信号（デジタル/アナログ）を接続するDVI-I端子です。接続には市販のDVI-I用コンピュータケーブルを使用します。D-sub出力端子（アナログ）のコンピュータへの接続には、市販のDVI/D-sub用コンピュータケーブルを使って接続します。

DVI 29ピン

アナログ コンタクト部

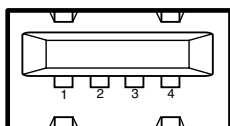
C1	アナログ R ビデオ入力
C2	アナログ G ビデオ入力
C3	アナログ B ビデオ入力
C4	アナログ水平同期
C5	アナログ RGB 接地

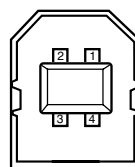
デジタル コンタクト部

1	T.M.D.S. データ 2–	9	T.M.D.S. データ 1–	17	T.M.D.S. データ 0–
2	T.M.D.S. データ 2+	10	T.M.D.S. データ 1+	18	T.M.D.S. データ 0+
3	T.M.D.S. データ 2 シールド	11	T.M.D.S. データ 1 シールド	19	T.M.D.S. データ 0 シールド
4	未接続	12	未接続	20	未接続
5	未接続	13	未接続	21	未接続
6	DDC クロック	14	+5V パワー	22	T.M.D.S. クロック シールド
7	DDC データ	15	接地 (+5V)	23	T.M.D.S. クロック+
8	アナログ垂直同期	16	ホットプラグ検知	24	T.M.D.S. クロック–

USB（ユニバーサルシリアルバス端子）

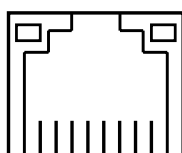
付属のUSB無線LANアダプタまたは別売のUSBメモリーを接続します。（シリーズA）
USB規格対応の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用する端子です。（シリーズB）

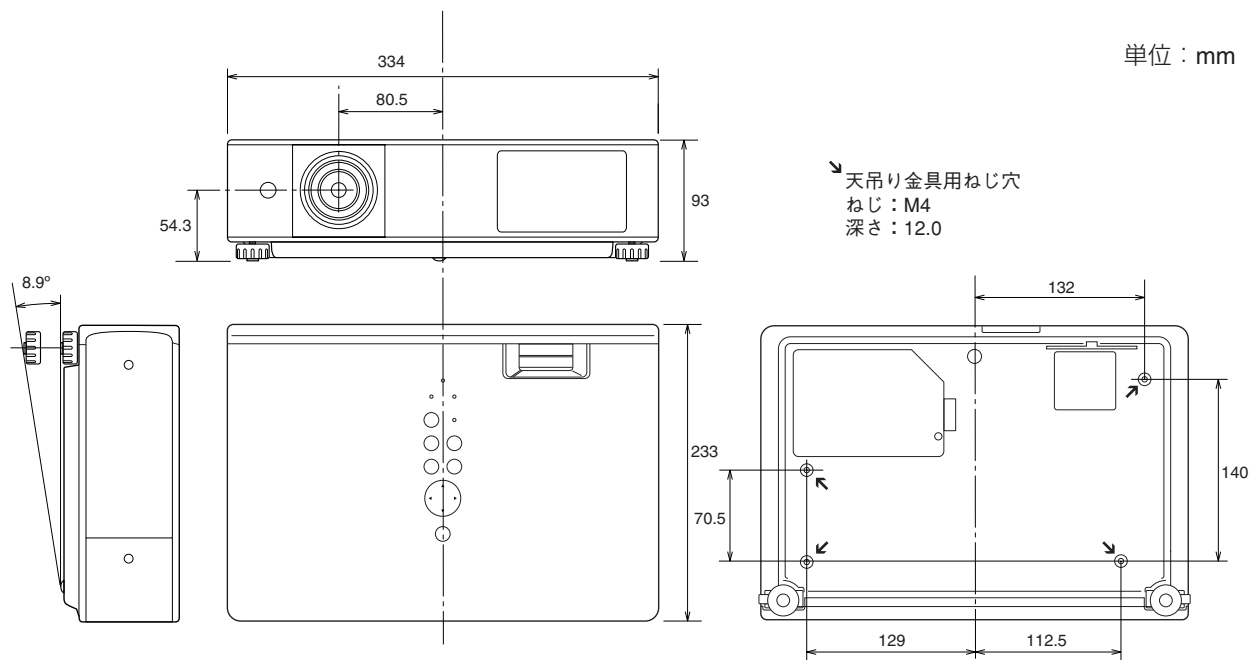
USB コネクター（シリーズ A）

1	VCC(5V)
2	– DATA
3	+ DATA
4	接地

USB コネクター（シリーズ B）

1	VCC(5V)
2	– DATA
3	+ DATA
4	接地

LAN（ネットワーク接続端子）

有線LAN端子を接続します。

LAN コネクター

1	TX +	5	未使用
2	TX –	6	RX –
3	RX +	7	未使用
4	未使用	8	未使用

寸法図

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときのご注意

修理を依頼されるときはお買上の販売店に次のことをお知らせのうえ、修理をご依頼ください。

- 品名、型名
- 故障の症状
- お名前、おところ

保証書について

保証期間はお買上日より1年間です。保証書の記載内容により修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

補修用性能部品について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

※補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

暗証番号を忘れるとプロジェクターの操作ができなくなったり、アラームの設定の変更ができなくなります

暗証番号を忘れると、プロジェクターの操作ができなくなったり、アラームの設定の変更ができなくなります。以下の記入欄に登録した暗証番号を書き留めておくことをおすすめします。ただし、第三者に見られたり、持ち出されたりしないように、取扱説明書は大切に保管してください。暗証番号がわからなくなってしまったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

暗証番号ロック
の暗証番号

工場出荷時の暗証番号：　１２３４*

ロゴ暗証番号ロック
の暗証番号

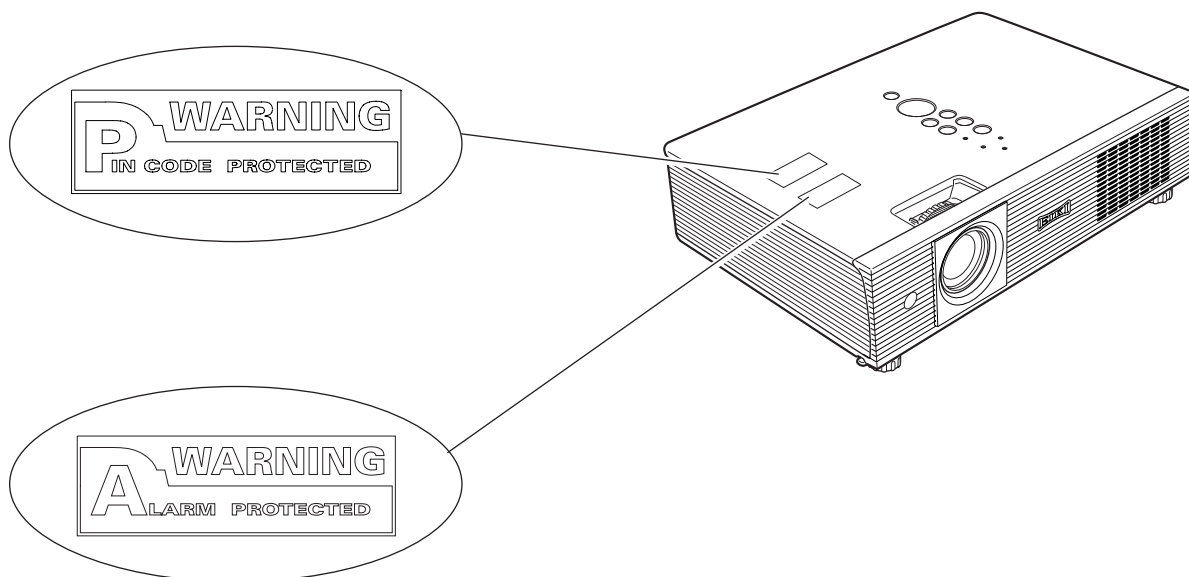
工場出荷時の暗証番号：　４３２１*

盗難防止アラーム
の暗証番号

工場出荷時の暗証番号：　１１１１*

*暗証番号を変更された場合は、工場出荷時の暗証番号は無効になります。

暗証番号が登録されていることをシールでわかるようにしましょう

暗証番号を登録し、暗証番号を有効にしているとき、付属のシールを本体の目立つところへ貼り付けます。

盗難防止アラームを設定しているとき、付属のシールを本体の目立つところへ貼り付けます。

PJ LINK について

このプロジェクターはJBMIA(Japan Business Machine and Information System Industries Association：社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会)のPJLink標準定義のClass1に準拠しています。このプロジェクターは、PJLink Class1によって定義されたすべてのコマンドをサポートして、PJLink標準定義Class1との適合を検証しています。

PJ Linkで使用するパスワードは、ネットワークのシステムパスワードと同じになっております。
取扱説明書（別冊）の「6．ブラウザーでの設定」→「詳細設定」→「システムパスワードの設定」（P-49）をご覧ください。パスワード無しで使用する場合は、「システムパスワードの設定」を無しで設定ください。

プロジェクターの入力名		PJLink	
		入力名	パラメータ
コンピュータ1（アナログ）		RGB 1	11
コンピュータ1（デジタル）	RGB（PC digital）	DIGITAL 1	31
	RGB（AV HDCP）	DIGITAL 2	32
コンピュータ2	RGB	RGB 2	12
	Component	RGB 3	13
	RGB (Scart)	RGB 4	14
ビデオ	Auto	VIDEO 1	21
	Video	VIDEO 2	22
	S-video	VIDEO 3	23
Wired		NETWORK 1	51
Wireless		NETWORK 2	52
ビューワー		STORAGE 1	41

PJ LINK について

2003 年9 月、データプロジェクタ部会の中に、PJLink分科会が設立されました。このPJLink分科会の第1期の活動において、 プロジェクターの新たなインターフェース仕様としてPJLinkが規定されました。
PJLinkはプロジェクターを操作・ 管理するための統一規格です。
メーカを問わずに、プロジェクターの集中管理やコントローラからの操作を実現します。
今後主流となるネットワーク経由のプロジェクター監視・制御において、早期の体系化をJBMIAによる推進で実現し、ユーザの利便性をあげ、プロジェクターの普及促進を図ることを目的としています。

Class 1：プロジェクターの基本機能の制御・監視仕様を標準化
基本的なプロジェクター制御：電源制御、入力切り替えなど
プロジェクターの各種情報・状態を取得：電源状態、入力切り替え状態、エラー状態、ランプ使用時間など

JBMIA：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会。
　　1960年に発足した日本事務機械工業会が、2002年4月1日より改称した団体です。

PJLinkはJBMIAの登録商標です。

PJLink　サイトURL
　http://pjlink.jbmia.or.jp